

# 和歌山県高齢者等生活意識調査 (高齢者一般調査)

## 報 告 書

令和8年3月

和歌山県 福祉保健部  
福祉保健政策局 長寿社会課



# 目次

<b>1 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査対象 .....	1
(2) 回収状況 .....	1
<b>2 高齢者一般調査の結果</b> .....	<b>3</b>
(1) 回答者 .....	3
(2) 回答者の属性 .....	4
(3) 仕事や収入について .....	10
(4) 近所づきあい、外出の状況などについて .....	13
(5) 買い物などの日常の状況について .....	17
(6) 通院状況などについて .....	26
(7) 健康について .....	30
(8) 普段の暮らしぶりについて .....	34
(9) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて .....	35
(10) 自宅での看取りの考え方などについて .....	41
(11) 高齢者の生活支援のための事業への参加について .....	46
(12) 介護保険制度などについて .....	48
(13) 認知症について .....	51
(14) 自由意見 .....	54
<b>3 調査間の比較</b> .....	<b>56</b>
(1) 回答者の属性 .....	56
(2) 日常生活について .....	58
(3) 医療等の状況について .....	62
(4) 健康について .....	63
(5) 住まい、住み替えなどについて .....	64
(6) 看取りなどについて .....	66
(7) 高齢者の生活支援のための事業への参加について .....	68
(8) 介護保険制度について .....	69
(9) 認知症について .....	70
<b>参考資料：アンケート調査票</b> .....	<b>73</b>

# 1 調査の概要

## (1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収する方法で実施すると同時に、WEB回答による回収方法も併用しました。

高齢者一般調査	令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計2,300人を抽出
要支援・要介護者調査	令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計1,600人を抽出
第2号被保険者調査	令和7年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計1,600人を抽出

## (2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	2,300	1,600	1,600
配布実数※	2,285	1,589	1,597
回収数	1,362 (内WEB回答104)	687 (内WEB回答70)	735 (内WEB回答300)
回収率	59.6%	43.2%	46.0%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**高齢者一般調査**について報告するものです。

## (調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数（回答者数）は図表中に「N」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率（%）です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の 카테고リーに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)
海南市	新宮市 (旧熊野川町)
橋本市	紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市 (旧田辺市)	九度山町
新宮市 (旧新宮市)	高野町
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

## 2 高齢者一般調査の結果

### (1) 回答者

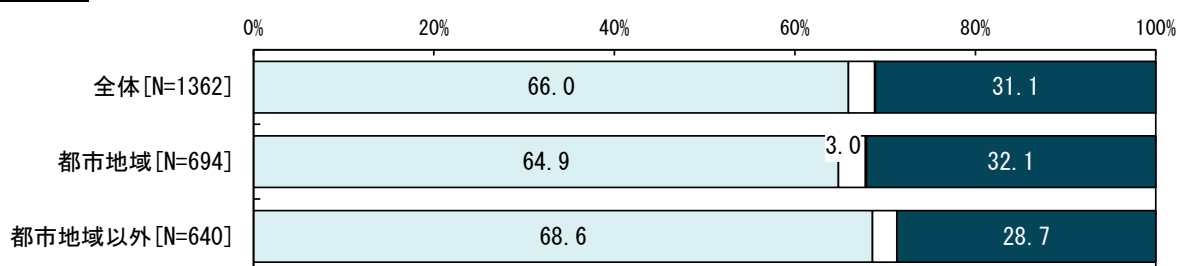
#### 質問文

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

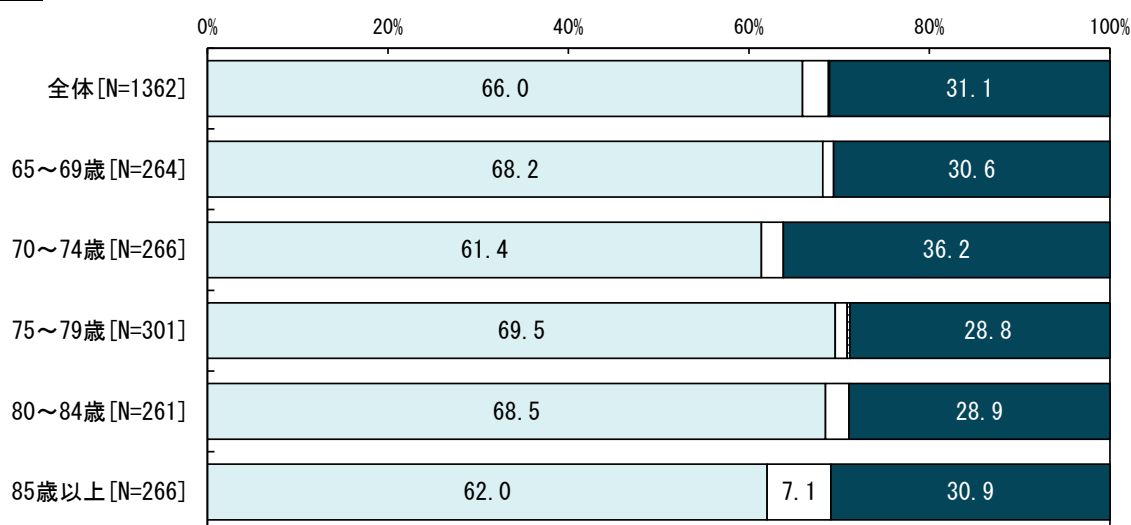
○ 調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が66.0%となっています。

図表1 回答者

#### 地域区分別



#### 年齢階層別



- あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
- ご家族がご本人の代わりに回答
- ご家族以外の方がご本人の代わりに回答
- 無回答

## (2) 回答者の属性

### (2) - ① 性別

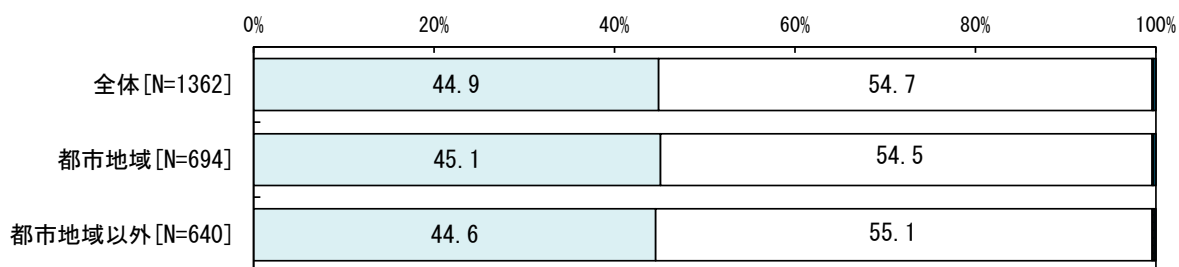
#### 質問文

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

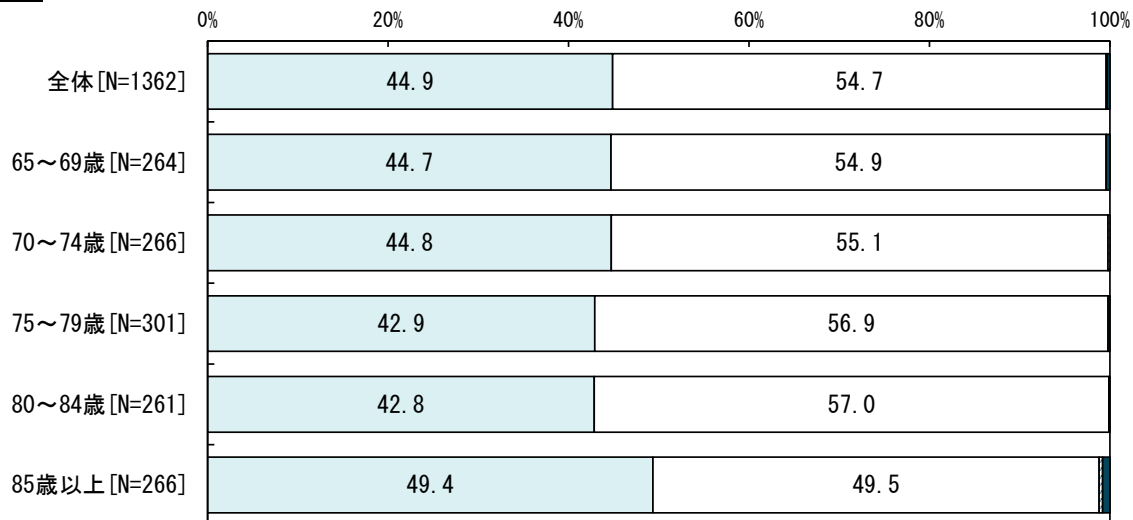
- 回答者の性別は、「女」が54.7%、「男」が44.9%となっています。
- 年齢階層別では、85歳以上が他の階層と比べ男性の割合が多くなっています。

図表2 性別

#### 地域区分別



#### 年齢階層別



■ 男 ■ 女 ■ 回答しない ■ 無回答

(2) - ② 年齢区分

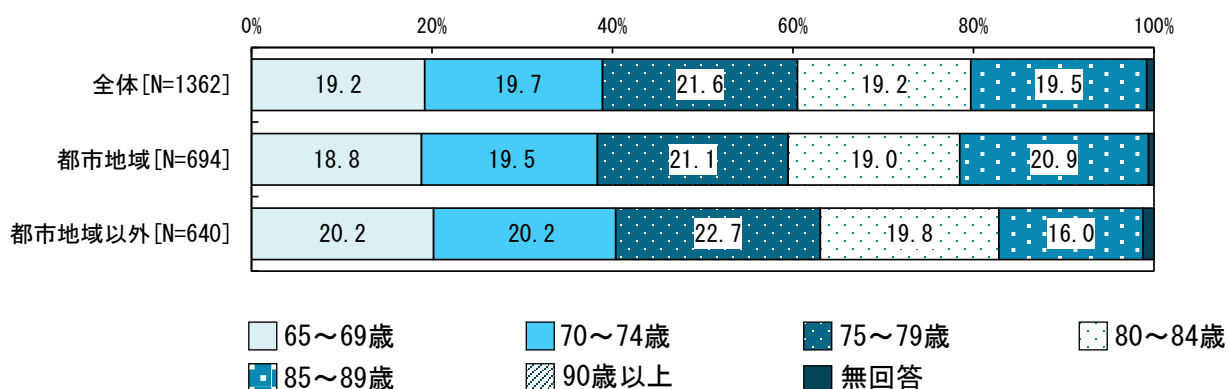
質問文

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

○ 回答者の年齢区分は、「75～79歳」が21.6%、「70～74歳」が19.7%、「85～89歳」が19.5%等となっています。

図表3 年齢区分

地域区分別



(2) - ③ 居住市町村

質問文

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○ 居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表4 居住市町村

全体 [N=1362]			
和歌山市	35.8	広川町	0.8
海南市	5.8	有田川町	2.8
橋本市	6.5	美浜町	0.9
有田市	3.0	日高町	0.8
御坊市	2.4	由良町	0.7
田辺市 (旧田辺市)	6.1	印南町	0.9
田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.5	みなべ町	1.2
新宮市 (旧新宮市)	3.1	日高川町	1.1
新宮市 (旧熊野川町)	0.2	白浜町	2.6
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	3.4	上富田町	1.4
紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	3.1	すさみ町	0.6
岩出市	4.2	那智勝浦町	2.0
紀美野町	1.4	太地町	0.5
かつらぎ町	2.2	古座川町	0.5
九度山町	0.6	北山村	0.1
高野町	0.4	串本町	2.2
湯浅町	1.4		

(単位 : %)

(2) - ④ 世帯区分

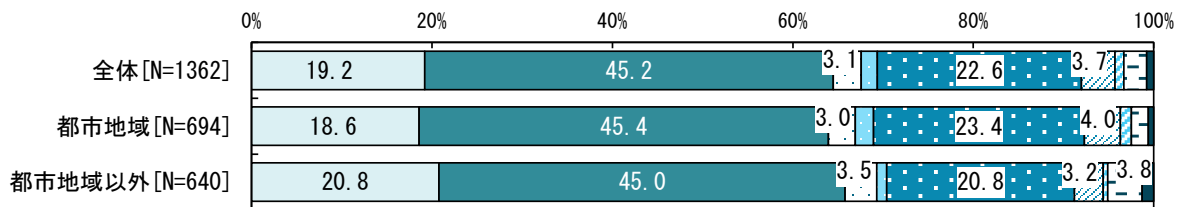
質問文

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

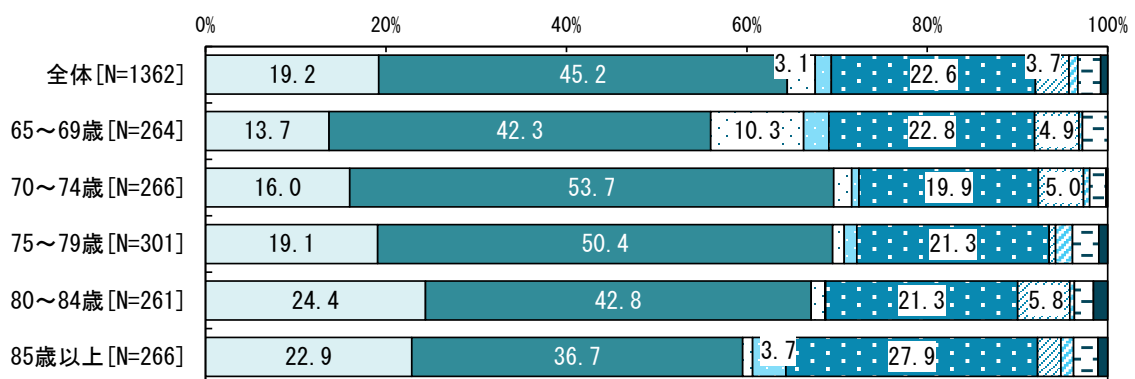
- 回答者の世帯については、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が45.2%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.6%、「単身（ご本人ひとり）」が19.2%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「単身（ご本人一人）」の割合がやや多くなっています。
- 年齢階層別では、80～84歳で「単身（ご本人ひとり）」、70～74歳で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が多くなっています。
- 経年比較を見ると、令和4年度と比べて「単身（ご本人ひとり）」の割合が減り、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が増えています。

図表5 世帯区分

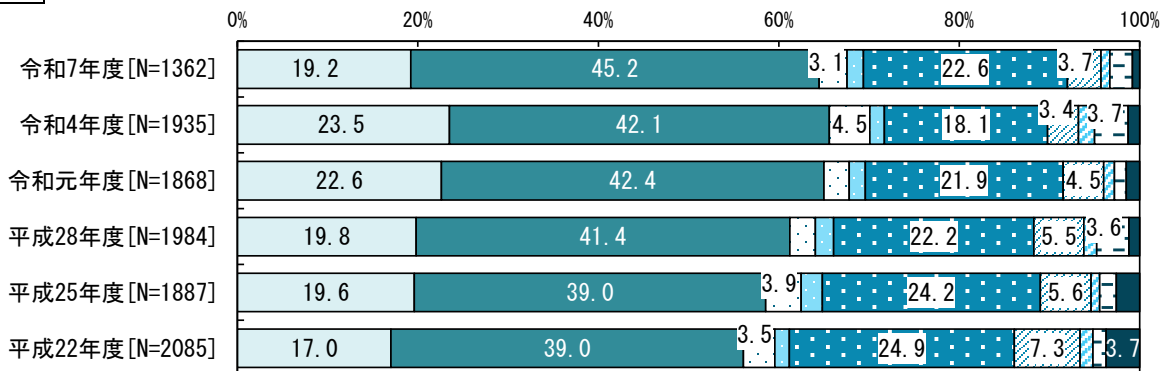
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 単身（ご本人ひとり）
- 夫婦のみ（配偶者は65歳以上）
- ▨ 夫婦のみ（配偶者は64歳以下）
- 2世代家族（世帯全員が65歳以上）
- 2世代家族（64歳以下の家族がいる）
- ▨ 3世代家族
- ▨ 配偶者、親または子以外の高齢者（65歳以上と同居）
- その他
- 無回答

(2) - ⑤ 昼間独居の状況

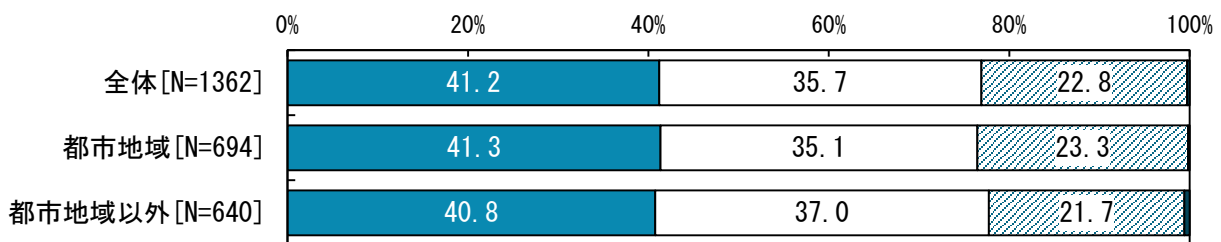
質問文

問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

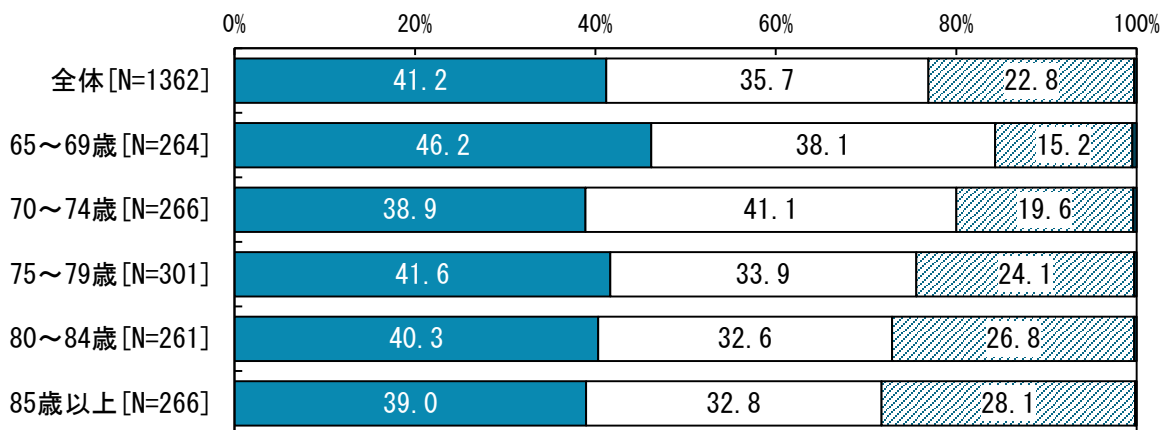
- 昼間独居の状況について聞いたところ、「ほとんどない」が41.2%、「ときどきある」が35.7%、「常にそうである」が22.8%となっています。
- 地域区分別では、都市地域と都市地域以外で大きな違いは見受けられません。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「常にそうである」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べると「ほとんどない」の割合が多くなっています。

図表6 昼間独居の状況

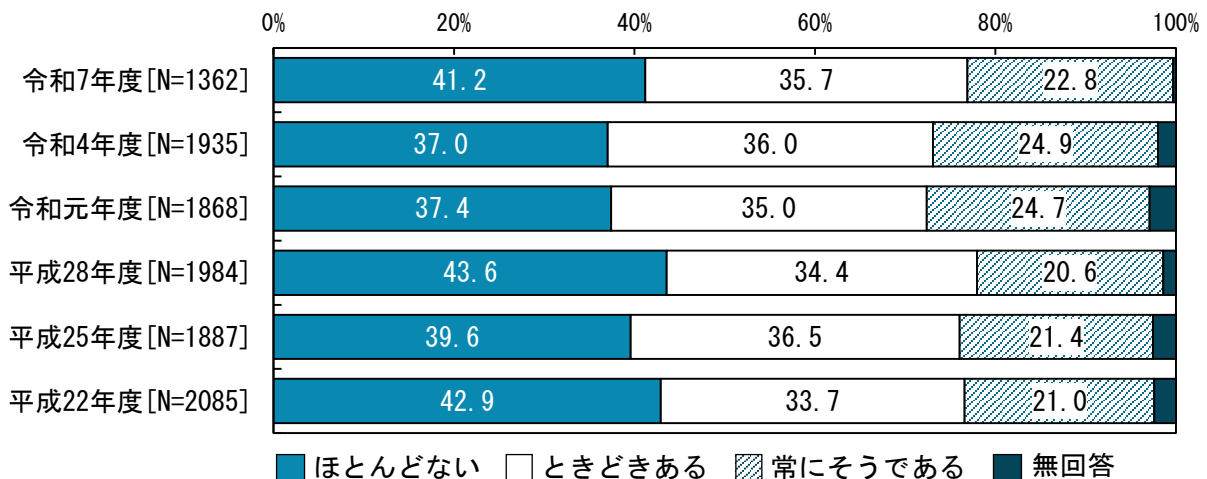
地域区分別



年齢階層別



経年比較



(2) - ⑥ 別居の生活支援者の有無

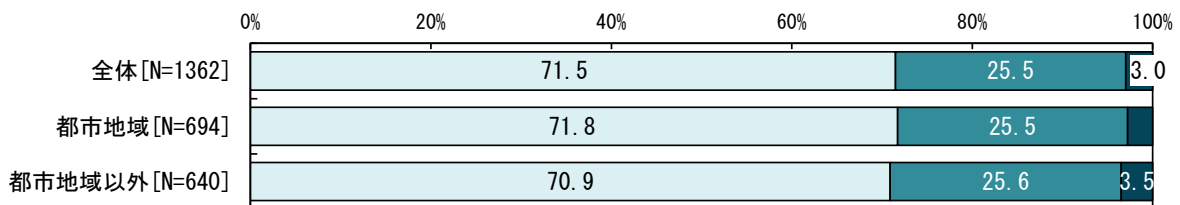
質問文

問6 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親戚などはいいますか。  
(いずれか1つに○)

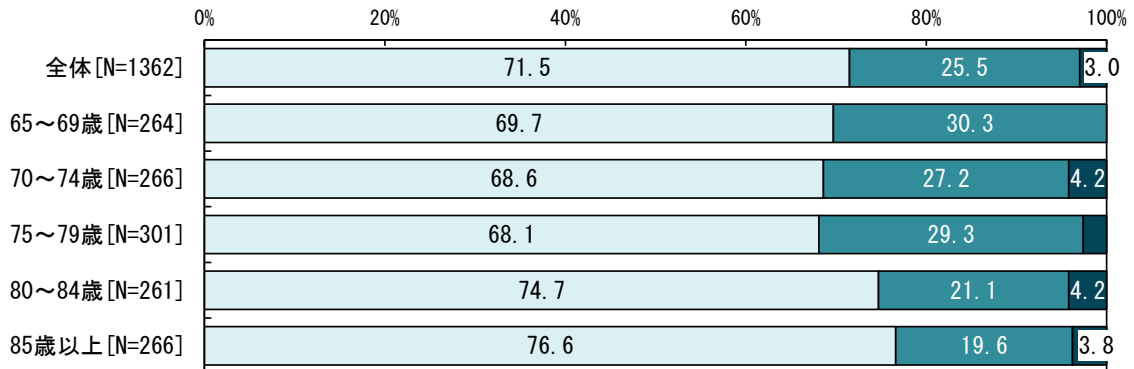
- 別居で支援してくれる家族等の有無について聞いたところ、「いる」が71.5%、「いない」が25.5%となっています。
- 年齢階層別では、80歳以上に比べて79歳以下の「いない」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて、「いる」が増え、「いない」が減っています。

図表7 別居の生活支援者の有無

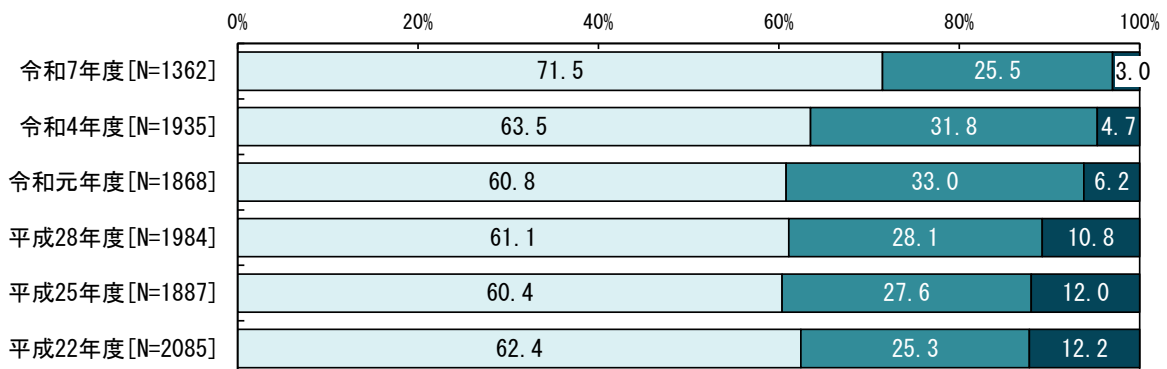
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ いる      ■ いない      ■ 無回答

### (3) 仕事や収入について

#### (3) - ① 収入のある仕事

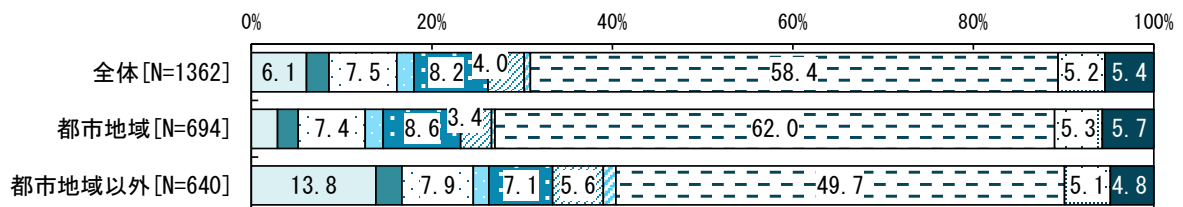
##### 質問文

問7 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

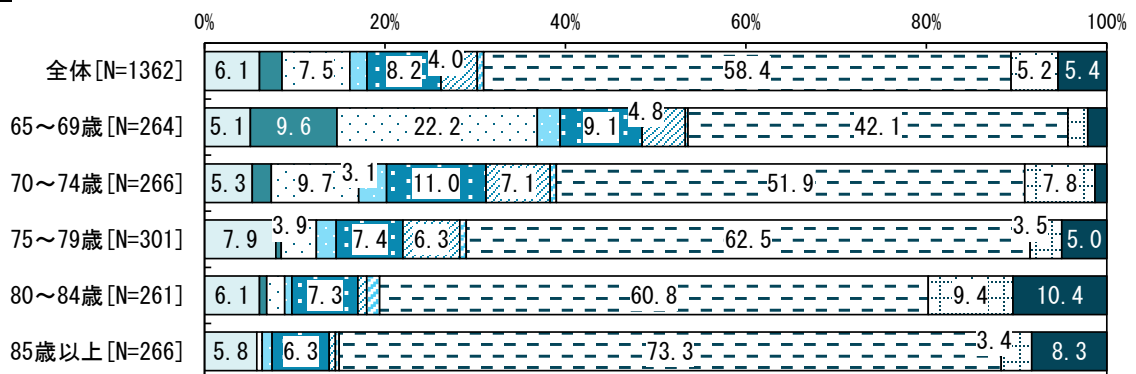
- 収入のある仕事については、「収入のある仕事はしていない」が58.4%と多く、仕事をしている場合は、「自営業主、個人事業主」が8.2%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が7.5%「農林水産業」が6.1%、「短期・不定期のアルバイト等」が4.0%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外では、都市地域と比べて「農林水産業」の割合が多くなっています。都市地域では、都市地域以外と比べて、「収入のある仕事はしていない」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「収入のある仕事はしていない」の割合が多くなっています。
- 経年比較では「収入のある仕事はしていない」の割合が減っています。

図表8 収入のある仕事

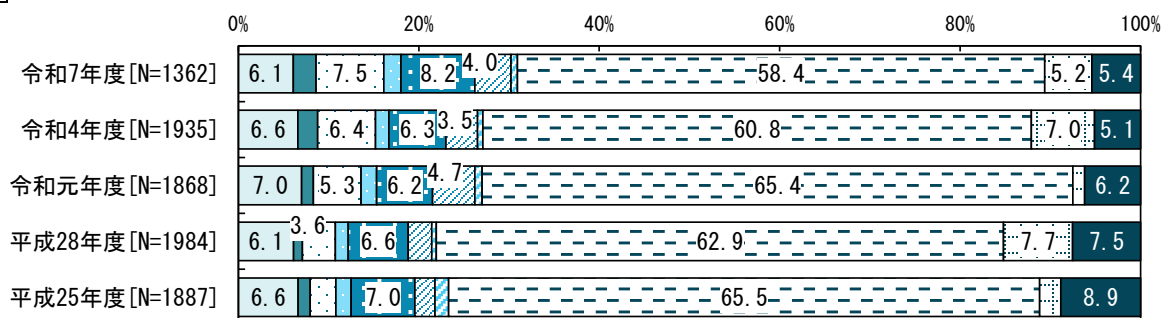
##### 地域区分別



##### 年齢階層別



##### 経年比較



- 農林水産業
- 会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）
- 会社や団体等の役員
- 自営業主、個人事業主
- 内職
- その他
- 短期・不定期のアルバイト等
- 収入のある仕事はしていない
- 無回答

(3) - ②仕事をする頻度

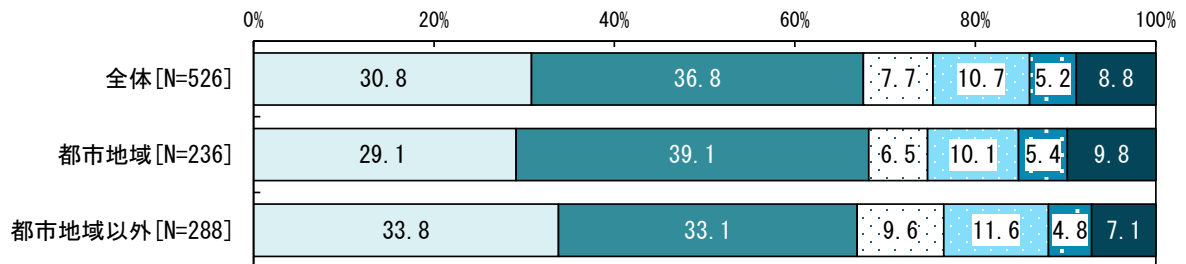
質問文

問 8 収入のあるお仕事をされている方にお聞きします。どのくらいの頻度でお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

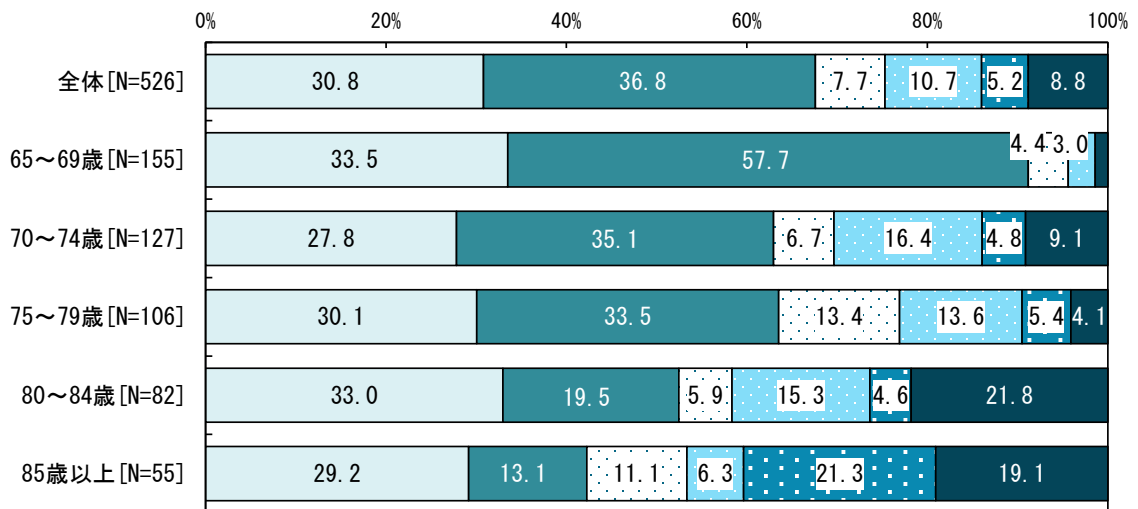
- 仕事の頻度については、「週に3～5日程度」が36.8%、「ほとんど毎日」が30.8%、「月に数日程度」が10.7%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ほとんど毎日」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、「65～69歳」で「週に3～5日程度」の割合が多くなっています。

図表 9 仕事をする頻度

地域区分別



年齢階層別



- ほとんど毎日
- 週に3～5日程度
- 週に1～2日程度
- 月に数日程度
- 年に数日程度
- 無回答

(3) - ③ 仕事をしたい思い

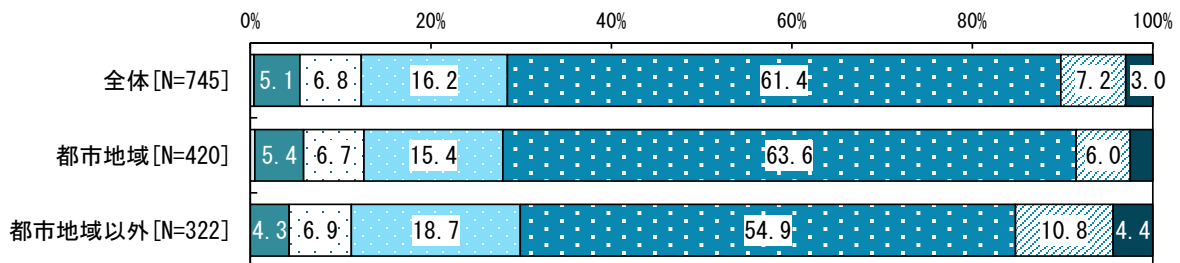
質問文

問9 問7で「8. 収入のある仕事はしていない」と答えた方にお聞きします。仕事をしたいと思えますか。(あてはまるもの1つに○)

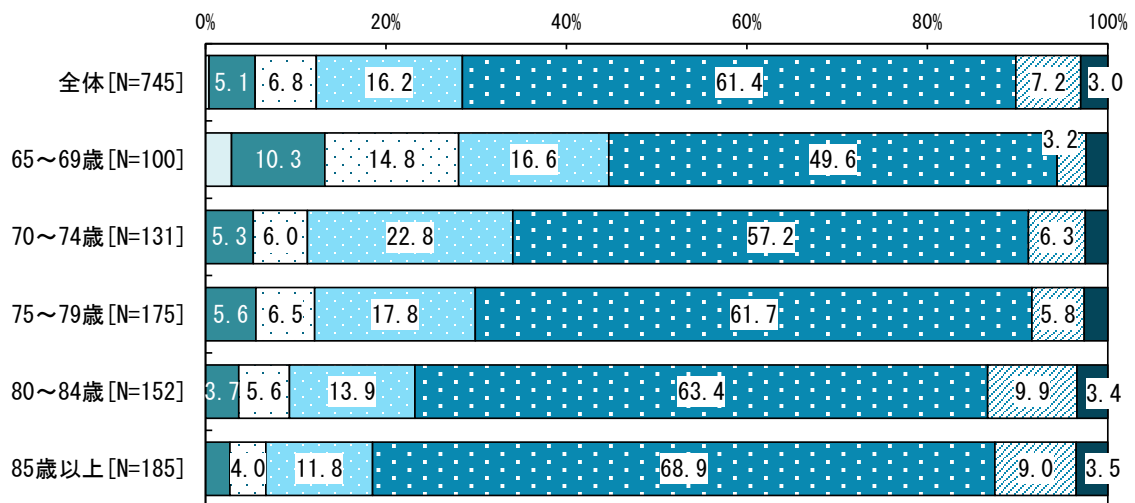
- 仕事をしたいと思うか聞いたところ、「仕事をしたいとは思わない」が61.4%と最も多く、次いで、「収入のある仕事をしたいと思うが、事情により難しい」が16.2%となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「仕事をしたいとは思わない」割合が多くなっています。
- 年齢階層別でみると、年齢が上がるにつれ、「仕事をしたいとは思わない」の割合が多くなっています。

図表 10 仕事をしたい思い

地域区分別



年齢階層別



- フルタイムで、収入のある仕事をしたいと思う
- フルタイムではなく、収入のある仕事をしたいと思う
- 短期・不定期のアルバイト等で、収入のある仕事をしたいと思う
- 収入のある仕事をしたいと思うが、事情により難しい
- 仕事をしたいとは思わない
- ▨ その他
- 無回答

#### (4) 近所づきあい、外出の状況などについて

##### (4) - ① 近所とのつきあい

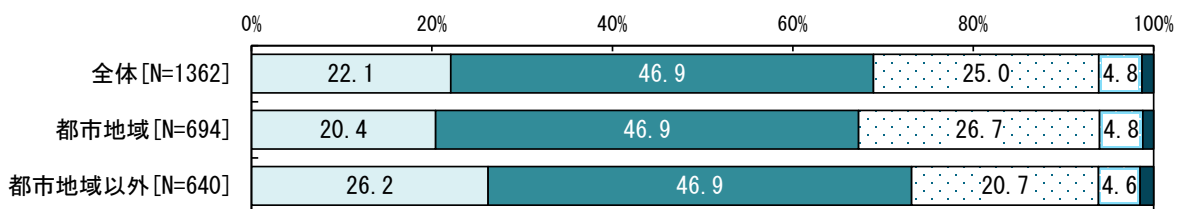
###### 質問文

問 10 あなたはふだん、最も親しいご近所さんとどのようなつきあいをしていますか。  
(あてはまるもの1つに○)

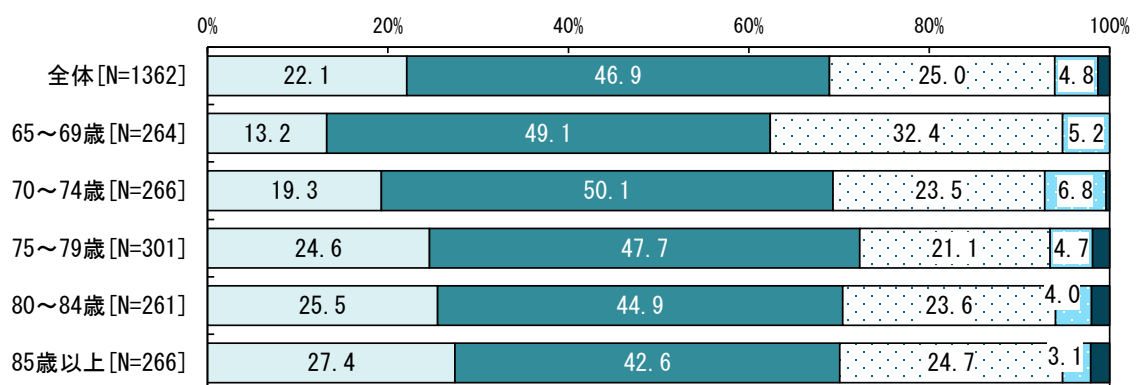
- 近所とのつきあいについて聞いたところ、「立ち話をする程度」が46.9%と最も多く、次いで、「あいさつをする程度」が25.0%、「お互いに訪問しあう」が22.1%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「お互いに訪問しあう」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるほど「お互いに訪問しあう」が増えています。
- 経年比較では、「お互いに訪問しあう」の割合は年々減っています。

図表 11 近所との付き合い

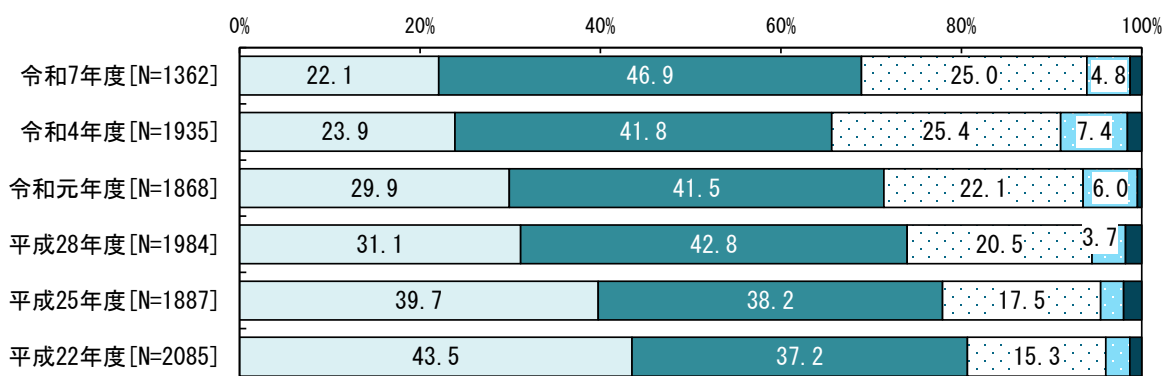
###### 地域区分別



###### 年齢階層別



###### 経年比較



お互いに訪問しあう
  立ち話をする程度
  あいさつをする程度
  ほとんどつきあっていない
  無回答

(4) - ② 外出の頻度

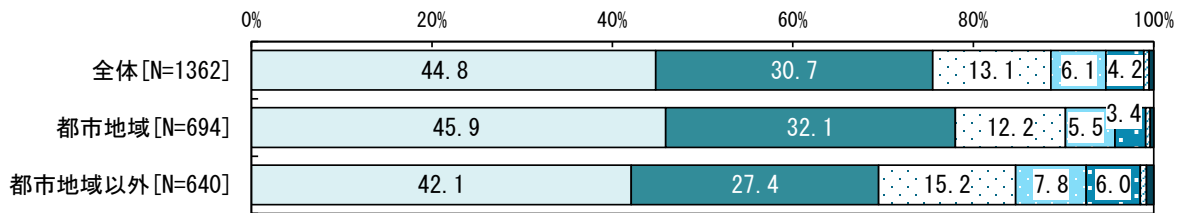
質問文

問 11 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

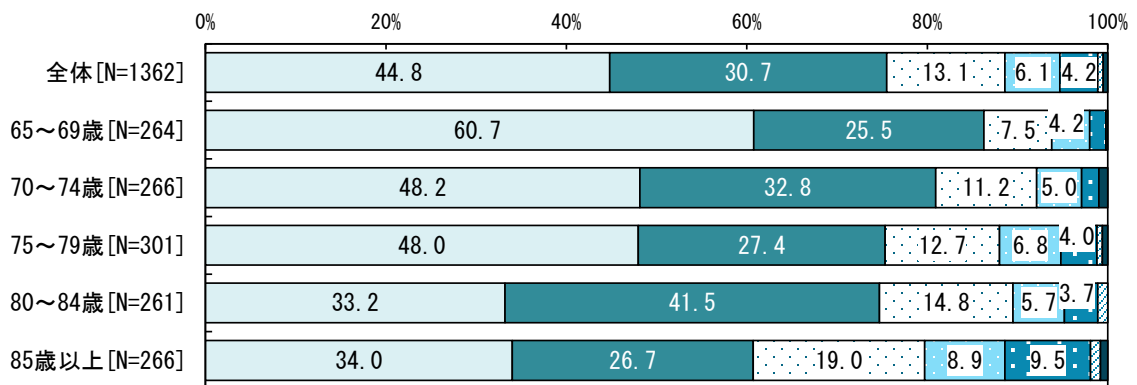
- 外出の程度については、「ほとんど毎日」が44.8%と最も多く、次いで、「週に3~4回程度」が30.7%となっています。
- 年齢階層別で見ると、年齢が上がるにつれ、「ほとんど毎日」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、令和4年度に比べて「週に3~4回程度」の割合が多くなっています。

図表 12 外出の頻度

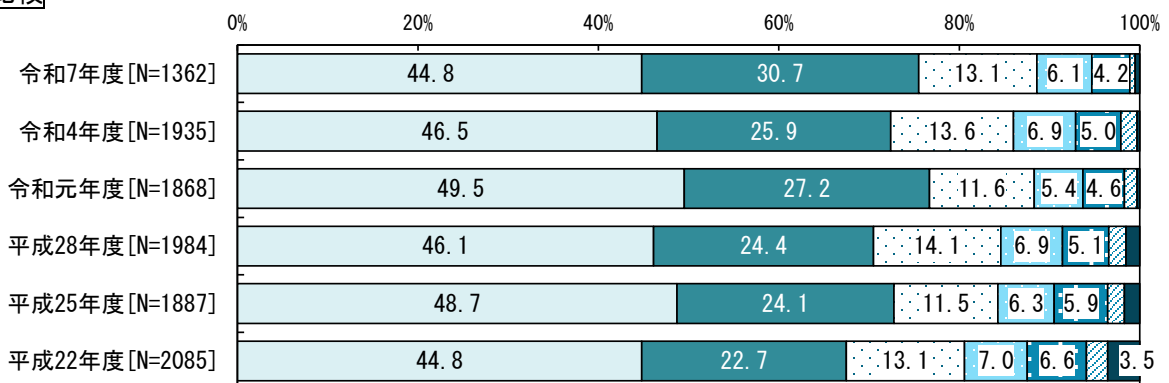
地域区分別



年齢階層別



経年比較



ほとんど毎日
  週に3~4回程度
  週に2回程度
  週に1回程度
  ほとんどない
  その他
  無回答

(4) - ③ 外出方法

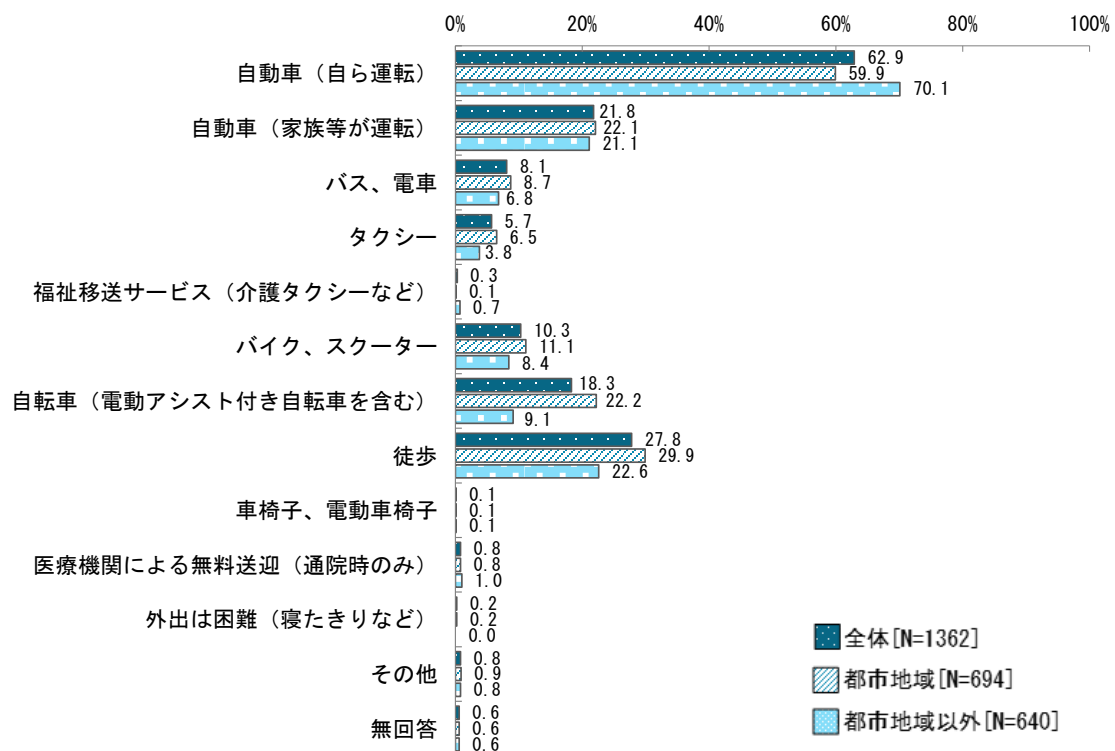
質問文

問 12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が62.9%と半数以上となっています。次いで、「徒歩」が27.8%、「自動車（家族等が運転）」が21.8%、「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」が18.3%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「自動車（自ら運転）」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「自動車（自ら運転）」が減り、「タクシー」や「自動車（家族等が運転）」が増えています。

図表 13 外出方法（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
自動車（自ら運転）	62.9	86.5	76.6	64.2	51.2	36.9
自動車（家族等が運転）	21.8	19.6	13.9	19.2	25.9	30.5
バス、電車	8.1	7.3	9.6	9.5	6.9	7.2
タクシー	5.7	0.8	3.1	3.2	7.9	13.5
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	0.3	0.0	0.0	0.1	0.8	0.6
バイク、スクーター	10.3	13.7	8.9	7.8	10.5	11.0
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	18.3	15.7	14.2	22.0	21.1	18.2
徒歩	27.8	28.5	30.3	25.6	29.7	25.1
車椅子、電動車椅子	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
医療機関による無料送迎（通院時のみ）	0.8	0.0	0.0	0.3	2.4	1.5
外出は困難（寝たきりなど）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
その他	0.8	0.8	0.5	0.4	1.1	1.4
無回答	0.6	0.0	0.7	0.7	1.2	0.2

(4) - ④ 最寄り駅等までの時間

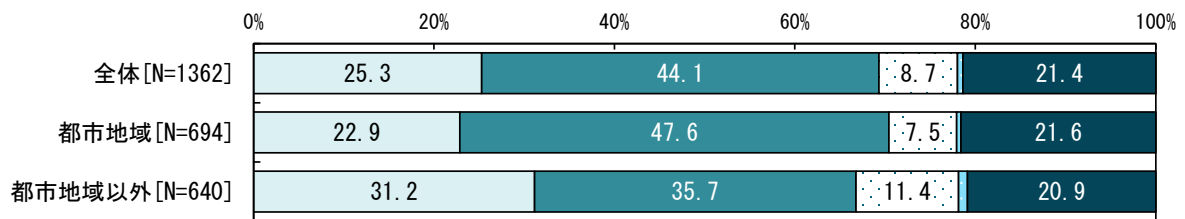
質問文

問 13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関（※）を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。  
※コミュニティバスを含みます。

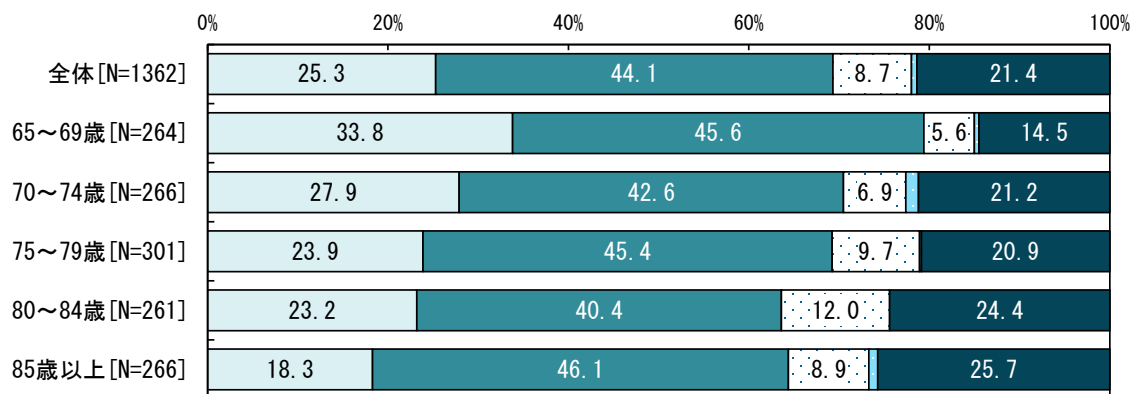
- 最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が44.1%と最も多く、「10分未満」は25.3%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「10分未満」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別に見ると、年齢が上がるにつれ、「10分未満」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて、「10分未満」「10～29分」がやや減っています。

図表 14 最寄り駅等までの時間

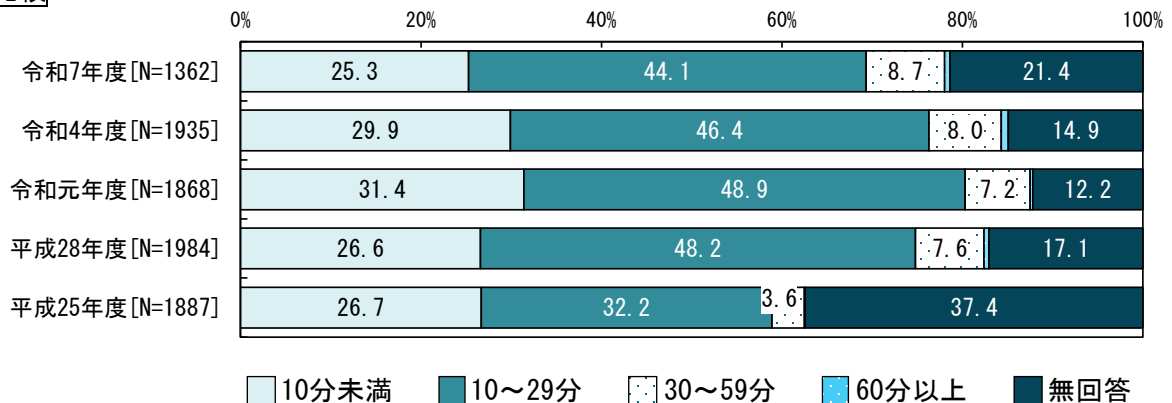
地域区分別



年齢階層別



経年比較



## (5) 買い物などの日常の状況について

### (5) - ① 買い物の方法

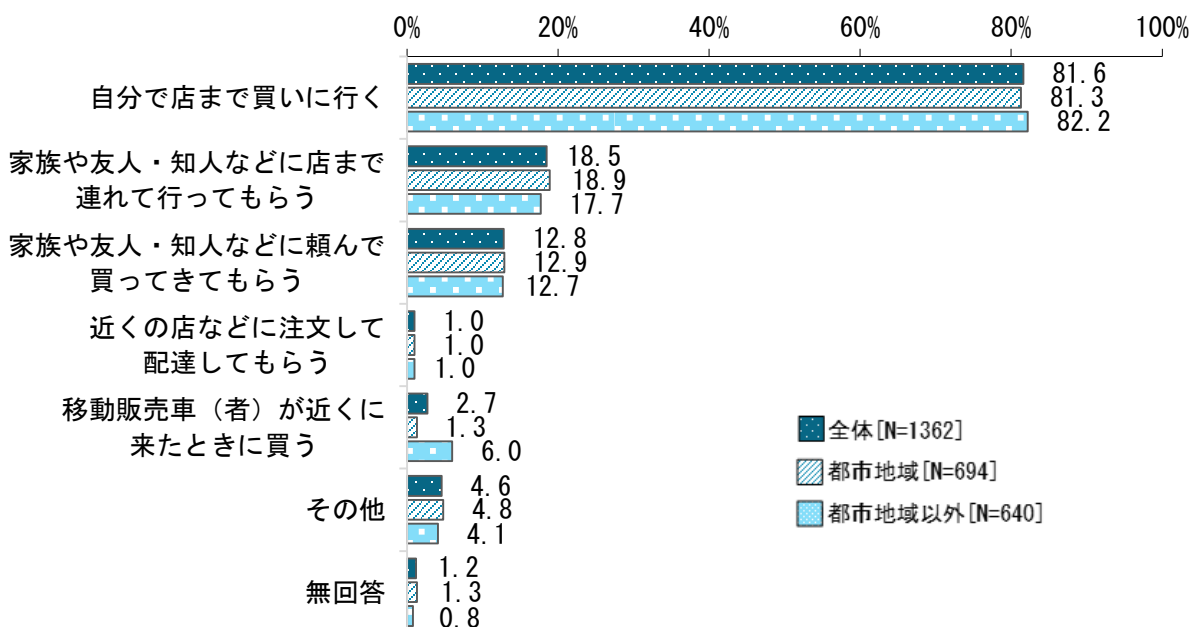
#### 質問文

問 14 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。(よく使う方法すべてに○)

- 買い物の方法としては、「自分で店まで買いに行く」が81.6%と多くなっています。その他、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が18.5%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう」が12.8%等となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「自分で店まで買いに行く」が少なくなり、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」「家族や友人・知人などに頼んで買ってきてもらう」が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 15 買い物の方法（複数回答）

#### 地域区分別

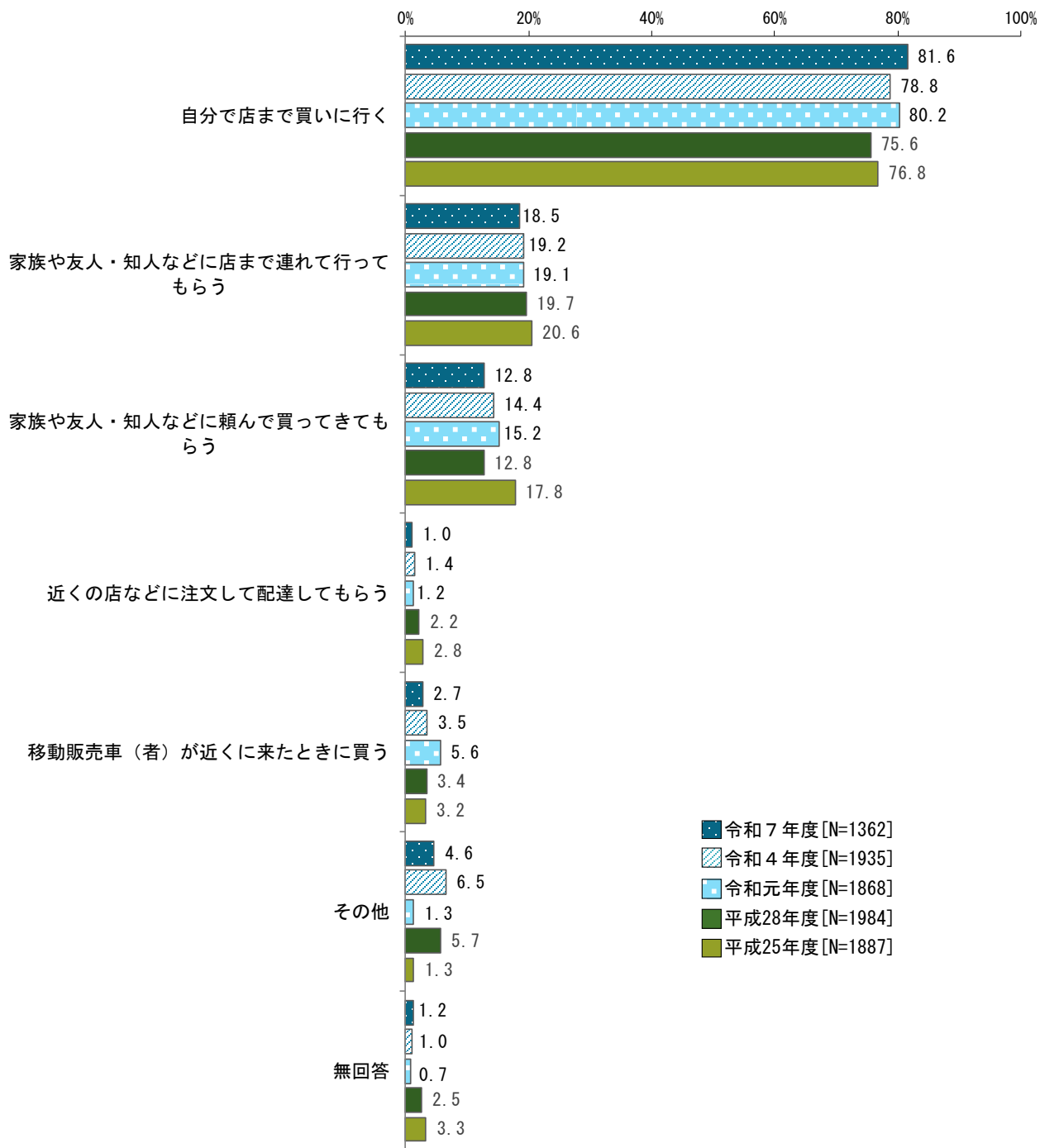


#### 年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
自分で店まで買いに行く	81.6	92.8	90.8	84.2	73.8	66.5
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	18.5	10.3	11.2	18.0	26.9	25.9
家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう	12.8	10.0	7.6	11.3	14.8	20.4
近くの店などに注文して配達してもらう	1.0	0.0	1.6	1.1	1.2	0.8
移動販売車（者）が近くにきたときに買う	2.7	1.5	1.3	2.8	4.2	3.6
その他	4.6	4.6	5.0	5.1	4.9	3.4
無回答	1.2	1.1	0.7	2.4	0.4	1.1

経年比較



(5) - ② 買い物で不便なことや困っていること

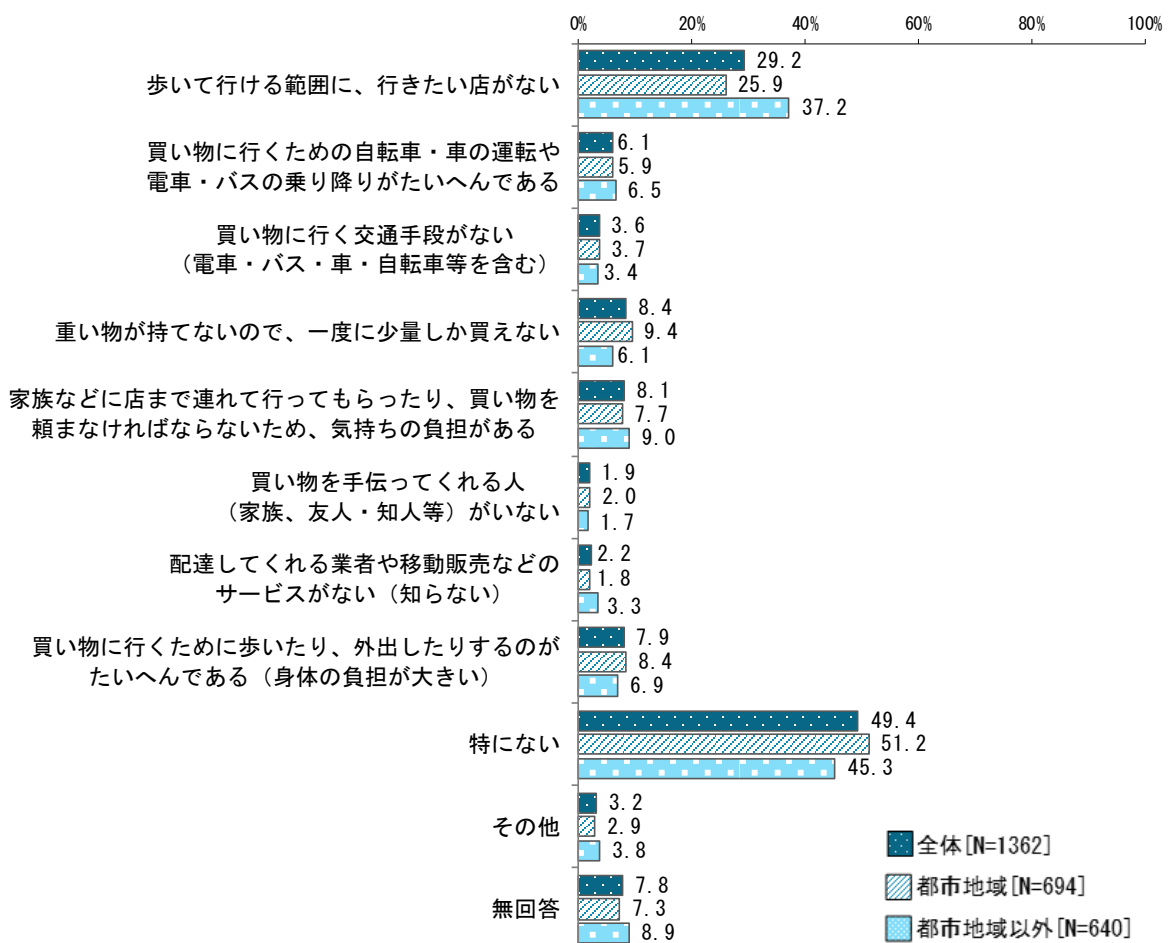
質問文

問 15 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 買い物で不便なことや困っていることについて聞いたところ、「特にない」が 49.4%と半数近くを占めます。不便なことや困っていることとしては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が 29.2%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が 8.4%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである(身体の負担が大きい)」が 7.9%等となっています。
- 地域区分別で見ると、都市地域以外で、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が多くなっています。

図表 16 買い物で不便なことや困っていること（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
歩いて行ける範囲に、行きたい店がない	29.2	30.0	24.7	30.8	32.2	28.5
買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	6.1	3.7	3.9	8.2	10.0	4.5
買い物に行く交通手段がない（電車・バス・車・自転車等を含む）	3.6	1.6	0.5	2.4	7.9	5.8
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	8.4	3.2	3.8	11.3	10.9	12.4
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	8.1	1.8	2.5	6.7	13.5	15.9
買い物を手伝ってくれる人（家族、友人・知人等）がいない	1.9	0.9	2.3	3.4	1.5	1.4
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない（知らない）	2.2	0.8	1.6	2.9	3.6	2.2
買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）	7.9	1.2	2.4	6.7	10.7	18.3
特になし	49.4	62.3	63.8	48.2	36.8	36.5
その他	3.2	1.6	1.3	2.3	6.9	3.8
無回答	7.8	4.3	8.7	5.9	8.4	11.5

(5) - ③ 理・美容で困っていること

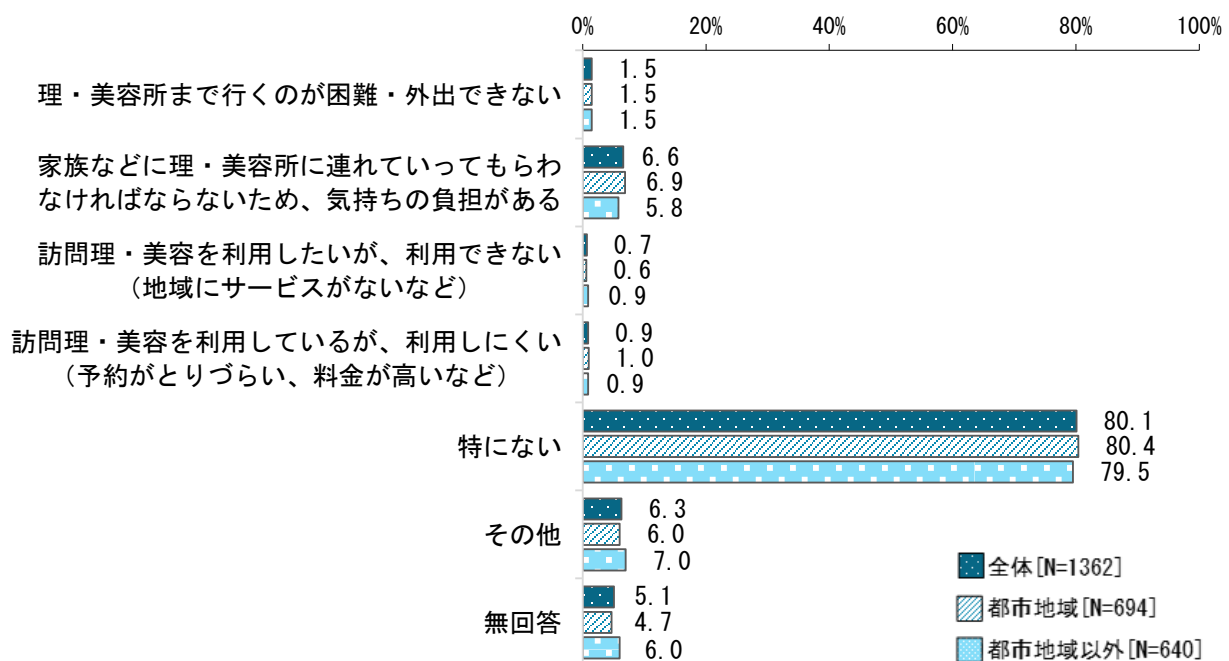
質問文

問 16 あなたは、日頃の理・美容（散髪やカット・パーマ）で困っていることはありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- 理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が80.1%と多くなっています。困っていることとしては、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が6.6%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「特にない」の割合が少なくなっています。

図表 17 理・美容で困っていること（重複回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
理・美容所まで行くのが困難・外出できない	1.5	0.0	0.7	1.9	1.1	3.7
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	6.6	1.7	1.4	5.6	13.7	10.3
訪問理・美容を利用したいが、利用できない（地域にサービスがないなど）	0.7	0.3	0.6	0.5	1.3	0.8
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい（予約がとりづらい、料金が高等）	0.9	0.6	0.2	0.7	1.5	1.7
特にない	80.1	93.0	91.6	82.8	66.4	66.9
その他	6.3	3.9	1.5	4.3	9.7	12.2
無回答	5.1	1.1	3.9	5.5	7.9	7.0

(5) - ④ 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

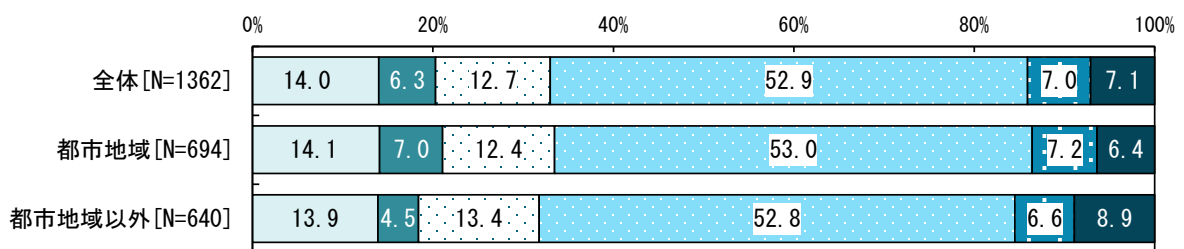
質問文

問 17 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

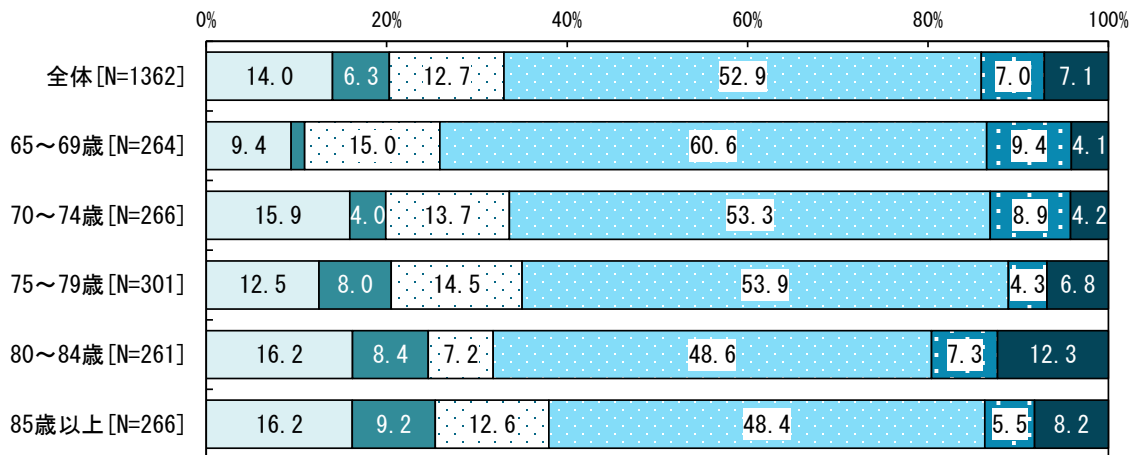
- 介護予防のためのサービスの利用の有無については、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」が52.9%、「利用している」が14.0%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」12.7%、「利用していたが、今は利用していない」6.3%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「利用していたが、今は利用していない」の割合が多くなっています。

図表 18 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

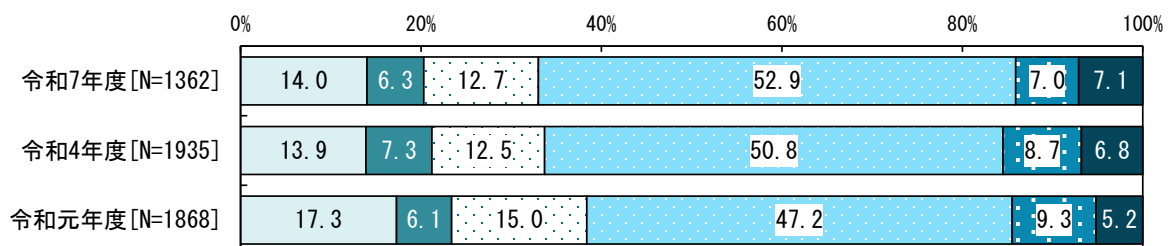
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 利用している
- 利用していたが、今は利用していない
- 利用したことはないが、今後利用したいと考えている
- 利用したことはないし、今後利用する予定はない
- わからない
- 無回答

(5) - ⑤利用している介護予防サービス

質問文

問 18 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。

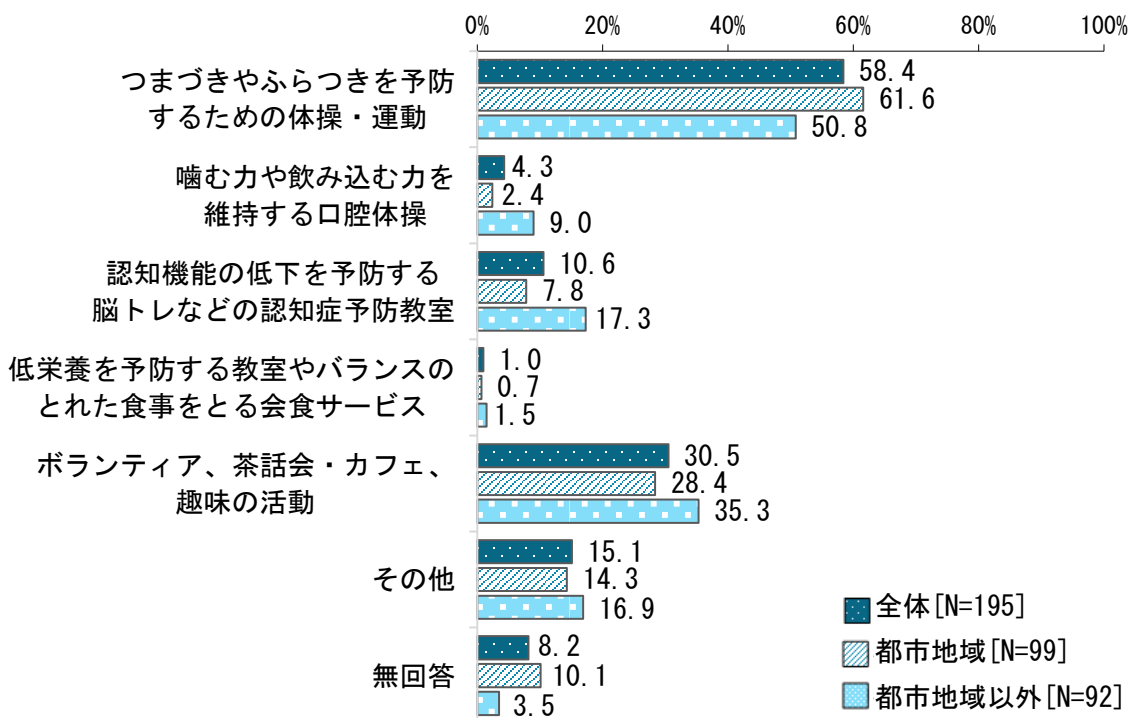
次の(1)、(2)をご回答ください。

(1) 現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 利用している介護予防のサービス内容は、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が58.4%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が30.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室」「嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では80～84歳で、「嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操」「認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室」が他の階層に比べて多くなっています。

図表 19 利用している介護予防サービス（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=195]	65～69歳 [N=21]	70～74歳 [N=46]	75～79歳 [N=38]	80～84歳 [N=45]	85歳以上 [N=45]
つまづきやふらつきを予防するための体操・運動	58.4	51.7	53.8	66.2	65.6	53.3
嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操	4.3	2.2	0.4	3.0	14.0	1.1
認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室	10.6	1.9	5.4	2.7	28.4	10.0
低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.2
ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動	30.5	17.9	41.0	34.1	30.2	24.6
その他	15.1	17.1	21.6	17.4	5.2	15.1
無回答	8.2	13.3	3.4	5.1	11.9	8.9

(5) - ⑥ 介護予防サービスの利用頻度

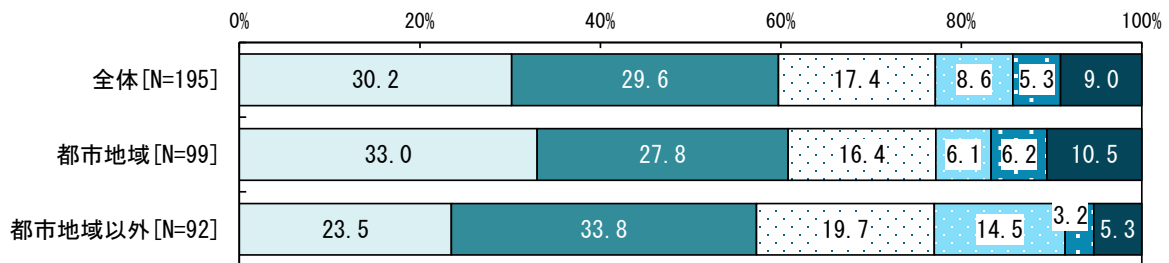
質問文

問 18 (2) 現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

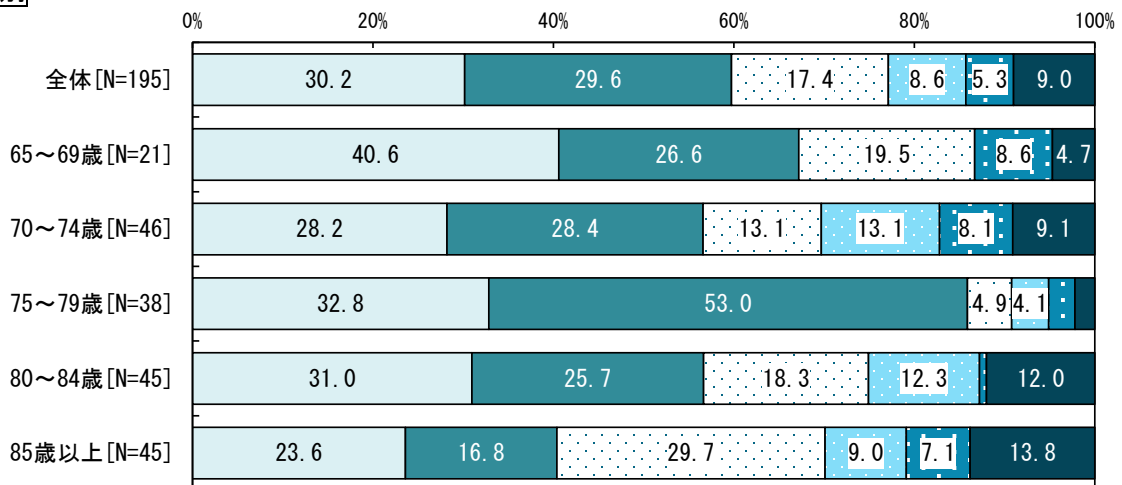
- 介護予防サービスの利用頻度については「週に2回以上」が30.2%、「週に1回程度」が29.6%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「週に2回以上」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で「週に2回以上」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度に比べ、「週に2回以上」が少なくなり、「月に2～3回程度」が多くなっています。

図表 20 介護予防サービスの利用頻度

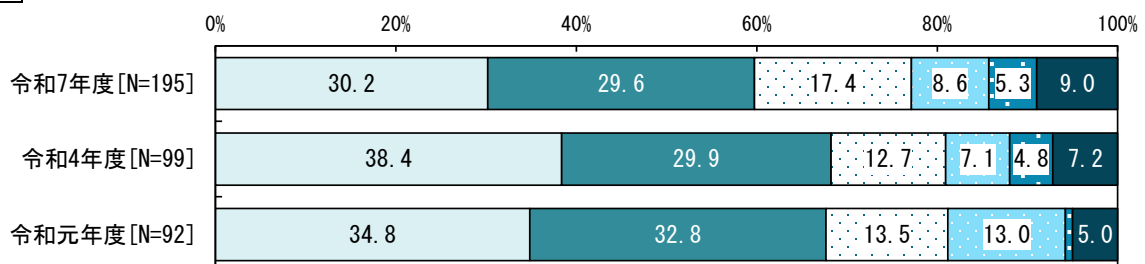
地域区分別



年齢階層別



経年比較



週に2回以上
  週に1回程度
  月に2～3回程度
  月に1回程度
  その他
  無回答

(5) - ⑦ 介護予防サービスを利用しない理由

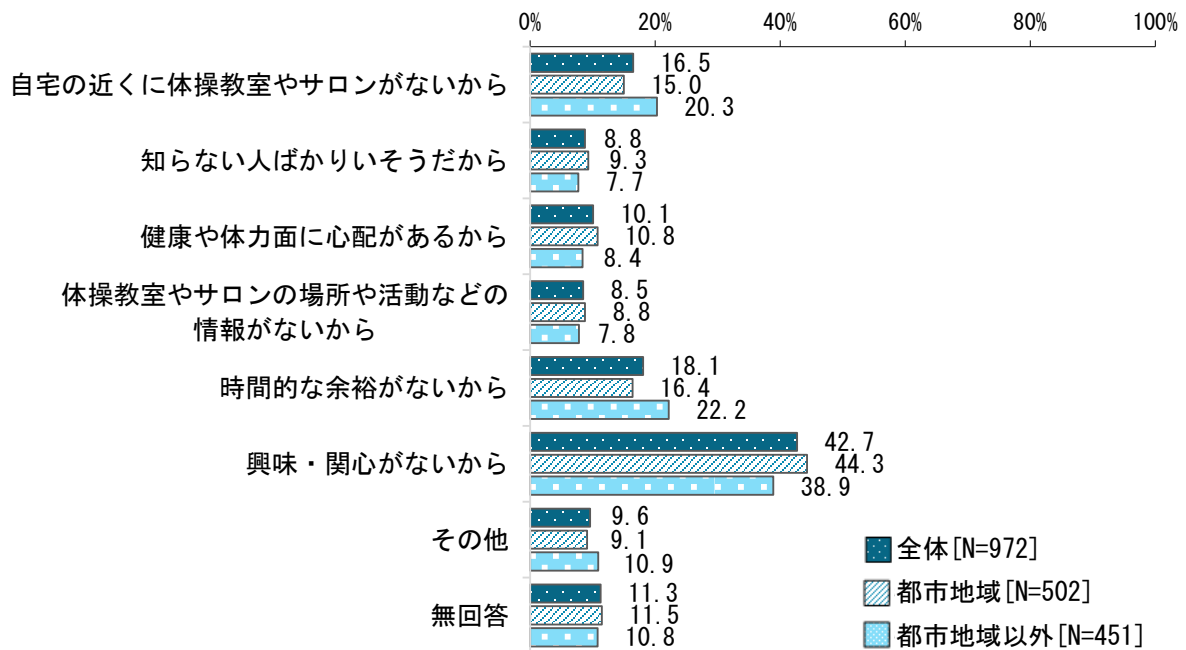
質問文

問 19 問 17 で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

- 介護予防サービスを利用しない理由については、「興味・関心がないから」が 42.7%、「時間的な余裕がないから」が 18.1%、「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」が 16.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて、「興味・関心がないから」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「健康や体力面に心配があるから」の割合が多くなっています。

図表 21 介護予防サービスを利用しない理由（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=972]	65～69歳 [N=211]	70～74歳 [N=185]	75～79歳 [N=226]	80～84歳 [N=166]	85歳以上 [N=180]
自宅の近くに体操教室やサロンがないから	16.5	11.3	16.2	19.8	16.5	18.6
知らない人ばかりいそうだから	8.8	12.5	11.0	6.0	8.2	6.8
健康や体力面に心配があるから	10.1	4.3	6.5	9.0	13.3	18.2
体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから	8.5	9.9	10.3	8.2	7.2	6.7
時間的な余裕がないから	18.1	30.7	22.0	18.5	12.0	6.1
興味・関心がないから	42.7	50.5	47.7	42.4	34.7	37.1
その他	9.6	10.8	7.9	9.5	14.2	6.1
無回答	11.3	6.1	10.0	11.2	12.4	16.9

## (6) 通院状況などについて

### (6) - ① 通院の頻度

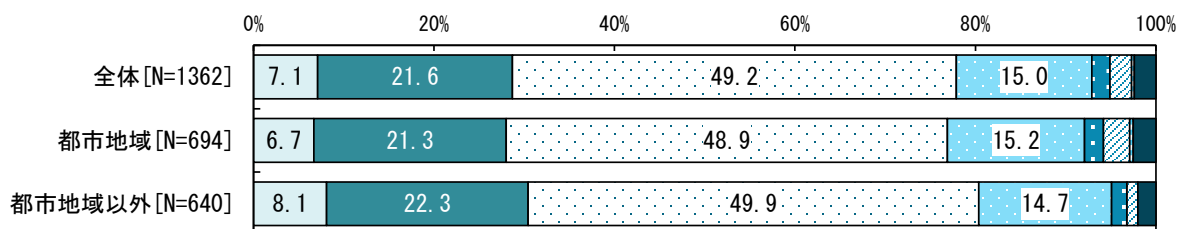
#### 質問文

問 20 あなたは、日頃、どの程度通院（医療機関の受診）をしていますか。  
（あてはまるもの1つに○）

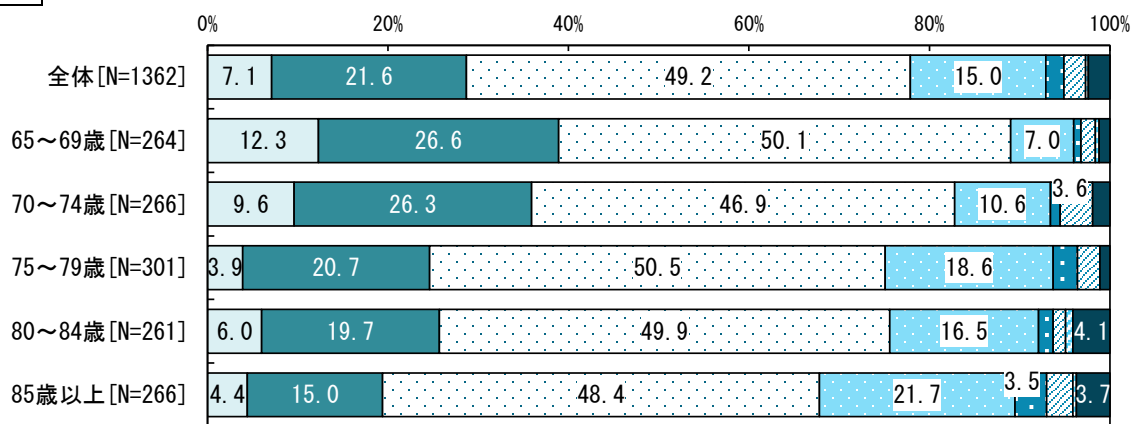
- 通院の程度としては、「月に1回程度」が49.2%と最も多く、次いで、「年に数回程度」が21.6%、「月に2~3回程度」が15.0%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域と都市地域以外に特に顕著な差異はみられません。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「年に数回程度」が少なくなる一方、「月に2~3回程度」が多くなっています。
- 経年比較では、「年に数回程度」「月に1回程度」は増えています。

図表 22 通院の頻度

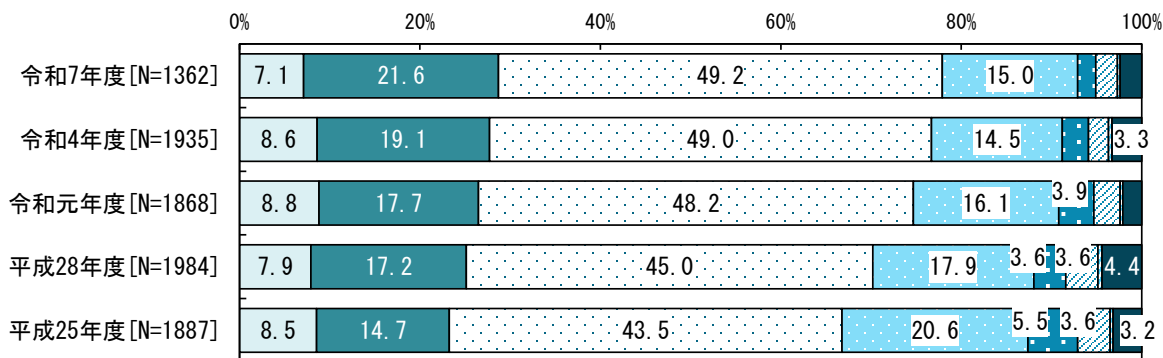
#### 地域区分別



#### 年齢階層別



#### 経年比較



めったにない（年に1回あるかないか）
  年に数回程度
  月に1回程度

月に2~3回程度
  週に1回程度
  週に数回程度

ほぼ毎日
  無回答

(6) - ② かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

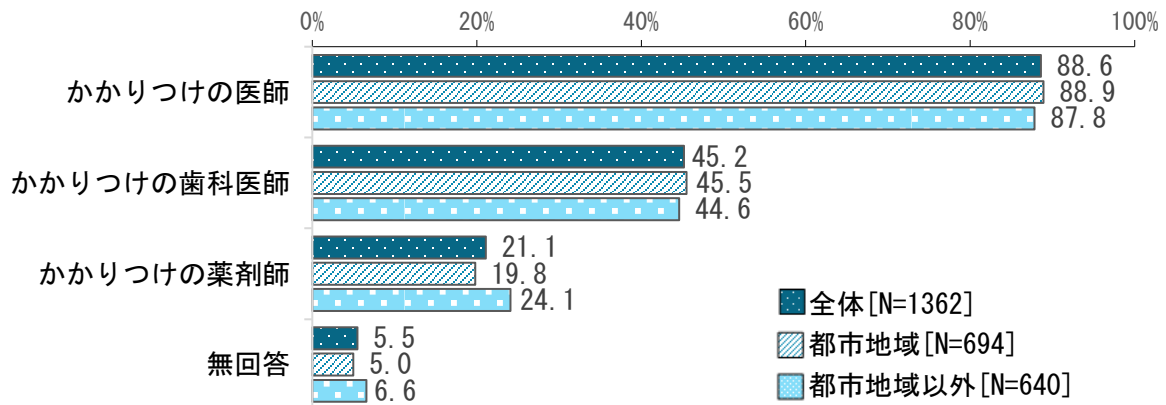
質問文

問 21 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてまるものすべてに○)

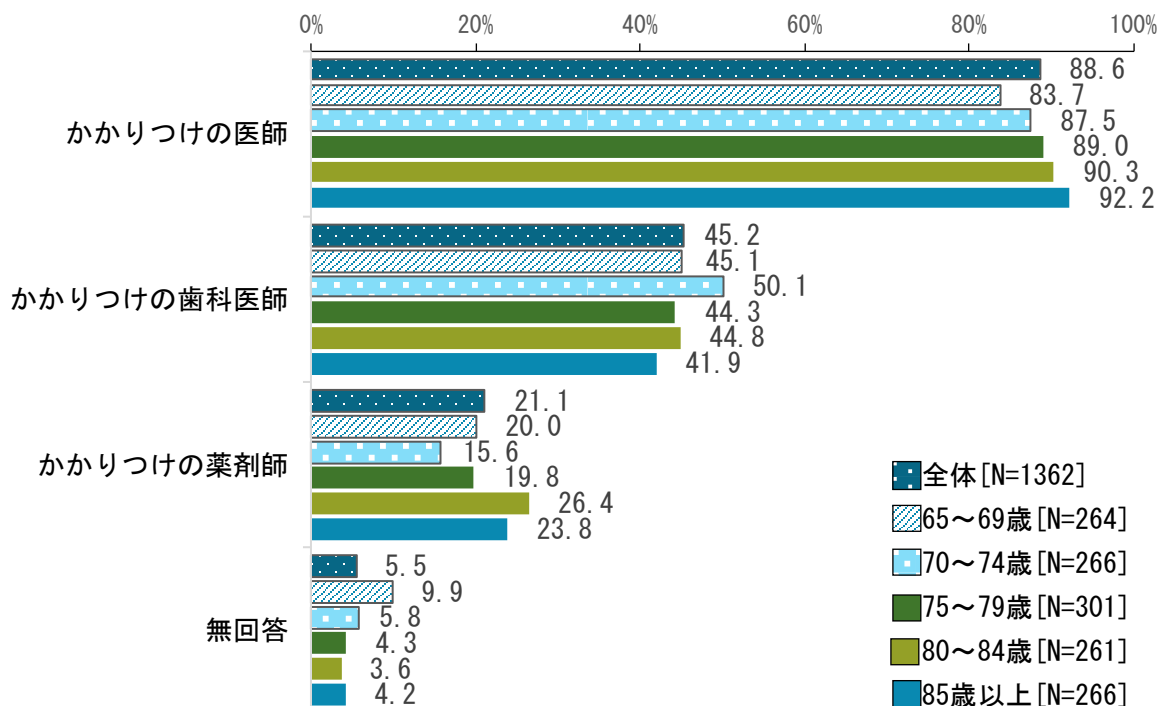
- かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は88.6%、「かかりつけの歯科医師」は45.2%、「かかりつけの薬剤師」は21.1%の人がいると回答しています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれて、「かかりつけの医師」がいる人が多くなっています。
- 経年比較では、「かかりつけの医師」が徐々に増えています。

図表 23 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（重複回答）

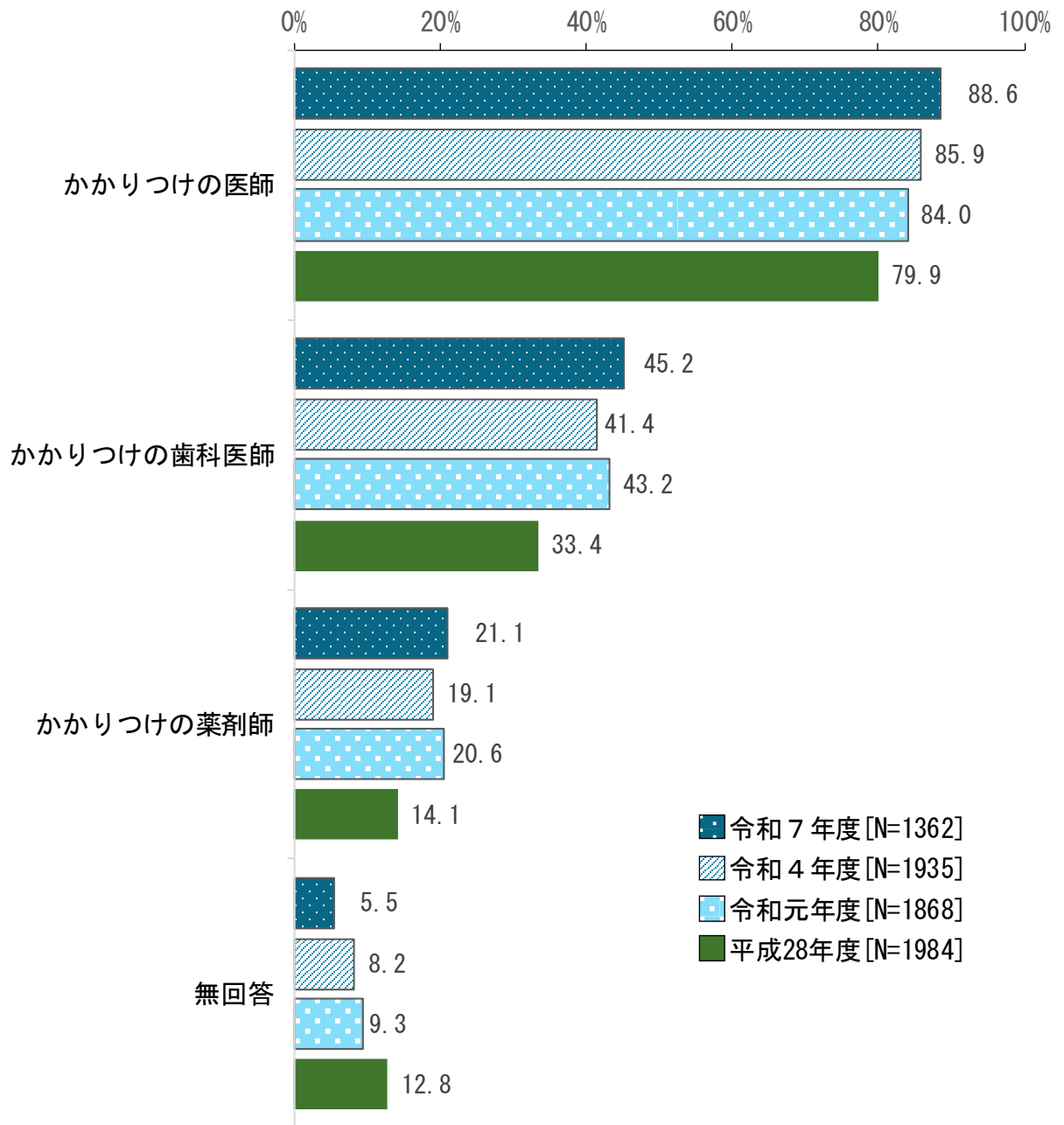
地域区分別



年齢階層別



経年比較



(6) - ③ 健康診断の受診状況について

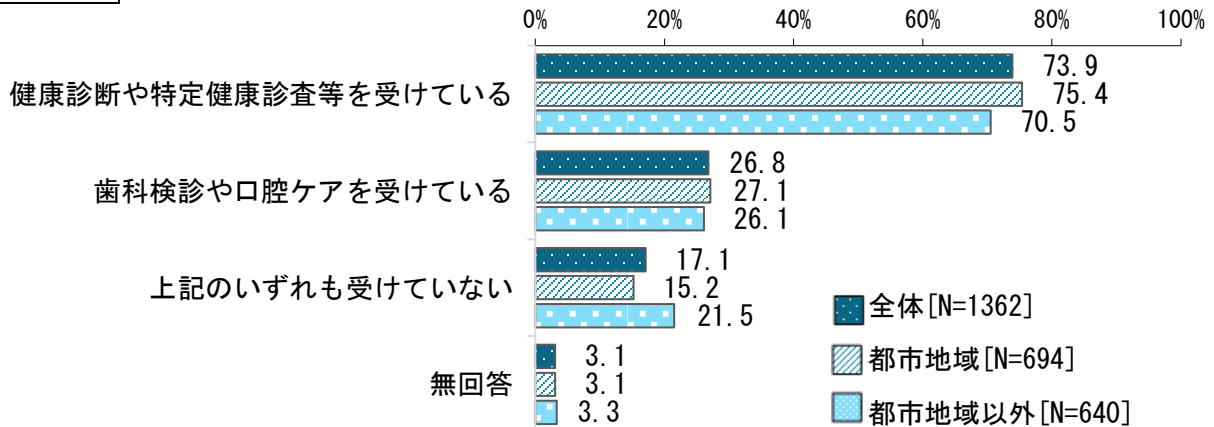
質問文

問 22 あなたは、定期的（年に1回以上）に健康診断等を受けていますか。  
（あてまるものすべてに○）

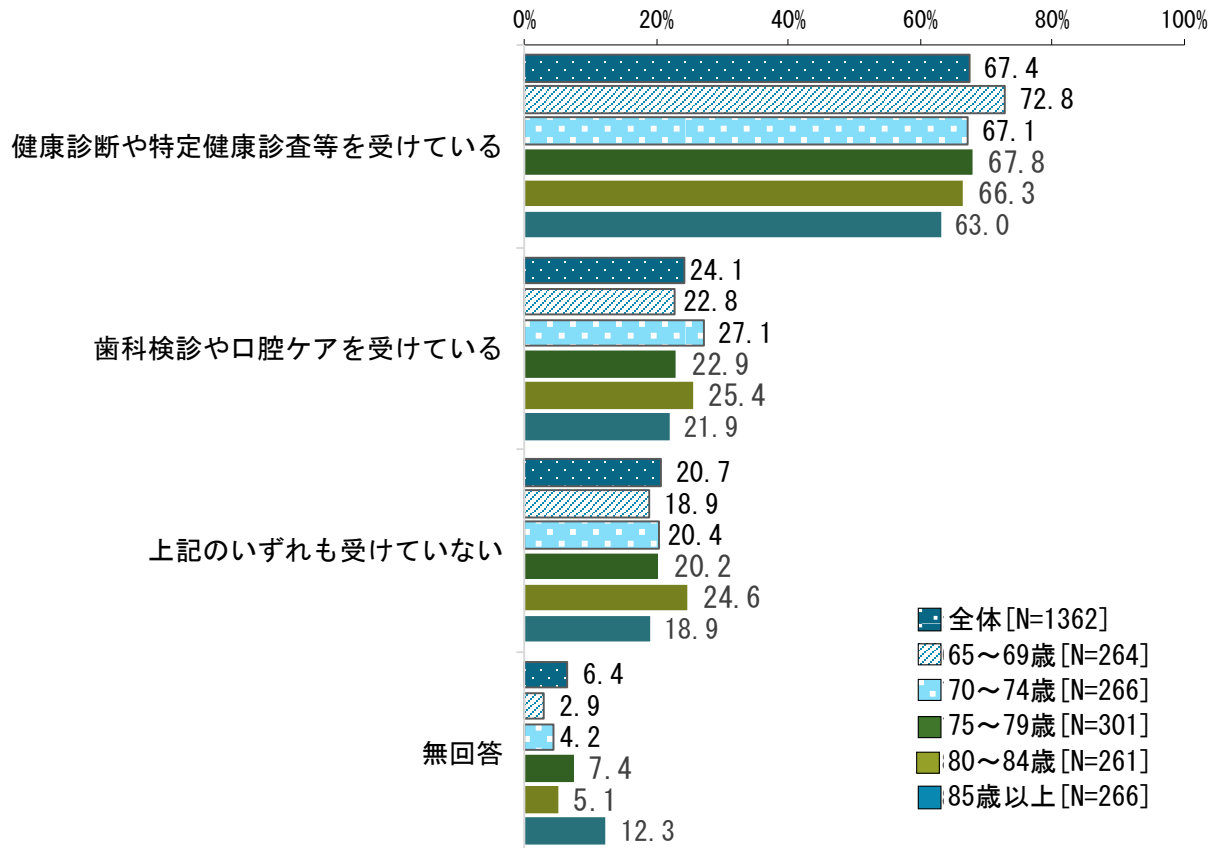
- 健康診断については、「健康診断や特定健康診査等を受けている」は73.9%、「歯科検診や口腔ケアを受けている」は26.8%、「いずれも受けていない」は17.1%となっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で「健康診断や特定健康診査等を受けている」が多くなっています。

図表 24 健康診断の受診状況について（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



## (7) 健康について

### (7) - ① 現在の健康状態

#### 質問文

問 23 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

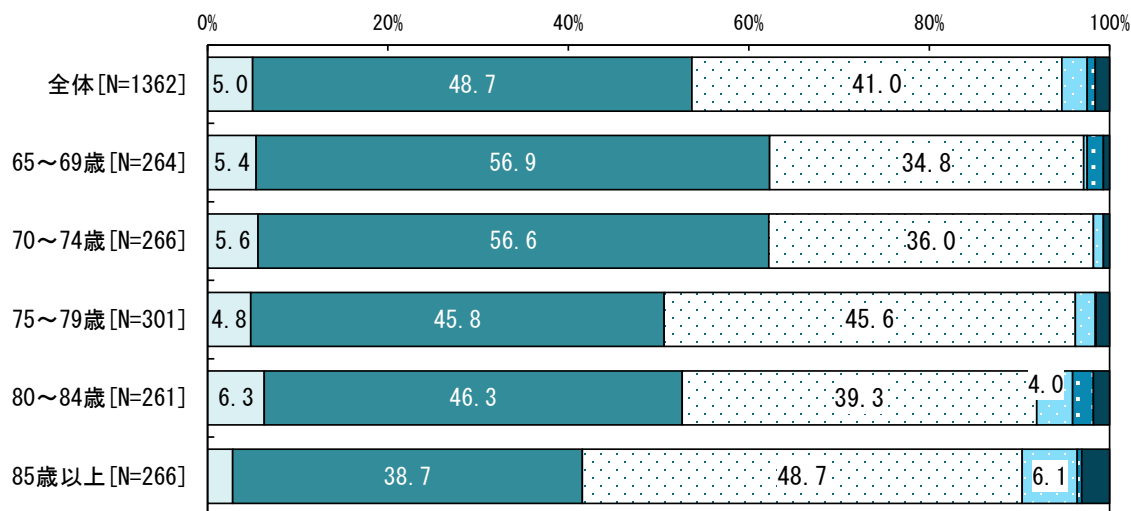
- 現在の健康状態については、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が48.7%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる」が41.0%等となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、なんらかの病気や障害のある人が多くなる傾向にあります。
- 経年比較では、令和4年度と比べ、「大した病気や障害もなく普通に生活している」の割合が増えています。

図表 25 現在の健康状態

#### 地域区分別

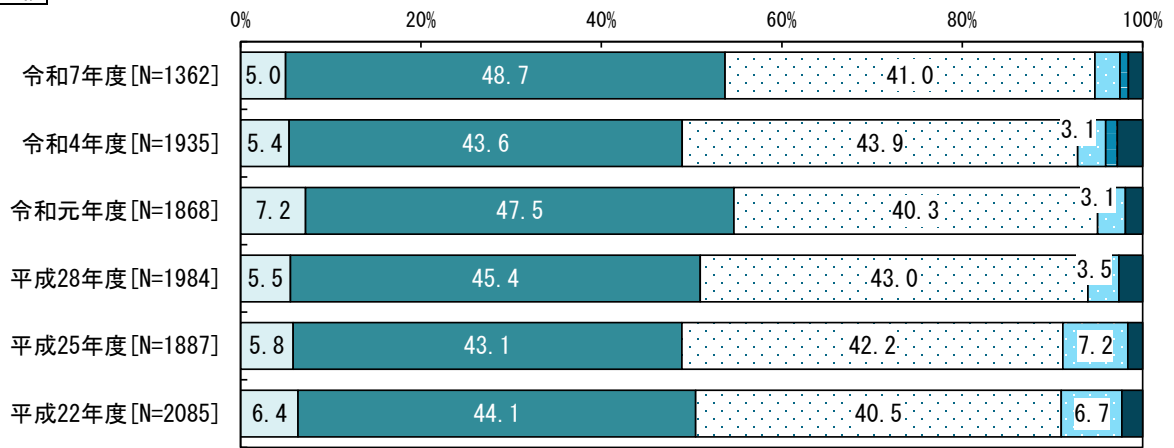


#### 年齢階層別



- たいへん健康である
- 大した病気や障害もなく普通に生活している
- 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる
- 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
- その他
- 無回答

経年比較



- たいへん健康である
- 大した病気や障害もなく普通に生活している
- ▨ 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人のできる
- 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
- その他
- 無回答

(7) - ② 運動の有無

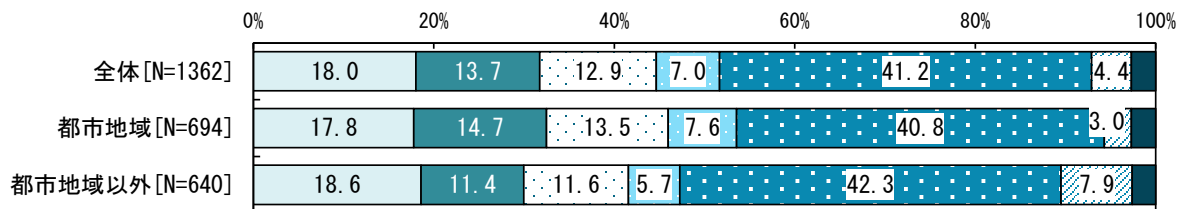
質問文

問 24 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

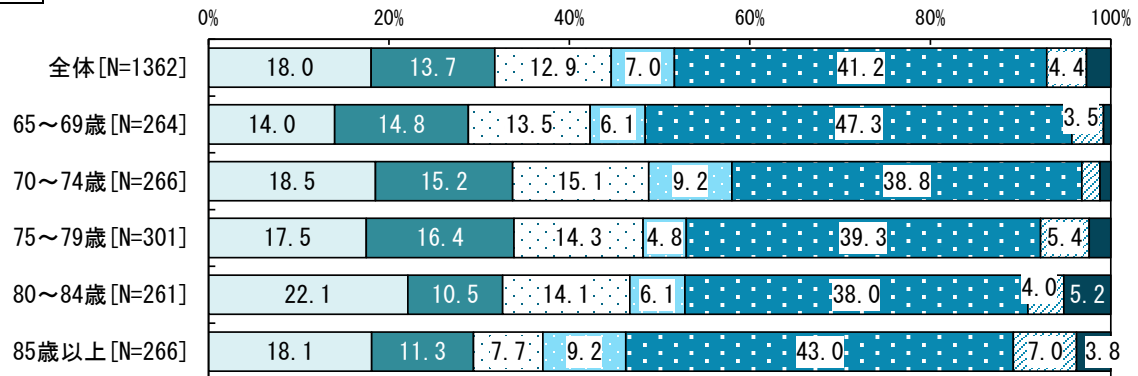
- 運動の有無については、「運動はほとんどしていない」が41.2%と多く、「ほぼ毎日、運動をしている」は18.0%となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて、運動をしている人がやや多くなっています。
- 年齢階層別では、80～84歳で、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度に比べ、大きな違いは見受けられません。

図表 26 運動の有無

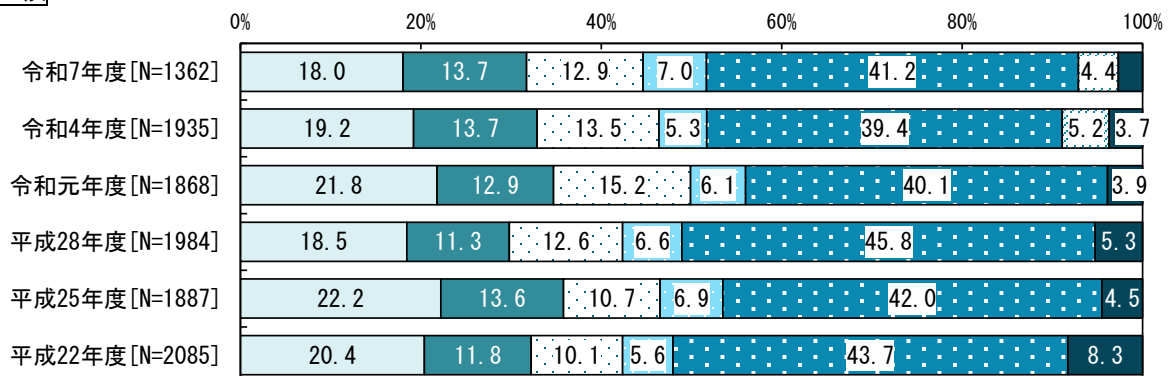
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- ほぼ毎日、運動をしている
- 週に3～5日程度、運動をしている
- ▨ 週に1～2日程度、運動をしている
- 月に数日程度、運動をしている
- 運動はほとんどしていない
- ▨ その他
- 無回答

(7) - ③ 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

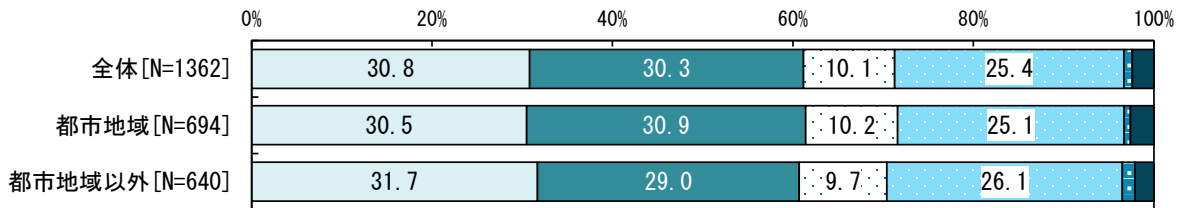
質問文

問 25 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣（ロコモ予防やメタボ予防など）をどのように思いますか。（あてはまるもの1つに○）

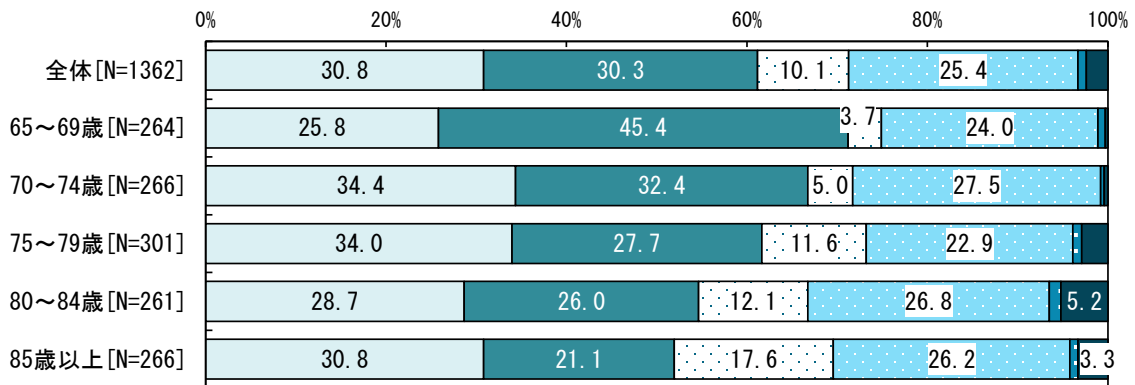
- 健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が30.8%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が30.3%、「特に意識をしていない」が25.4%、「意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う」が10.1%となっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」の割合が増えています。

図表 27 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

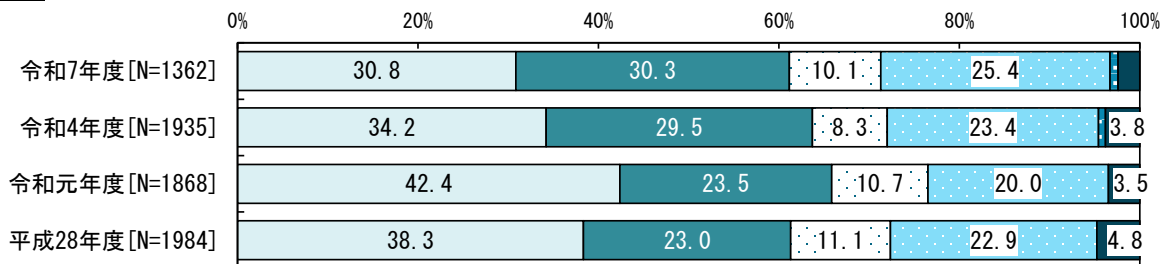
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
- 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
- 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
- 特に意識をしていない
- その他
- 無回答

## (8) 普段の暮らしぶりについて

### 質問文

問 26 以下の質問に、「はい」か「いいえ」で教えてください。(いずれか1つに○)

- JST 版活動能力指標（「一人暮らし高齢者が自立し活動的に暮らす」ために必要な能力を測定する尺度）は、総合では和歌山県が全国を上回りましたが、「新機器利用」を除く領域では全国平均を下回っています。

図表 28 普段の暮らしぶりについて

		(単位：%)		JST版活動評価指数 (はい：1点、いいえ：0点)	
		はい	いいえ	(和歌山県)	(全国)
新機器利用	携帯電話（スマートフォンを含む）を使うことができますか	92.0	8.0	<u>3.1</u> > (2.3)	
	電話をすることができますか	99.7	0.3		
	スマートフォンのアプリ（例：天気予報アプリ、ゲームアプリなど）を使うことができますか	66.8	33.2		
	ATMを使うことができますか	79.6	20.4		
	ビデオやDVD（ブルーレイ）プレーヤーの操作ができますか	70.3	29.7		
	携帯電話やパソコンでメールができますか	71.1	28.9		
情報収集	外国のニュースや出来事に感心がありますか	80.5	19.5	<u>2.8</u> < (2.9)	
	健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	86.3	13.7		
	美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか	58.4	41.6		
	教育・教養番組を視聴していますか	49.9	50.1		
生活マネジメント	詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか	75.9	24.1	<u>2.6</u> < (2.8)	
	生活の中でちょっとした工夫をすることがありますか	76.4	23.6		
	病人の看病ができますか	64.2	35.8		
	孫や家族、知人の世話をしていますか	43.2	56.8		
社会参加	地域の祭りや行事などに参加していますか	43.3	56.7	<u>1.4</u> < (1.7)	
	町内会・自治会で活動していますか	38.1	61.9		
	自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか	33.0	67.0		
	奉仕活動やボランティア活動をしていますか	26.2	73.8		
※JST版活動能力指標					
				<u>9.9</u> > (9.7)	

## (9) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて

### (9) - ① 現在の住まいの種類

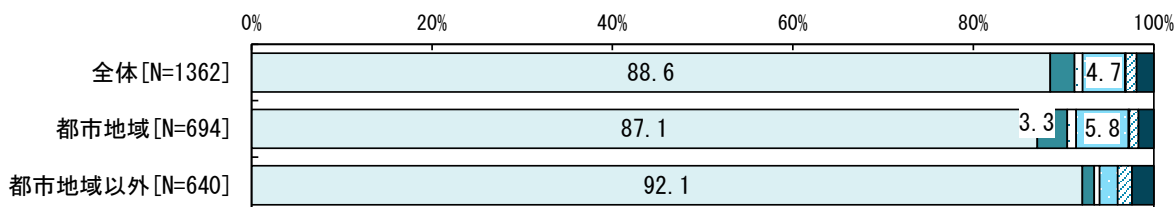
#### 質問文

問 27 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。  
(あてはまるもの1つに○)

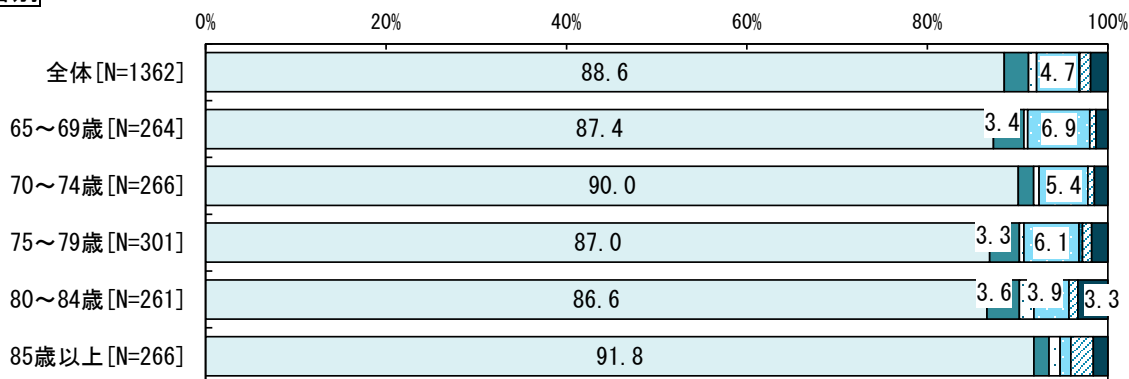
- 現在の住まいの種類については、「戸建（持ち家）」が88.6%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて、「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、大きな違いは見受けられません。
- 経年比較では、令和4年度に比べ、「戸建（持ち家）」が増えています。

図表 29 現在の住まいの種類

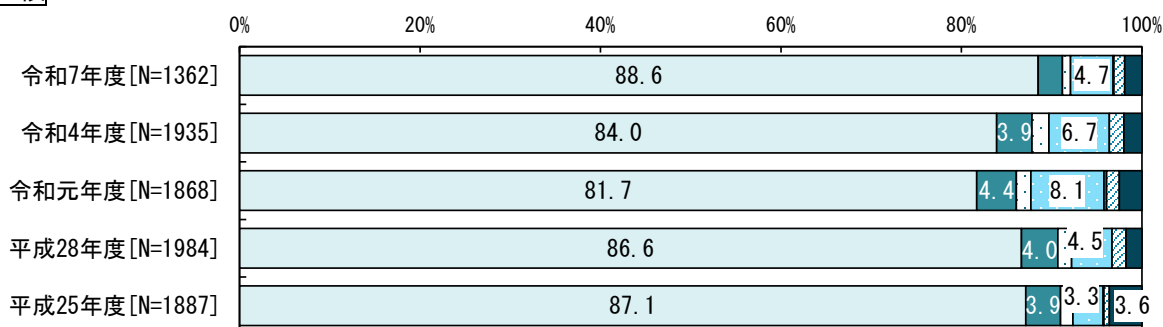
#### 地域区分別



#### 年齢階層別



#### 経年比較



- 戸建（持ち家）
- 戸建（賃貸）
- マンションなどの集合住宅（持ち家）
- マンションなどの集合住宅（賃貸）
- 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
- その他
- 無回答

(9) - ② 介護が必要になった場合の住み替え意向

質問文

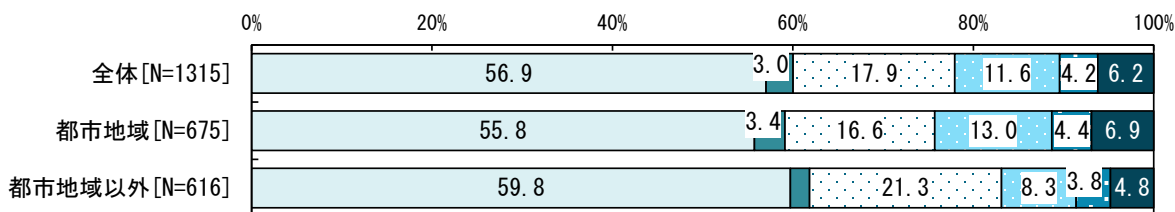
問 28 前の問で「1. 戸建（持ち家）」、「2. 戸建（賃貸）」、「3. マンションなどの集合住宅（持ち家）」、「4. マンションなどの集合住宅（賃貸）」と答えた方におたずねします。次の（1）～（2）をご回答ください。

（1）あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。（そう思うもの1つに○）

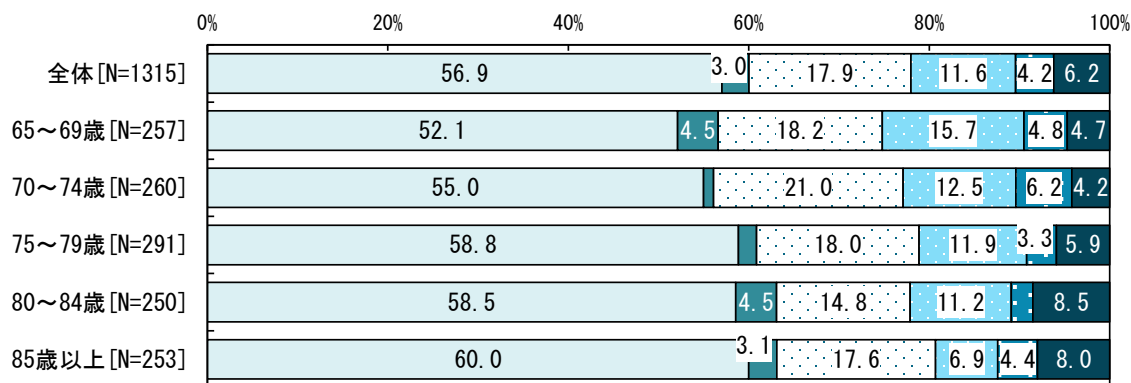
- 介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が 56.9%、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」が 17.9%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合が少なくなっている一方、「介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合は徐々に少なくなっています。

図表 30 介護が必要になった場合の住み替え意向

地域区分別

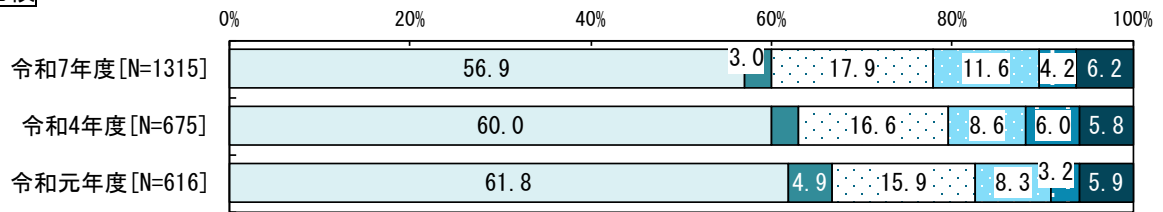


年齢階層別



- 自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

経年比較



- 自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

(9) - ③ 住み替えで重視すること

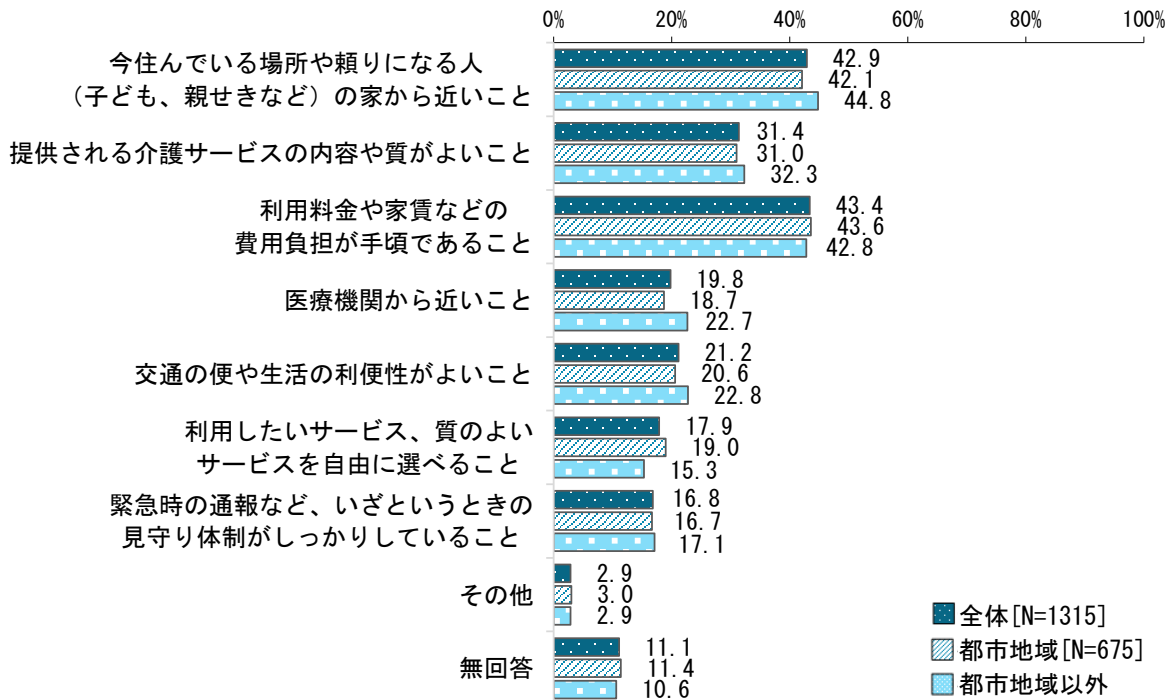
質問文

問 28 (2) もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。  
(重視する項目 3 つ以内に○)

- 住み替えで重視することについて聞いたところ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が 43.4%、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が 42.9%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「医療機関から近いこと」「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」の割合がやや多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」「交通の便や生活の利便性が良いこと」の割合が少なくなっています。

表 31 住み替えで重視すること（3 つまで○）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1315]	65～69歳 [N=257]	70～74歳 [N=260]	75～79歳 [N=291]	80～84歳 [N=250]	85歳以上 [N=253]
今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	42.9	42.7	45.7	44.7	39.8	41.2
提供される介護サービスの内容や質がよいこと	31.4	40.0	34.6	31.4	25.6	25.3
利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること	43.4	54.2	51.0	39.4	41.2	31.6
医療機関から近いこと	19.8	20.3	19.4	19.4	20.3	19.8
交通の便や生活の利便性がよいこと	21.2	27.3	23.1	25.3	18.4	11.9
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	17.9	18.6	20.0	22.2	12.4	15.7
緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること	16.8	15.3	17.0	16.3	22.9	13.0
その他	2.9	0.8	3.6	5.3	2.3	2.5
無回答	11.1	5.8	6.3	9.7	15.5	18.4

(9) - ④ 介護が必要となった場合の在宅生活に必要なサービス

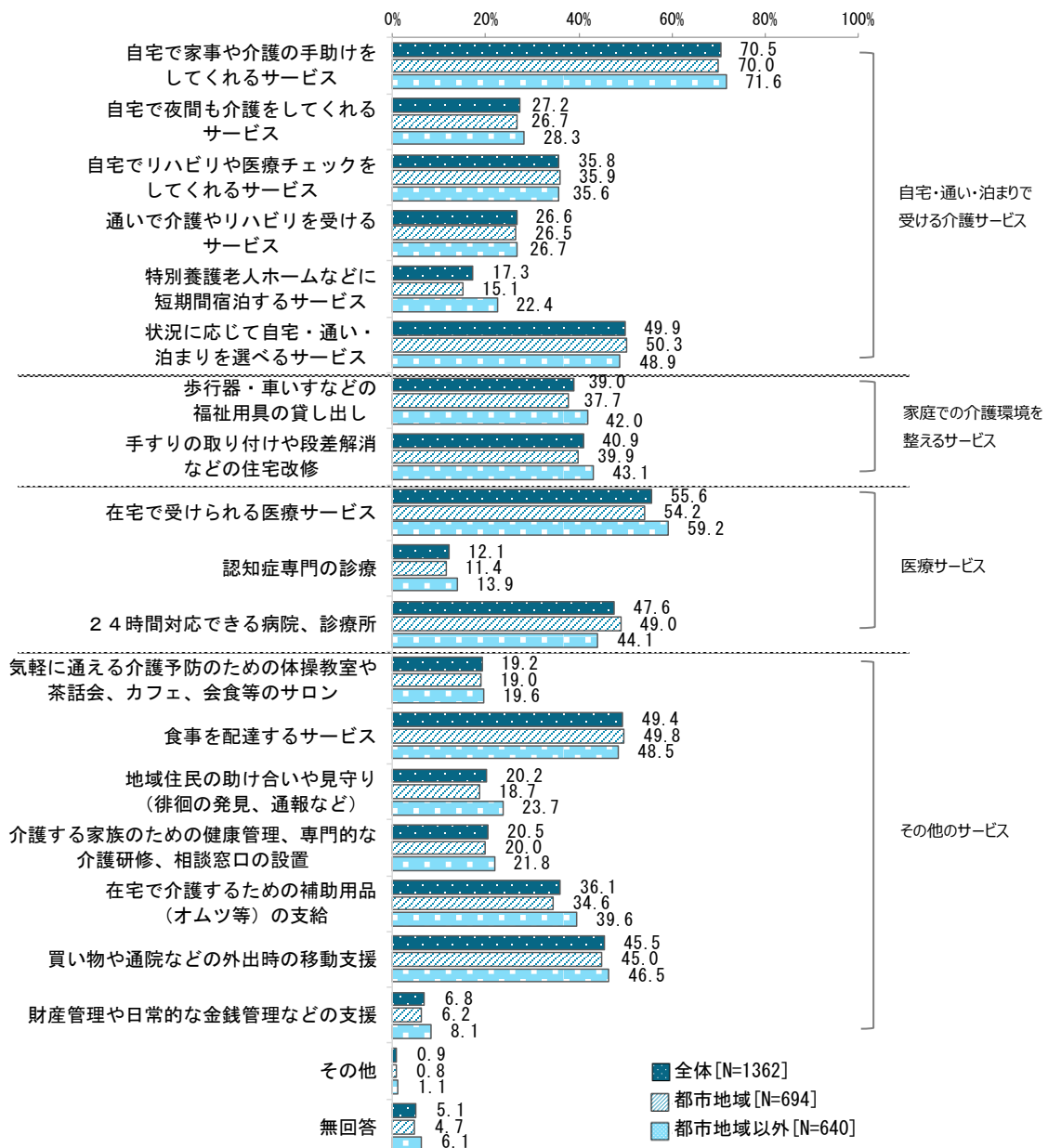
質問文

問 29 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

- 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が70.5%と最も多く、次いで、「在宅で受けられる医療サービス」が55.6%、「状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス」が49.9%、「食事を配達するサービス」が49.4%、「24時間対応できる病院、診療所」が47.6%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」「手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修」の割合が多くなっています。

図表 32 介護が必要となった場合の在宅生活に必要なサービス（重複回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

		全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス	自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	70.5	81.7	73.8	70.5	63.7	63.0
	自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	27.2	30.2	26.8	25.6	28.5	25.0
	自宅でリハビリや医療チェックをしてもらえるサービス	35.8	37.5	36.2	33.9	35.4	36.1
	通いで介護やリハビリを受けるサービス	26.6	27.8	29.6	29.2	24.1	21.9
	特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	17.3	19.8	13.7	17.0	14.5	21.3
	状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	49.9	56.5	56.5	51.6	48.5	36.5
家庭での介護環境を整えるサービス	歩行者・車いすなどの福祉用具の貸し出し	39.0	47.2	39.9	33.9	39.3	35.6
	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	40.9	51.4	42.8	39.7	34.4	36.4
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	55.6	61.4	51.9	55.3	53.9	55.9
	認知症専門の診療	12.1	18.4	12.1	12.5	11.5	6.5
	24時間対応できる病院、診療所	47.6	54.9	46.2	48.3	44.5	44.1
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン	19.2	22.7	25.0	19.2	16.2	12.9
	食事を配達するサービス	49.4	58.4	53.4	54.0	40.3	40.7
	地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	20.2	23.8	21.6	18.8	20.8	16.2
	介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置	20.5	23.3	18.2	23.2	18.8	18.9
	在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	36.1	38.7	37.8	36.9	34.0	33.0
	買い物や通院などの外出時の移動支援	45.5	55.2	50.1	45.2	38.7	38.4
	財産管理や日常的な金銭管理などの支援	6.8	6.7	9.3	7.1	5.8	5.0
その他		0.9	0.8	1.1	0.9	1.4	0.2
無回答		5.1	3.7	4.4	4.8	6.6	6.2

## (10) 自宅での看取りの考え方などについて

### (10) - ① 延命治療等への関心

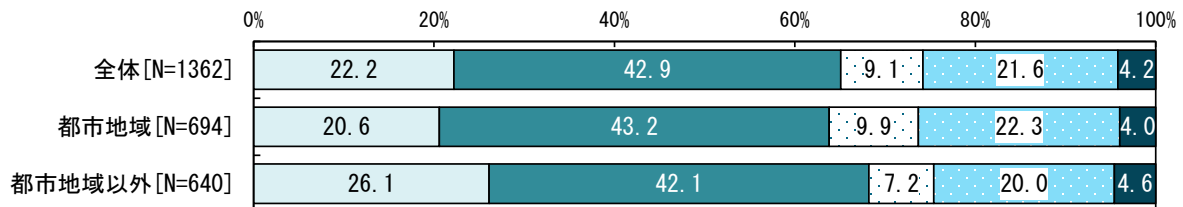
#### 質問文

問 30 現在、わが国では、多くの人が病気で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

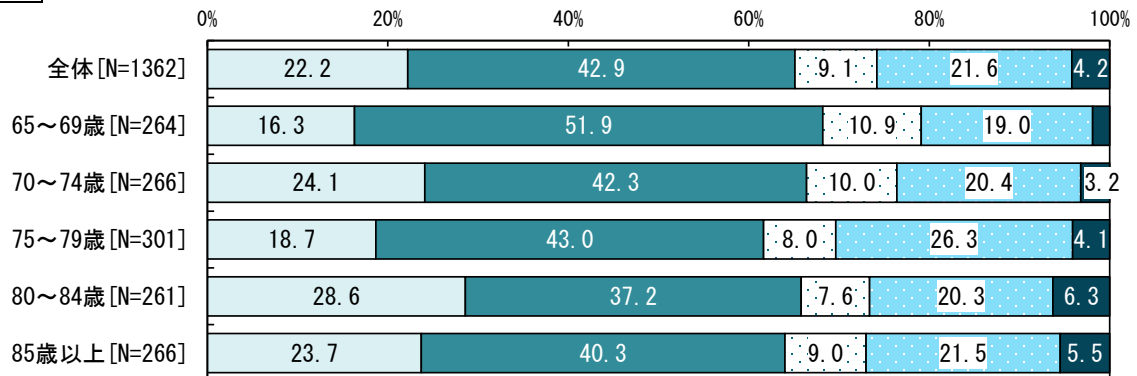
- 延命治療等への関心については、「ある程度は関心がある」が42.9%、「とても関心がある」が22.2%、「今はわからない」が21.6%、「それほど関心はない」が9.1%となっています。
- 年齢階層別では、65～69歳で「関心がある」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「とても関心のある」がやや減少し、「ある程度は関心がある」が増えています。

図表 33 延命治療等への関心

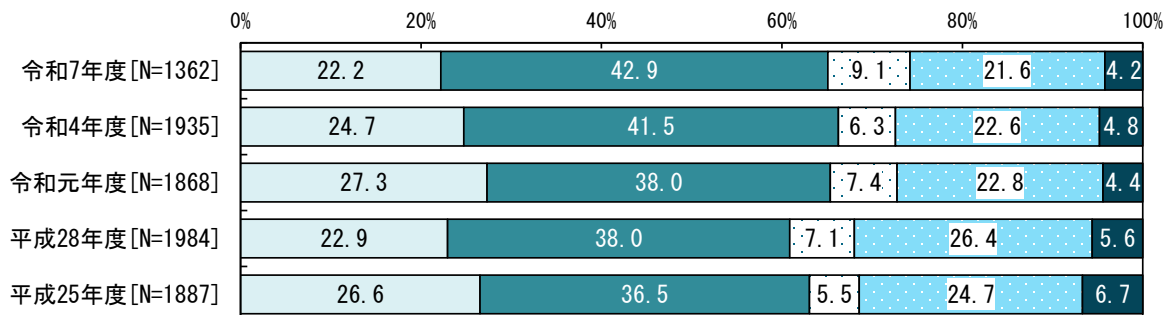
#### 地域区分別



#### 年齢階層別



#### 経年比較



とても関心がある
  ある程度は関心がある
  それほど関心はない
  今はわからない
  その他
  無回答

(10) - ② 自宅で家族を看取った経験の有無

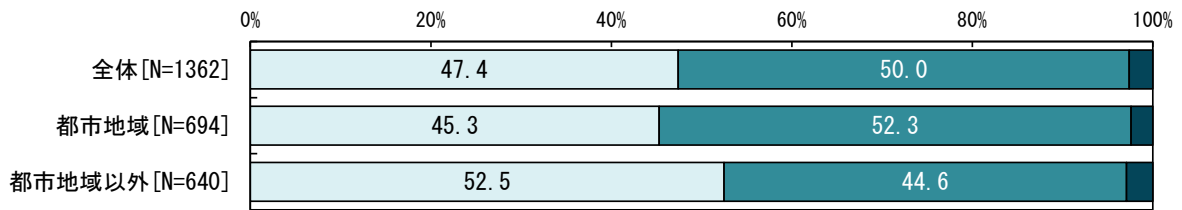
質問文

問 31 あなたは、自宅（または親の自宅等）で、家族を看取った経験がありますか。  
（いずれか1つに○）

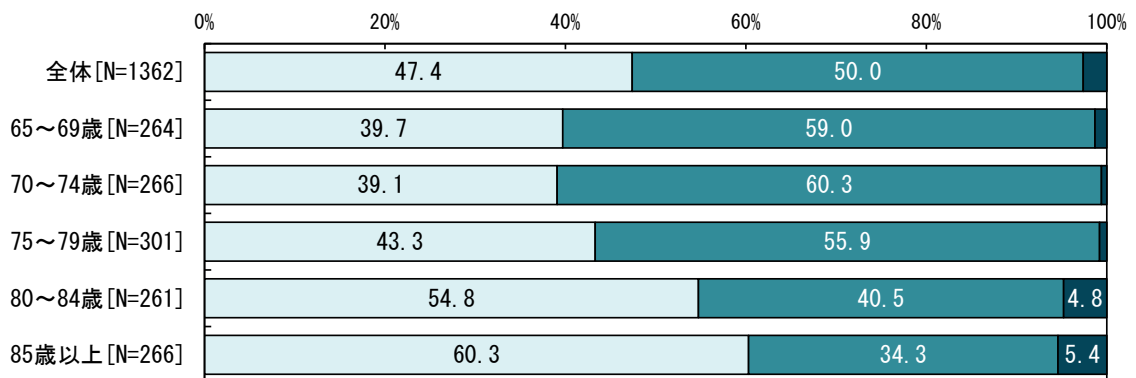
- 自宅で家族を看取った経験について聞いたところ、「ある」が47.4%、「ない」が50.0%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「ある」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「ある」が減り、「ない」が増えています。

図表 34 自宅で家族を看取った経験の有無

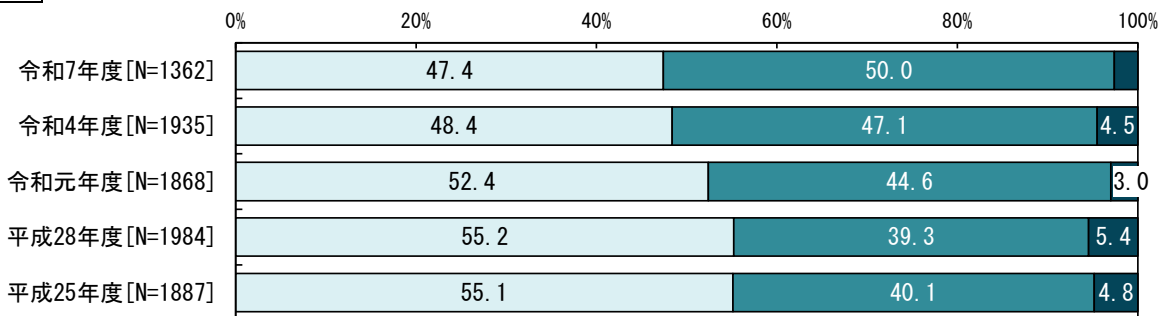
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ ある      ■ ない      ■ 無回答

(10) - ③ リビング・ウィルに対する意見

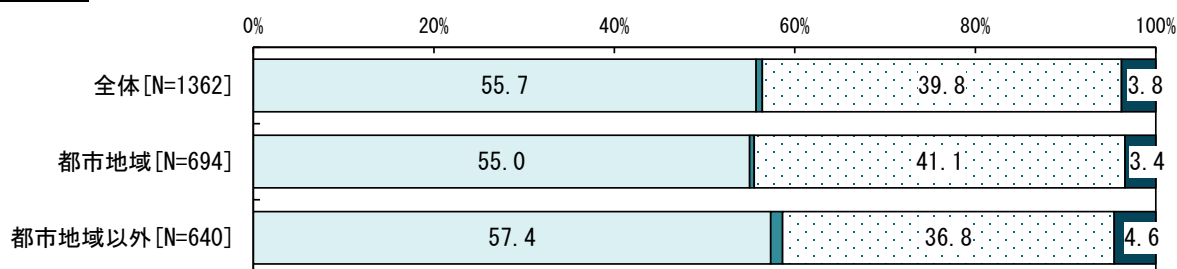
質問文

問 32 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと（リビング・ウィル）について、どう思いますか。（最も近いもの1つに○）

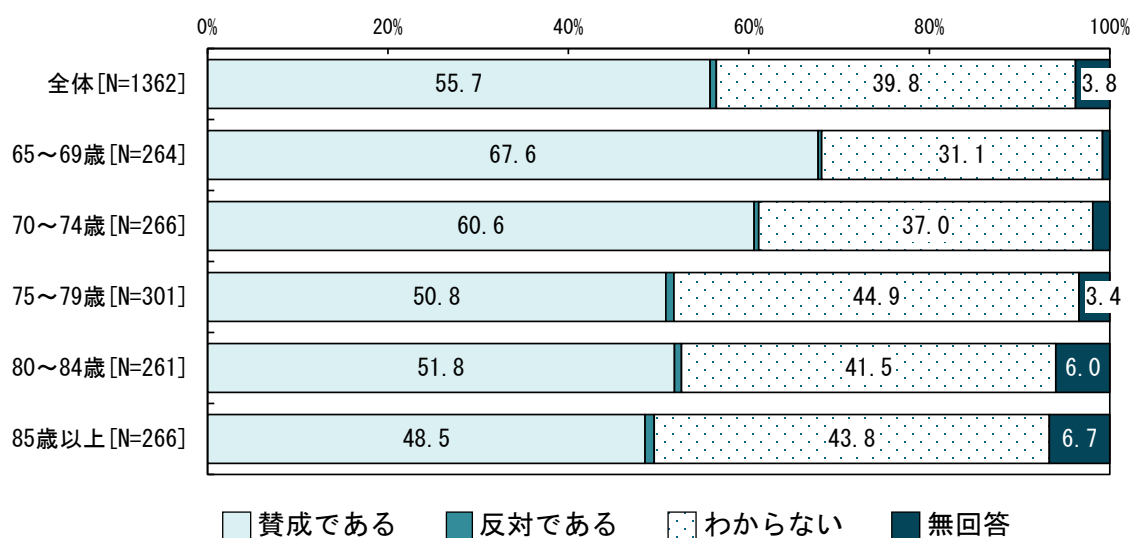
- リビング・ウィルについて聞いたところ、「賛成である」が55.7%、「わからない」が39.8%等となっています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「賛成である」が少なくなっています。

図表 35 リビング・ウィルに対する意見

地域区分別



年齢階層別



(10) - ④ 延命治療への希望

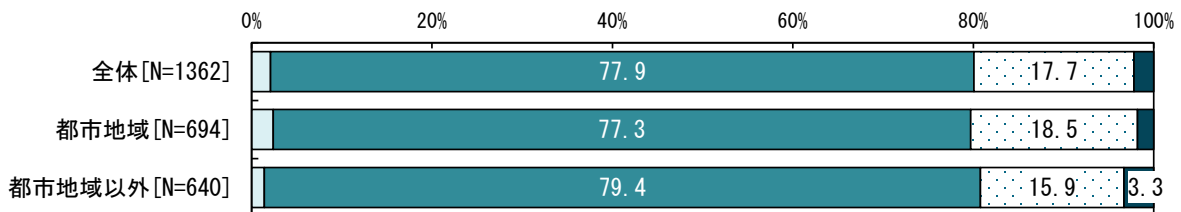
質問文

問 33 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

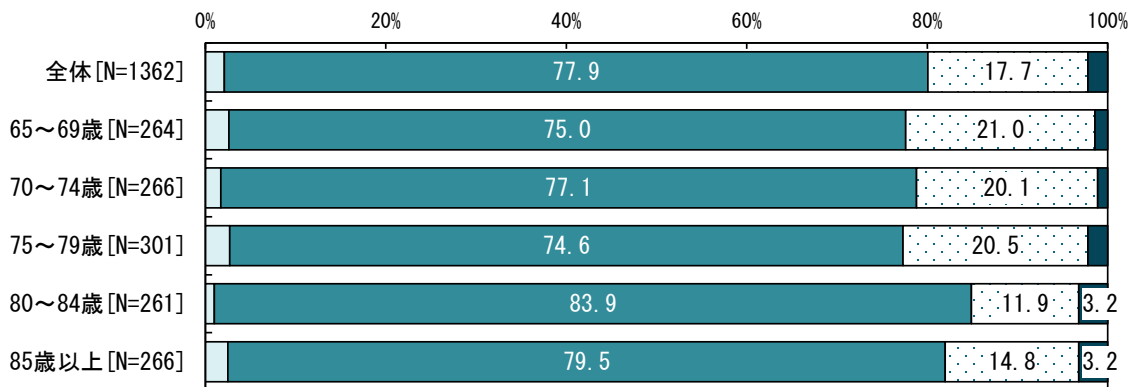
- 延命治療の希望については、「望まない」が77.9%、「今はわからない」が17.7%等となっています。
- 年齢階層別では、80歳以上で、「望まない」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「望まない」の割合が多くなっています。

図表 36 延命治療への希望

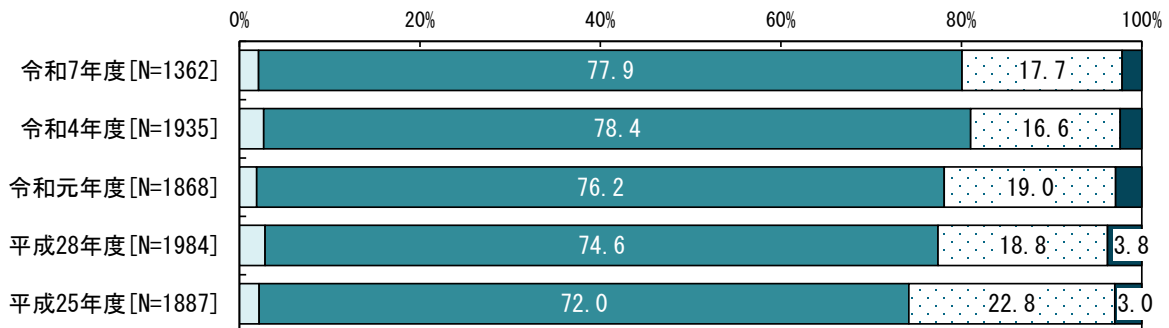
地域区分別



年齢階層別



経年比較



望む 望まない 今はわからない 無回答

(10) - ⑤ 最後を過ごしたい場所

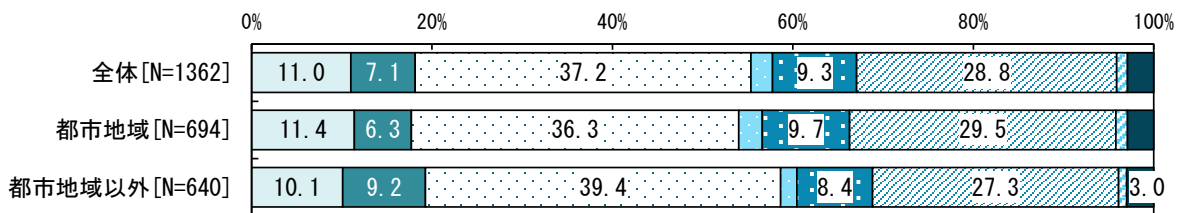
質問文

問 34 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最後をどこで迎えたいと思われますか。  
(最も近いもの1つに○)

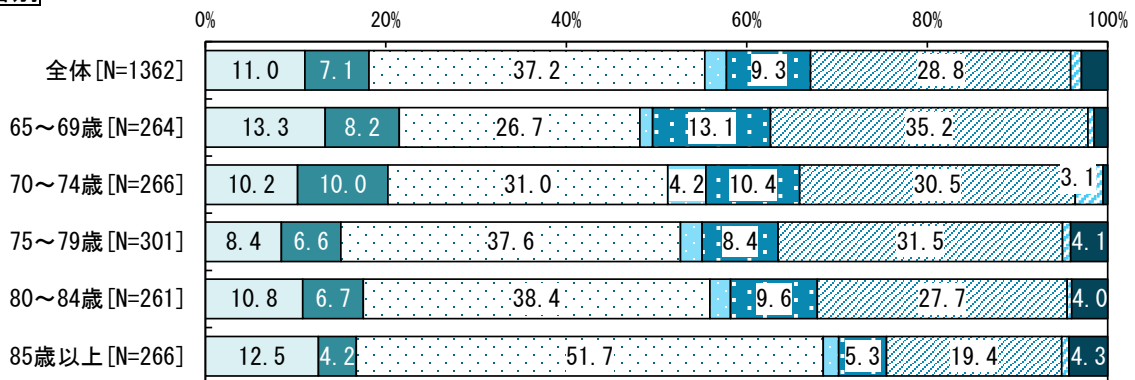
- 自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が 37.2%、「今はわからない」が 28.8%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、85 歳以上の人で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が減っています。

図表 37 最後を過ごしたい場所

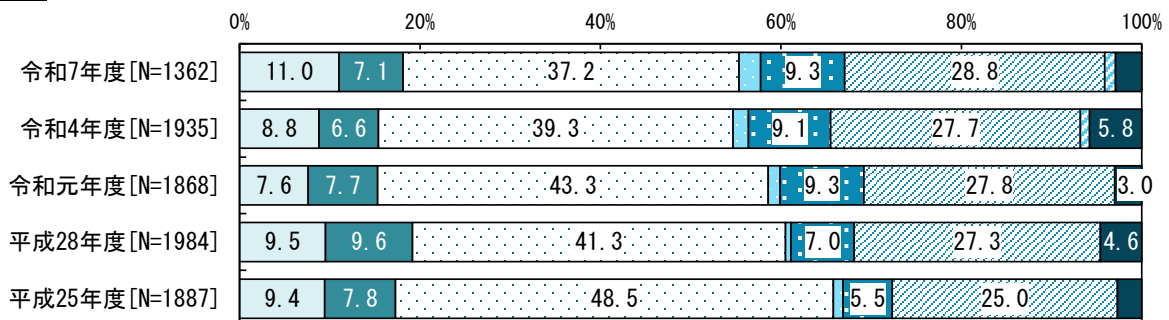
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
- 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
- 住み慣れた自宅で過ごしたい
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
- どこでもよい
- 今はわからない
- その他
- 無回答

## (11) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

### (11) - ① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

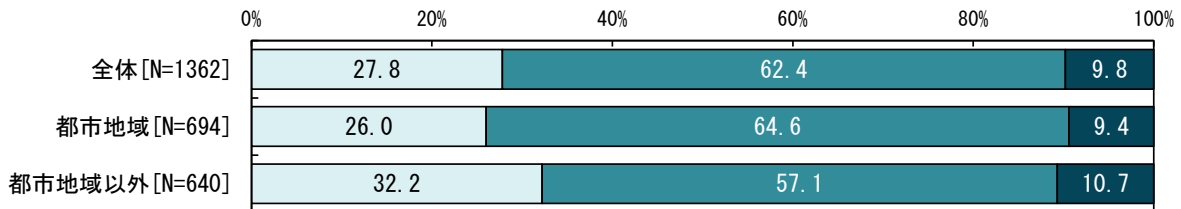
#### 質問文

問 35 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

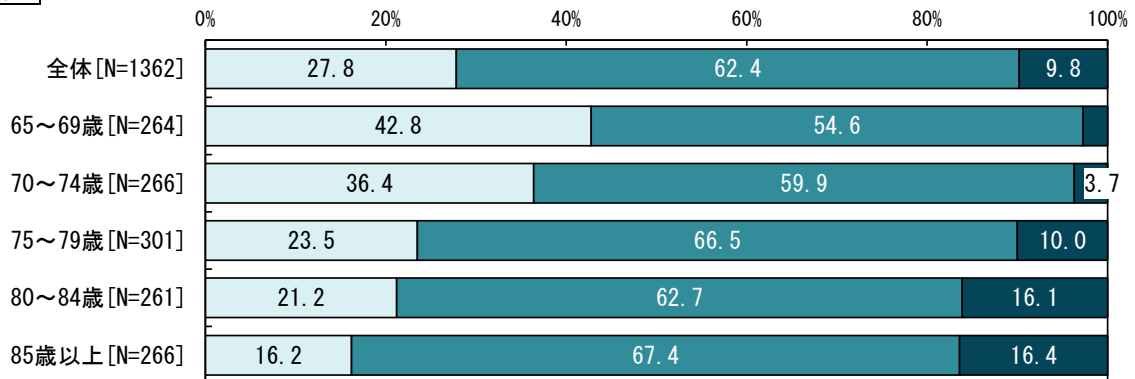
- 高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、「ない」が62.4%、「ある」が27.8%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「ある」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、「ない」の割合が徐々に多くなっています。

図表 38 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

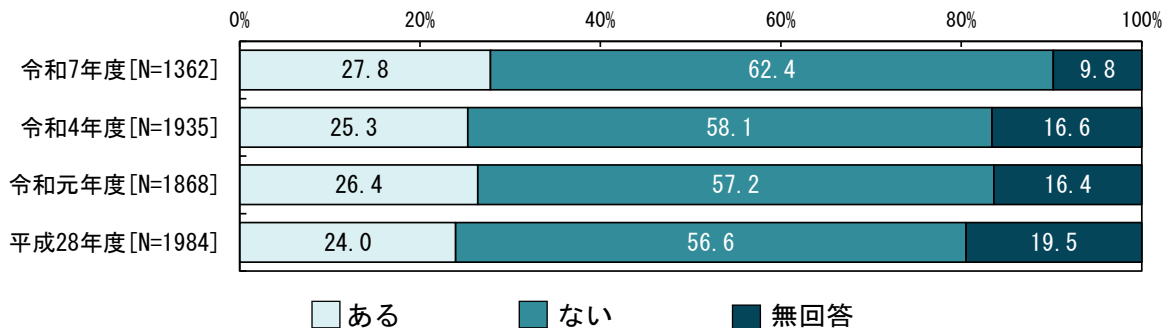
#### 地域区分別



#### 年齢階層別



#### 経年比較



□ ある      ■ ない      ■ 無回答

(11) - ② 高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望

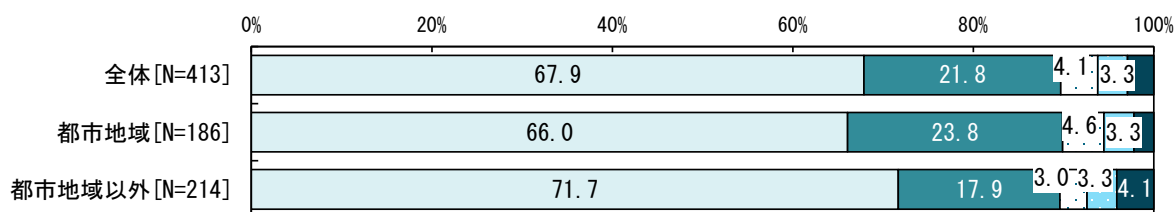
質問文

問 36 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような参加の仕方を希望しますか。  
(あてはまるもの1つに○)

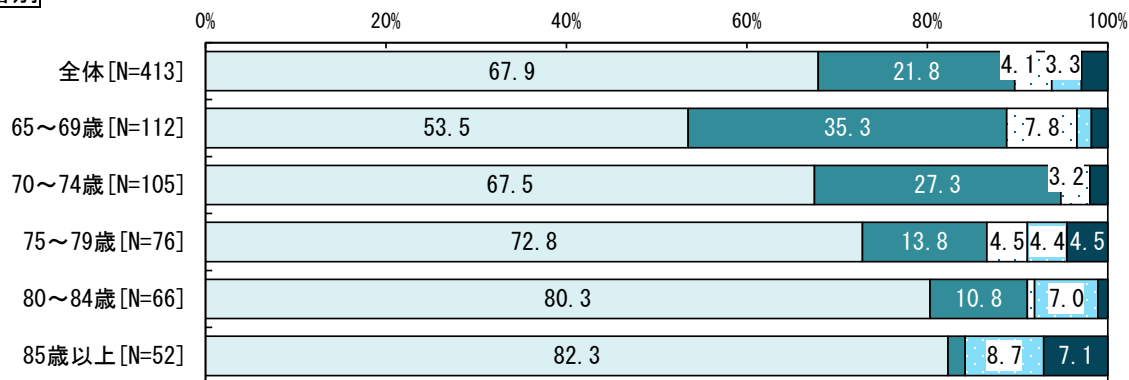
- 高齢者の生活支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が67.9%と多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合が多くなっています。65～69歳では「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が減っています。

図表 39 高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望

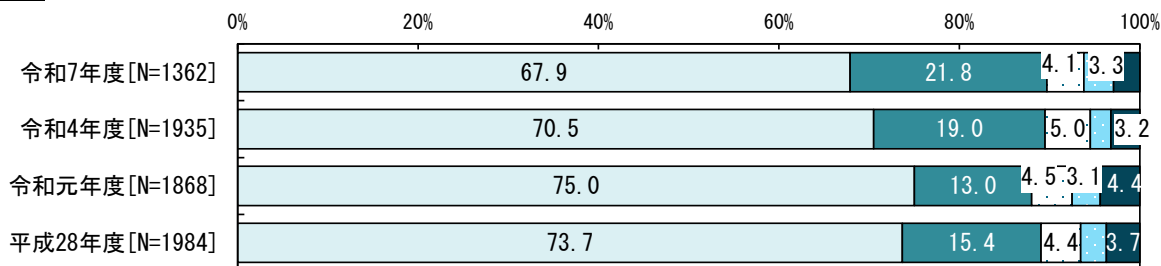
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
- 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい (短時間のパート・アルバイト含む)
- 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
- その他
- 無回答

## (12) 介護保険制度などについて

### (12) - ① 介護保険制度やサービスについて知りたいこと

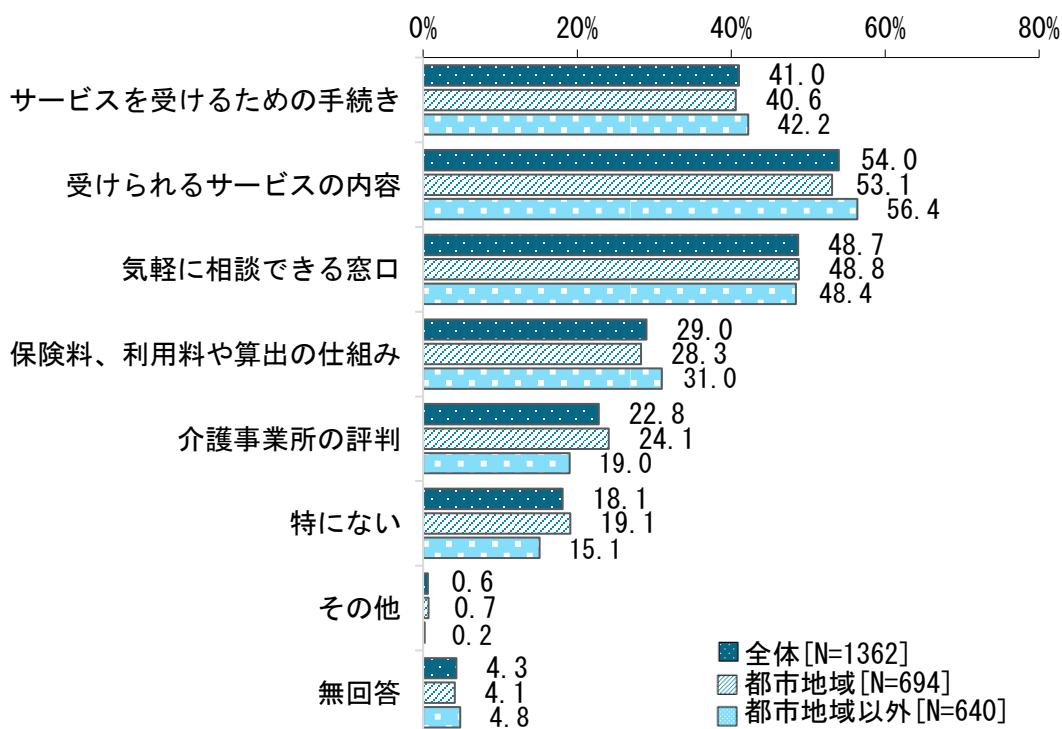
#### 質問文

問 37 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 介護保険制度やサービスで知りたいことについて聞いたところ、「受けられるサービスの内容」が 54.0%、「気軽に相談できる窓口」が 48.7%、「サービスを受けるための手続き」が 41.0%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が 29.0%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「受けられるサービスの内容」の割合がやや多くなっています。
- 年齢階層別では、65～69 歳で「受けられるサービスの内容」「保険料、利用料や算出の仕組み」の割合が多くなっています。

図表 40 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）

#### 地域区分別



#### 年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
サービスを受けるための手続き	39.6	38.5	32.9	46.3	43.2	36.3
受けられるサービスの内容	49.9	56.5	51.8	50.5	47.0	44.0
気軽に相談できる窓口	48.9	48.4	54.7	51.7	48.8	40.6
保険料、利用料や算出の仕組み	28.9	34.8	24.7	29.0	30.5	26.0
介護事業所の評判	22.3	28.0	24.0	24.4	20.2	15.0
特にない	18.5	18.6	17.5	19.8	17.0	19.5
その他	0.6	-	0.5	0.4	0.4	1.6
無回答	5.6	1.9	5.2	3.9	5.8	11.1

(12) - ② 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

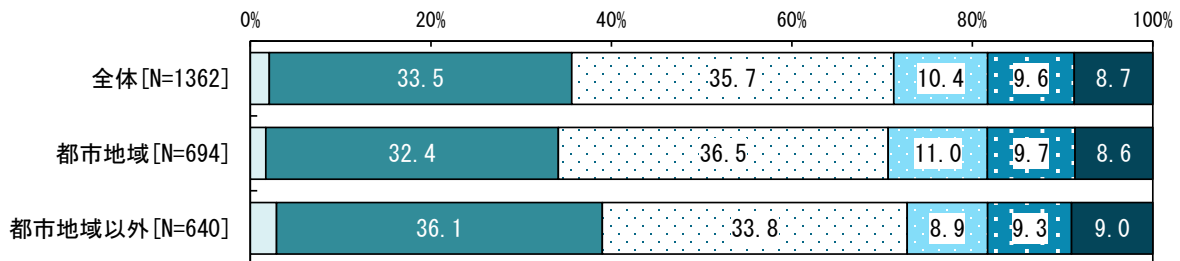
質問文

問 38 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

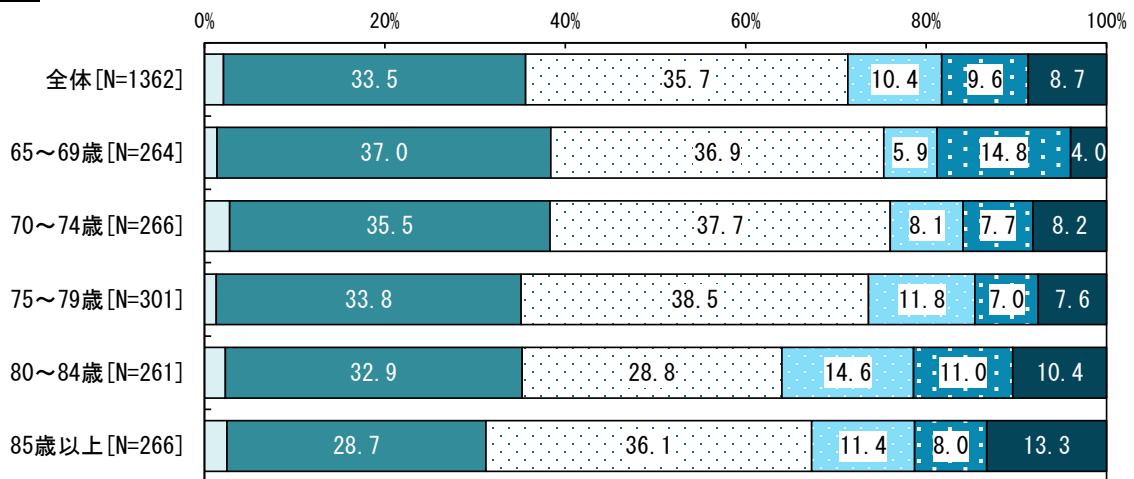
- 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が35.7%、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が33.5%等となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれて「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」の割合が少なくなっています。

図表 41 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

地域区分別



年齢階層別



- 今回の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてサービスを実施すべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くすべき
- その他
- 無回答

(12) - ③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知状況

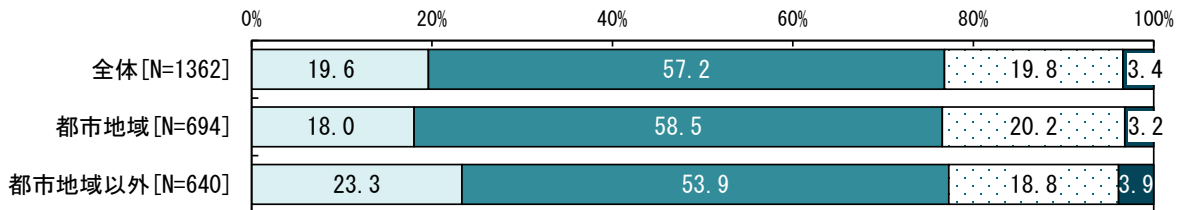
質問文

問 39 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

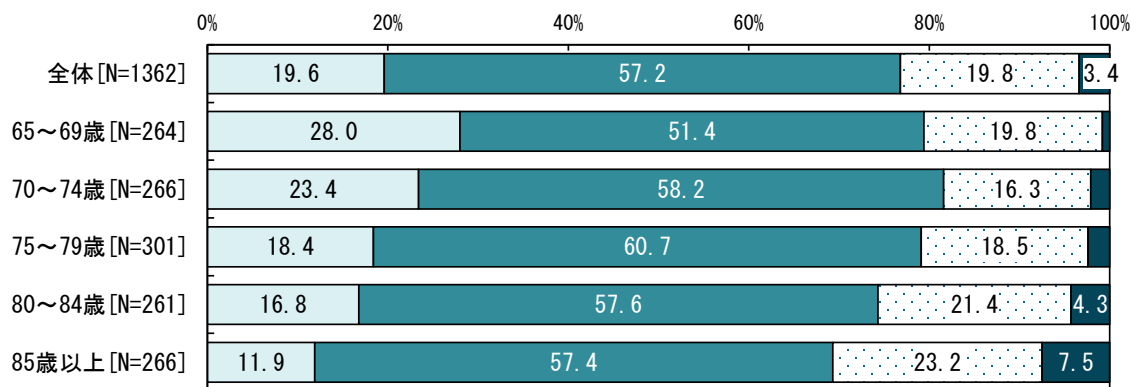
- 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について、知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が57.2%、「名前も聞いたことがない」が19.8%、「内容を知っている」が19.6% となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれて「内容を知っている」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、「内容を知っている」「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が増えています。

図表 42 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知状況

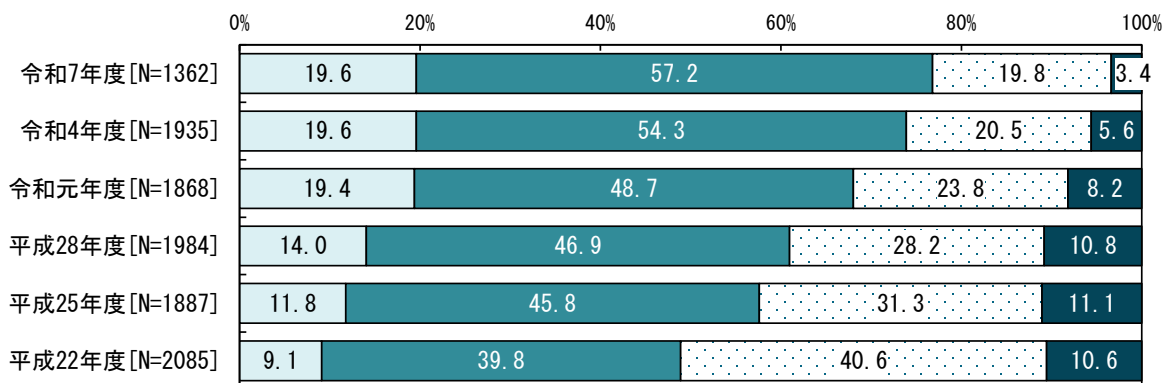
地域区分別



年齢階層別



経年比較



内容を知っている
  名前は聞いたことがあるが内容は知らない  
 名前も聞いたことがない
  無回答

### (13) 認知症について

#### (13) - ① 認知症の人との関り

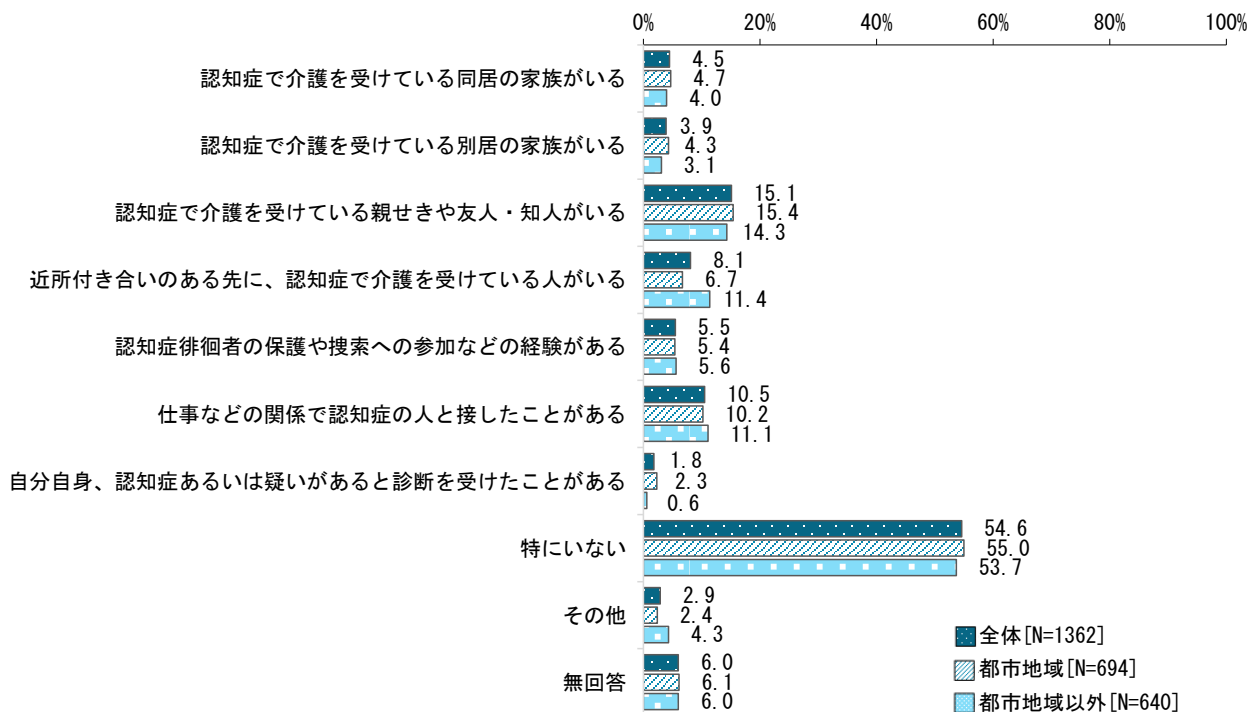
##### 質問文

問 40 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 認知症の人との関わりについては、「特にいない」が 54.6%と多くなっています。関わりのある人では、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が 15.1%等となっています。
- 年齢階層別では、65～69 歳で「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」の割合が多くなっています。

図表 43 認知症の人との関り（複数回答）

##### 地域区分別



##### 年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
認知症で介護を受けている同居の家族がいる	4.5	3.6	5.9	5.7	4.1	3.0
認知症で介護を受けている別居の家族がいる	3.9	11.6	4.0	1.7	0.5	2.4
認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる	15.1	13.6	10.4	16.3	16.1	18.7
近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる	8.1	9.0	5.0	7.7	10.2	8.6
認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある	5.5	5.4	7.1	5.0	3.9	5.9
仕事などの関係で認知症の人と接したことがある	10.5	20.9	13.0	10.4	3.7	4.6
自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある	1.8	0.8	0.6	1.7	2.2	3.5
特にいない	54.6	46.4	60.5	54.9	60.1	51.2
その他	2.9	4.0	2.0	4.6	2.5	1.5
無回答	6.0	1.2	4.1	5.1	6.5	13.0

(13) - ② 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

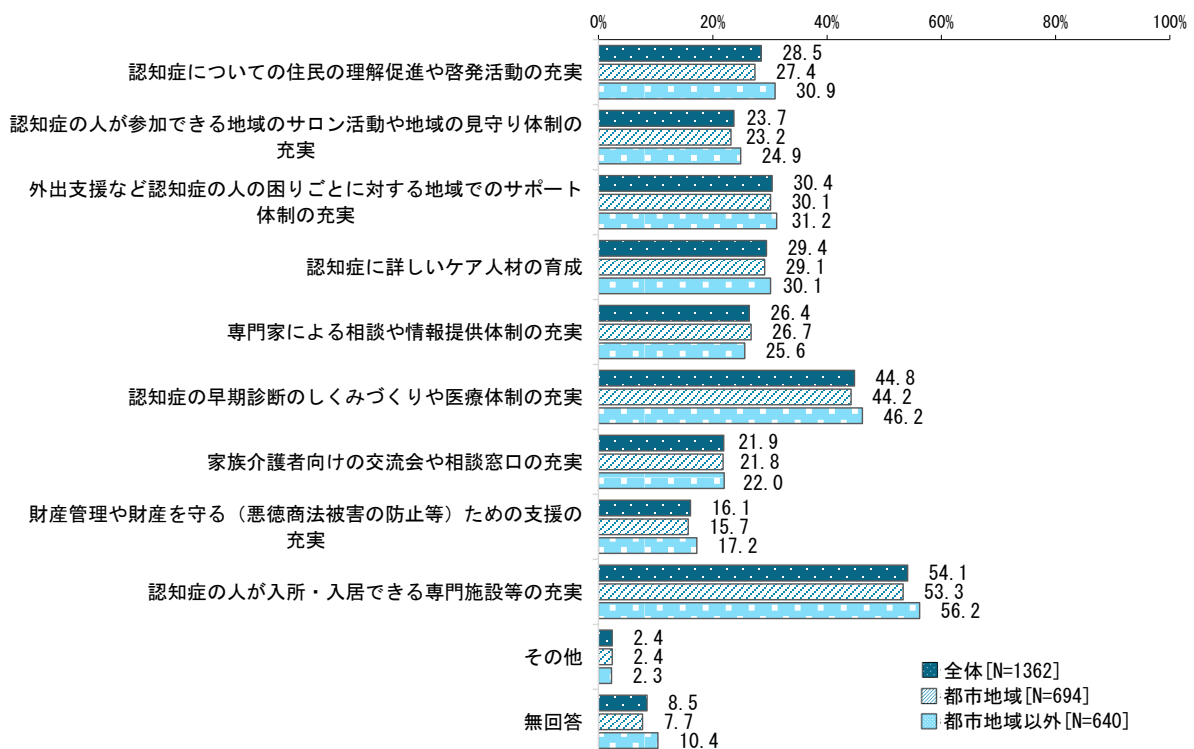
質問文

問 41 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が 54.1%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が 44.8%、「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」が 30.4%等となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれて、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」の割合が少なくなっています。

図表 44 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)

	全体 [N=1362]	65～69歳 [N=264]	70～74歳 [N=266]	75～79歳 [N=301]	80～84歳 [N=261]	85歳以上 [N=266]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	28.5	28.2	26.7	34.5	25.4	26.8
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	23.7	25.6	27.6	22.7	21.2	21.6
外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実	30.4	32.1	36.0	33.5	25.6	24.7
認知症に詳しいケア人材の育成	29.4	30.8	31.7	25.3	30.0	29.4
専門家による相談や情報提供体制の充実	26.4	30.9	29.4	21.0	23.2	27.8
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	44.8	50.4	49.1	46.3	37.3	40.8
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	21.9	31.1	22.0	19.1	17.2	20.5
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	16.1	24.1	18.4	14.3	13.6	10.6
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	54.1	61.1	60.2	52.4	50.4	47.1
その他	2.4	1.7	1.6	1.4	4.1	3.0
無回答	8.5	3.2	4.5	7.7	13.1	13.9

(13) - ③ 認知症に関する相談窓口

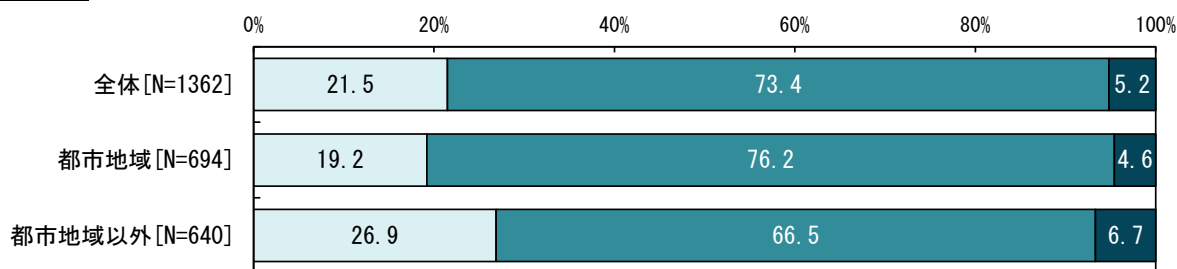
質問文

問 42 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

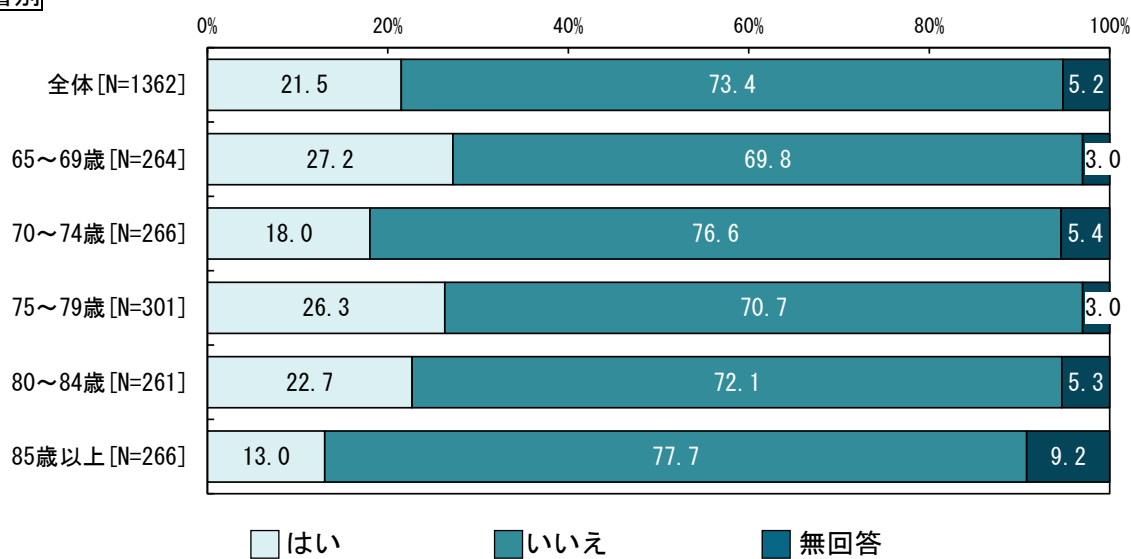
- 認知症に関する相談窓口を知っているか聞いたところ、「いいえ」が73.4%、「はい」が21.5%となっています。
- 年齢階層別では、65～69歳、75～79歳で「はい」の割合が多くなっています。

図表 45 認知症に関する相談窓口

地域区分別



年齢階層別



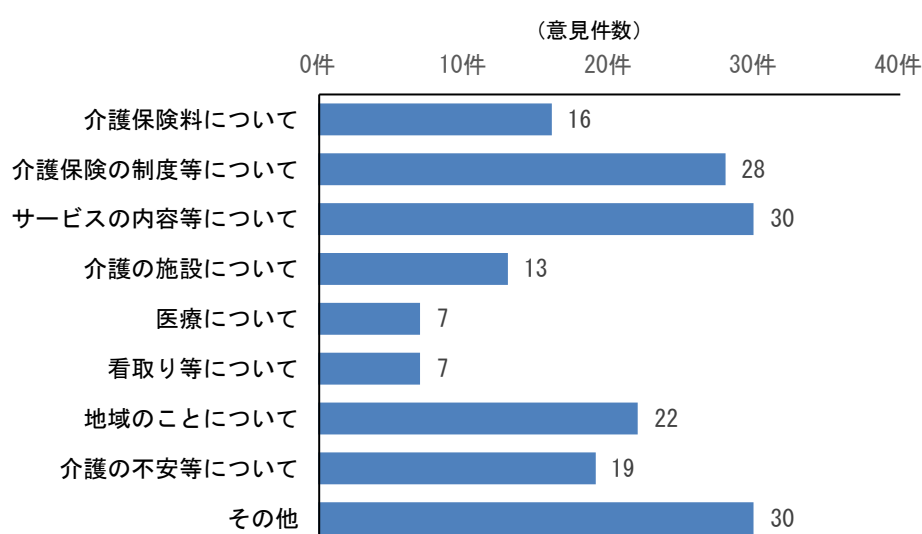
## (14) 自由意見

### 質問文

問 43 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

○ 自由意見は、172 件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。介護保険料や介護保険制度等に関する意見が多くなっています。

図表 46 自由意見の意見内容の内訳



### 【主な意見】

#### （介護保険料について）

- ・ 介護保険料が高すぎる。国がもっと補助をすべき。
- ・ 少ない年金から介護保険料を納めています。不必要な利用がないようにお願いしたいです。
- ・ 介護者の給与が低いと思う。もっと上げてよいのでは。しかし個人としては介護保険料が高くなるのは困る。お金がないから介護を受ける身になっても大変だと思うのだが、普通に生活できればいいと思っているのだが。

#### （介護保険の制度等について）

- ・ 家族介護者への支援相談窓口の充実や、積極的な案内ができるような体制を作ってほしい。
- ・ 介護施設への入所、病院へ入院する場合等保証人が必要だが、一人暮らしのため保証人がいない。認知症になったとき、財産管理、身上看護をする人もいない。高齢者等就寝サポート事業者に頼りたいが、悪質な業者もいるようだ。同事業を和歌山県でぜひやってほしい。
- ・ デイサービスの利用に関して、2時間というルールにはまらず、（利用者の性格のため）利用を排除された。ルールの柔軟な運用を願う。
- ・ 介護保険制度については、仕事として安定した給与を、保健福祉サービスについては、高齢者人

口が増えているので、公的な機関でも力を入れてほしい（参加しやすい方法を考えてほしい）。

- ・高齢化社会がますます進み、介護されている方が大変だと思しますので、介護士の育成と給料を上げていただければと思う。

#### （サービスの内容等について）

- ・介護保険を利用するにあたって、どこまでのサービスや支援、そして級などの詳しい資料（70歳以上の人達に）パンフレットの配布をお願いします。
- ・子育て支援のファミリーサポートのように、高齢者向けの気軽に利用できるサポート体制があれば良いかも。
- ・家が遠いということで、行きたい介護施設でのデイサービスが受けられないことがあります。それを何とかしてほしいです。
- ・他の市町村の事は分かりませんが、私の市では3年位前、入院するとオムツ等購入するための支援が受けられなくなりましたが、入院してもオムツは必要です。

#### （介護の施設について）

- ・ほとんどの高齢者は財産があり、裕福であるとは限りません。安価で安心して暮らせる介護施設やサービスを望みます。
- ・家族介護が基本であるが、施設等サービスを充実させていかねばならないと思った。

#### （医療について）

- ・認知症は早期診断だと思うので、医療をもっと充実してもらいたい。

#### （看取り等について）

- ・介護の負担と経済的問題を実感し、終末医療や延命治療のあり方に疑問を持っている。

#### （地域のことについて）

- ・独居高齢者として将来不安や孤立感が強く、地域の支え合い不足に悩んでいる。
- ・免許返納後の移動手段不足や交通不便により外出機会が減少し生活に影響。

#### （介護の不安等について）

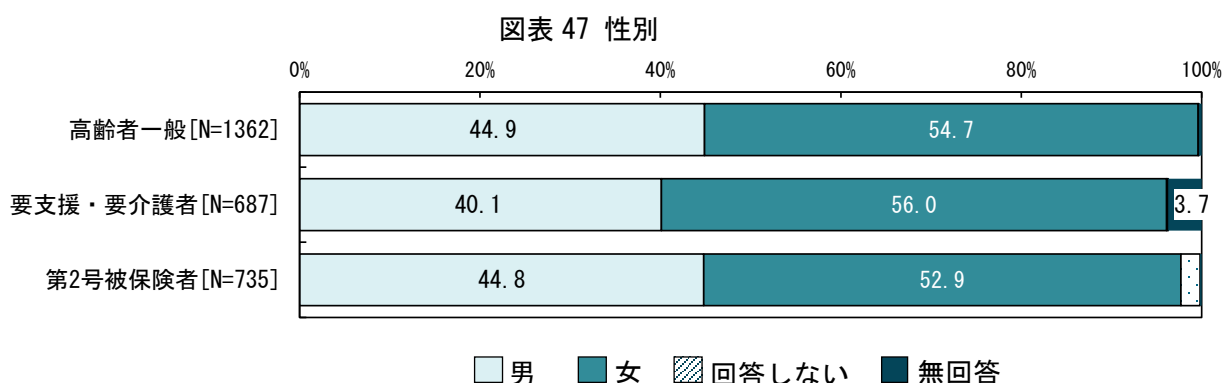
- ・認知症の家族介護で精神的負担大。家族の支えで何とか継続している。

### 3 調査間の比較

#### (1) 回答者の属性

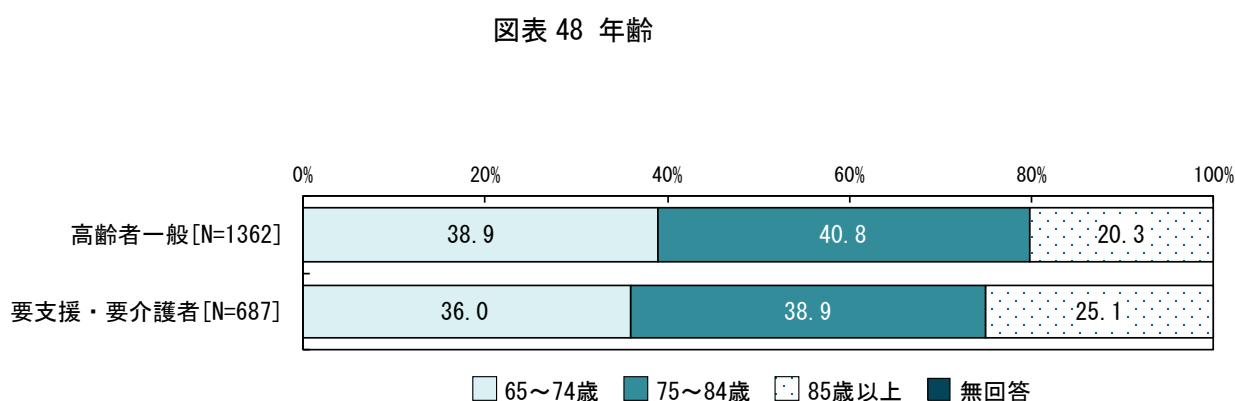
##### (1) - ① 性別

○ 性別は、高齢者一般で「女」が54.7%、「男」が44.9%、要支援・要介護者で「女」が56.0%、「男」が40.1%、第2号被保険者で「女」が52.9%、「男」が44.8%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。



##### (1) - ② 年齢

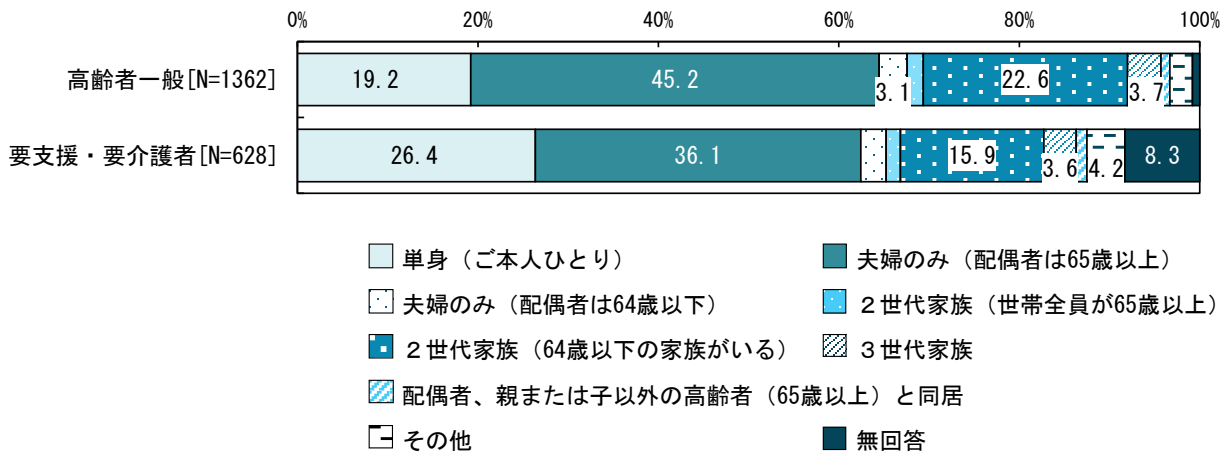
○ 年齢は、高齢者一般では「65～74歳」が38.9%、「75～84歳」が40.8%、「85歳以上」が20.3%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が36.0%、「75～84歳」が38.9%、「85歳以上」が25.1%となっています。



(1) - ③ 世帯

- 世帯については、高齢者一般で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が45.2%、「単身（ご本人ひとり）」が19.2%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.6%等となっています。
- また、要支援・要介護者の世帯で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が36.1%、「単身（ご本人ひとり）」が26.4%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が15.9%等となっています。高齢者一般に比べて要支援・要介護者は「単身（ご本人ひとり）」の比率が高く、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の比率が低くなっています。

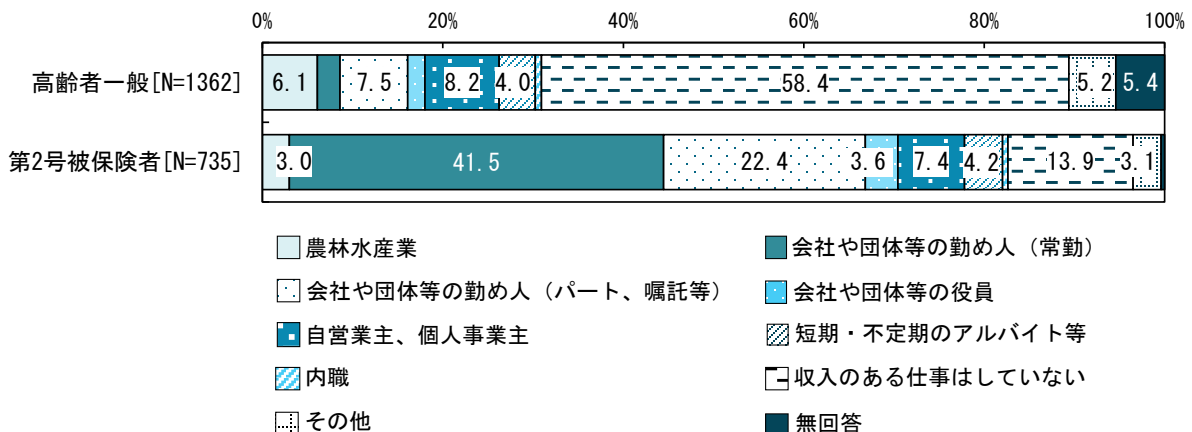
図表 49 世帯



(1) - ④ 仕事

- 高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が58.4%となっており、仕事をしている人では、「自営業主、個人事業主」が8.2%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が7.5%、「農林水産業」が6.1%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い比率となっています。
- 仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が41.5%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が22.4%、「収入のある仕事はしていない」が13.9%等となっています。

図表 50 仕事

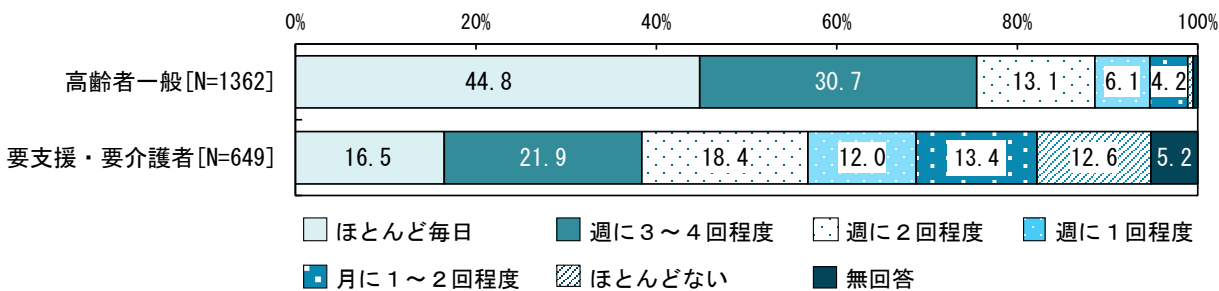


(2) 日常生活について

(2) - ① 外出の頻度

- 高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が44.8%、「週に3~4回程度」が30.7%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「ほとんど毎日」が16.5%、「週に3~4回程度」が21.9%等となっており、高齢者一般に比べて外出が少ない様子がうかがえます。

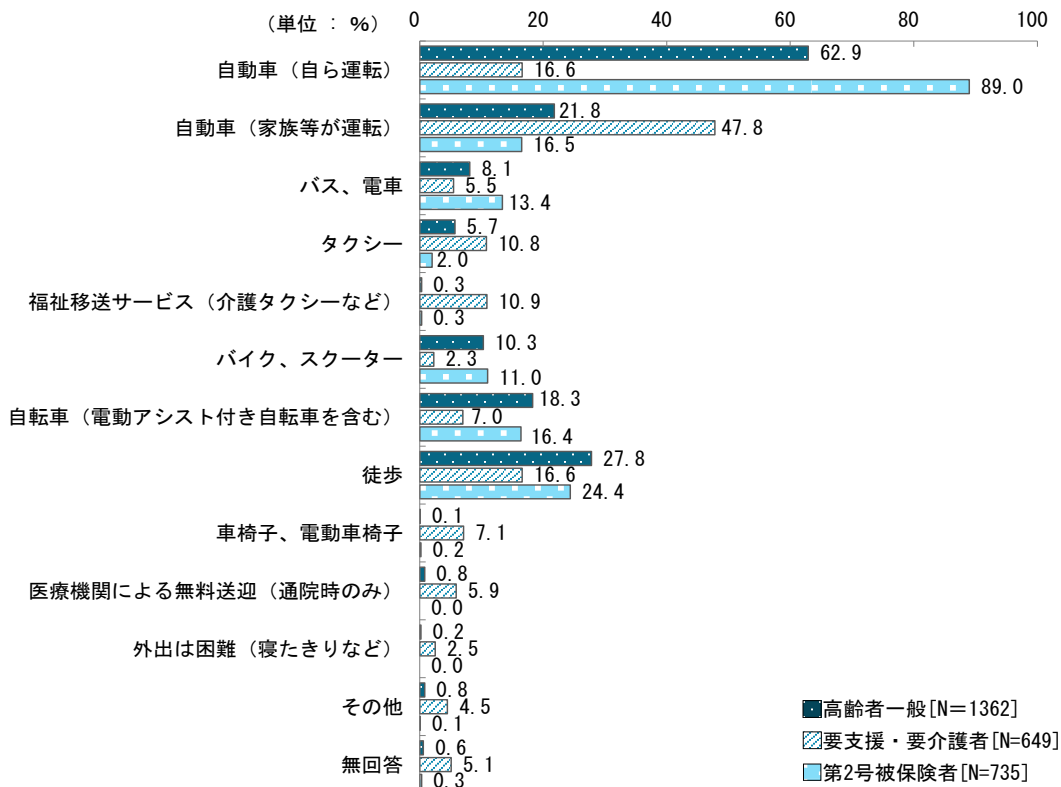
図表 51 外出の頻度



(2) - ② 外出の手段

- 外出の手段について、高齢者一般、第2号被保険者では、「自動車(自ら運転)」が多くなっています。一方、要支援・要介護者では、「自動車(家族等が運転)」の割合が47.8%と多くなっており、外出の手段を家族等の運転に頼っている様子がうかがえます。

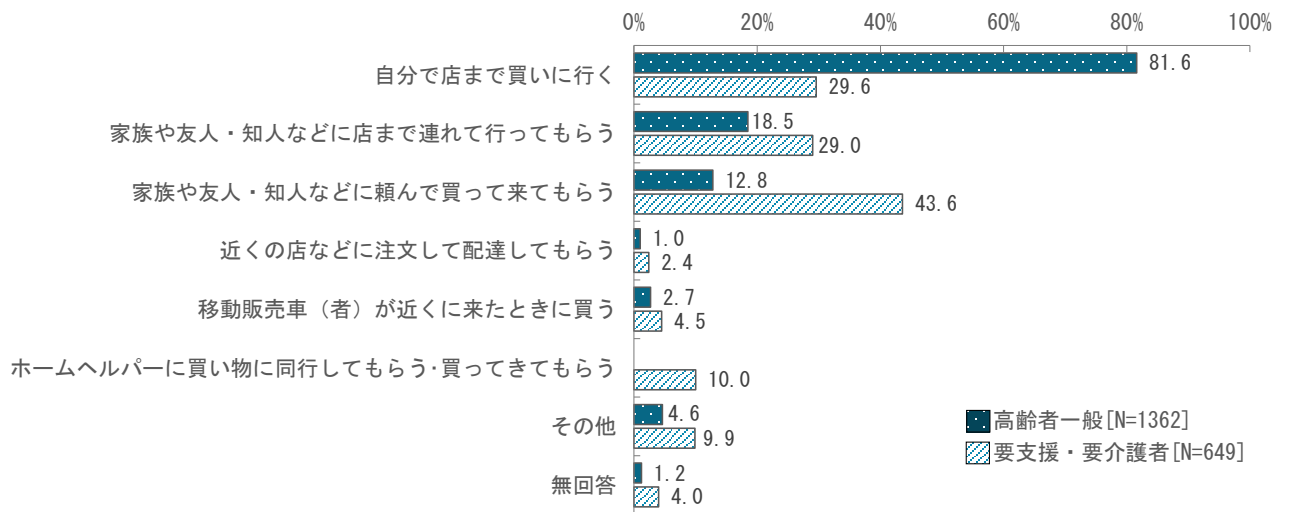
図表 52 外出の手段 (複数回答)



(2) - ③ 買い物の状況

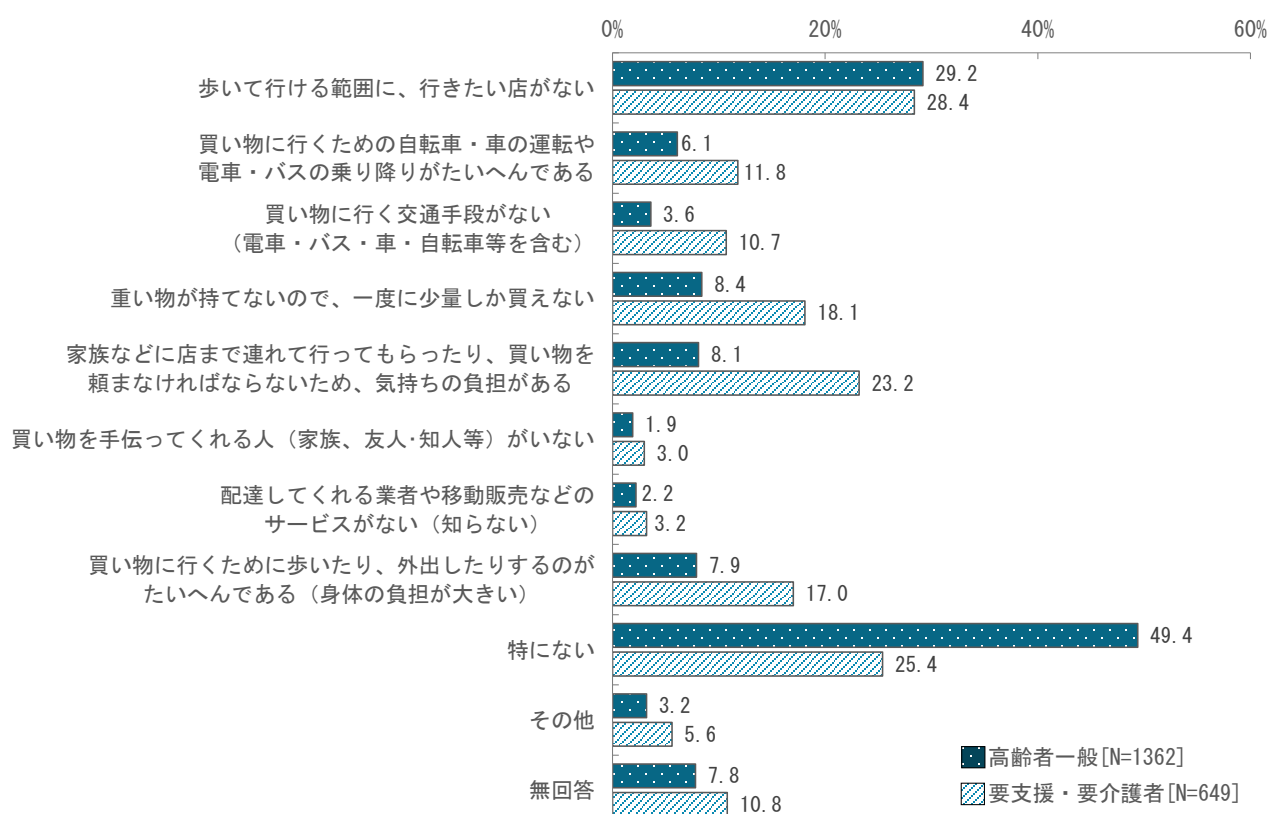
- 高齢者に対し、買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が81.6%と多くなっています。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が18.5%、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が12.8%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が43.6%と多くなっています。次いで、「自分で店まで買いに行く」が29.6%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が29.0%等となっており、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子がうかがえます。

図表 53 買い物の方法（複数回答）



- 買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が49.4%と半数近くを占め、また、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が29.2%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が28.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が23.2%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が18.1%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」が17.0%等となっており、「特にない」という人は25.4%と高齢者一般に比べると低い比率になっています。

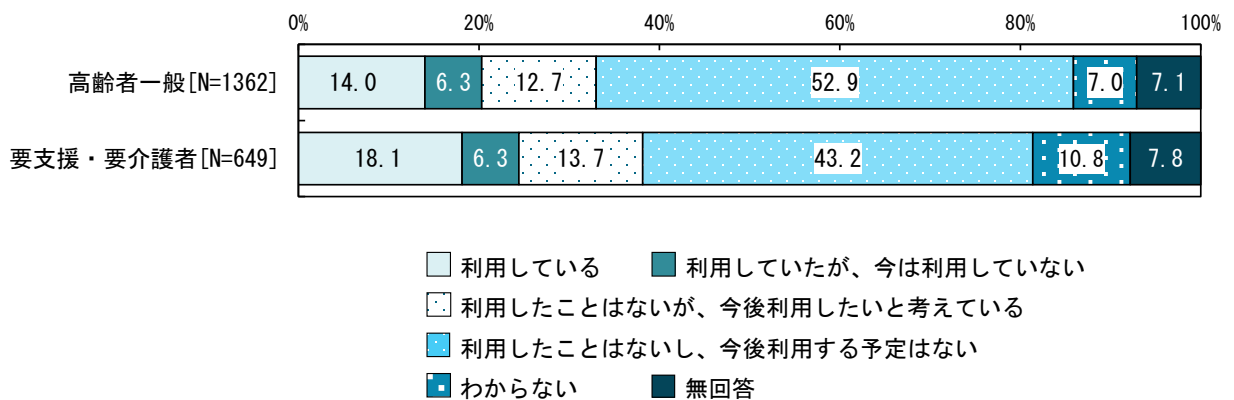
図表 54 買い物で困っていること（複数回答）



(2) - ④ 介護予防で利用している介護予防サービス

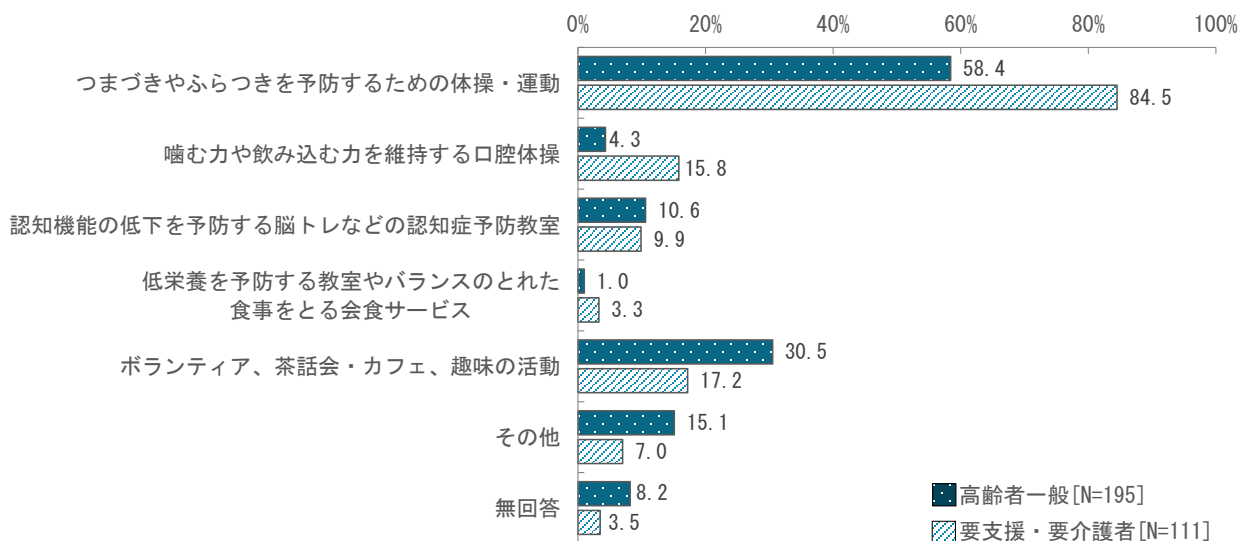
- 介護予防のためのサービスの利用の有無については、高齢者一般では、「利用している」が14.0%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が12.7%、「利用していたが、今は利用していない」が6.3%となっています。一方で「利用したことはないし、今後利用する予定はない」は52.9%となっています。
- 要支援・要介護者では、「利用している」が18.1%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が13.7%、「利用していたが、今は利用していない」が6.3%となっています。「利用したことはないし、今後利用する予定はない」については43.2%となっています。

図表 55 介護予防のためのサービス利用の有無



- 利用している介護予防サービスについては、高齢者一般では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が58.4%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が30.5%、「認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室」が10.6%等となっています。
- 要支援・要介護者については、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が84.5%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が17.2%、「嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操」が15.8%等となっています。

図表 56 利用している介護予防サービス（複数回答）

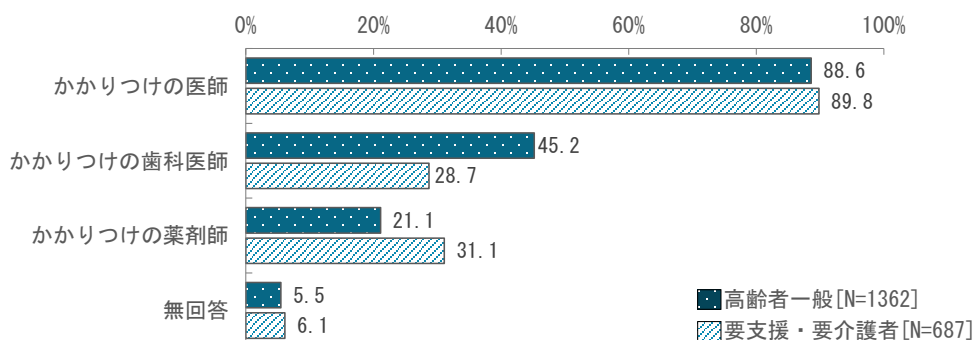


(3) 医療等の状況について

(3) - ① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

○ 高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」がいる人は、高齢者一般で 88.6%、要支援・要介護者で 89.8%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいる状況となっています。「かかりつけの歯科医師」については、高齢者一般で 45.2%、要支援・要介護者で 28.7%と大きな開きがあります。

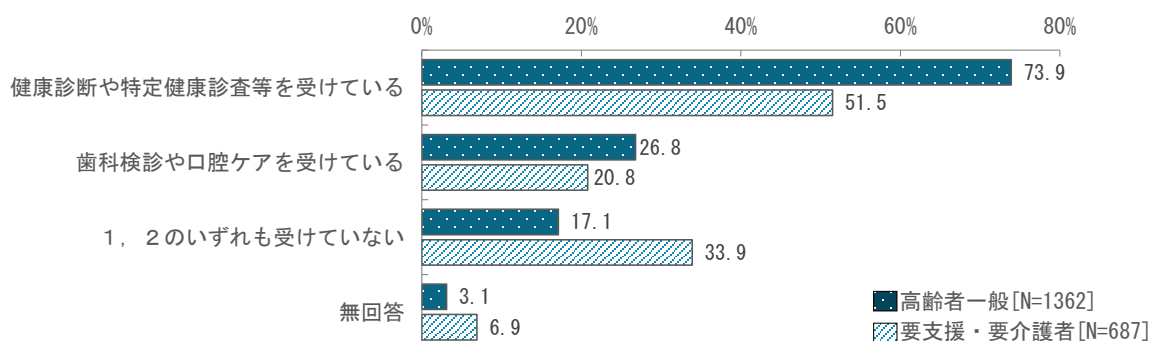
図表 57 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



(3) - ② 健康診断の受診状況について

○ 高齢者に対し、健康診断等の受診状況について聞いたところ、「健康診断や特定健康診査等を受けている」人は、高齢者一般で 73.9%、要支援・要介護者で 51.5%となっており、要支援・要介護者は高齢者一般に比べ、健康診断を受ける人が少なくなっています。

図表 58 健康診断の受診状況について（複数回答）

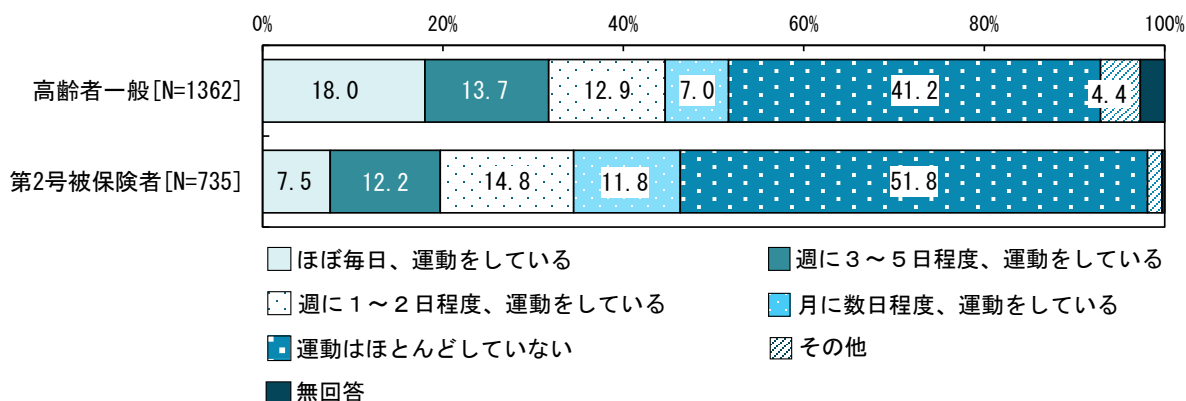


#### (4) 健康について

##### (4) - ① 運動の状況

- 運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が41.2%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も18.0%と多くなっています。
- 第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が51.8%と半数以上見られ、次いで、「週に1~2日程度、運動をしている」が14.8%等となっています。高齢者一般に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

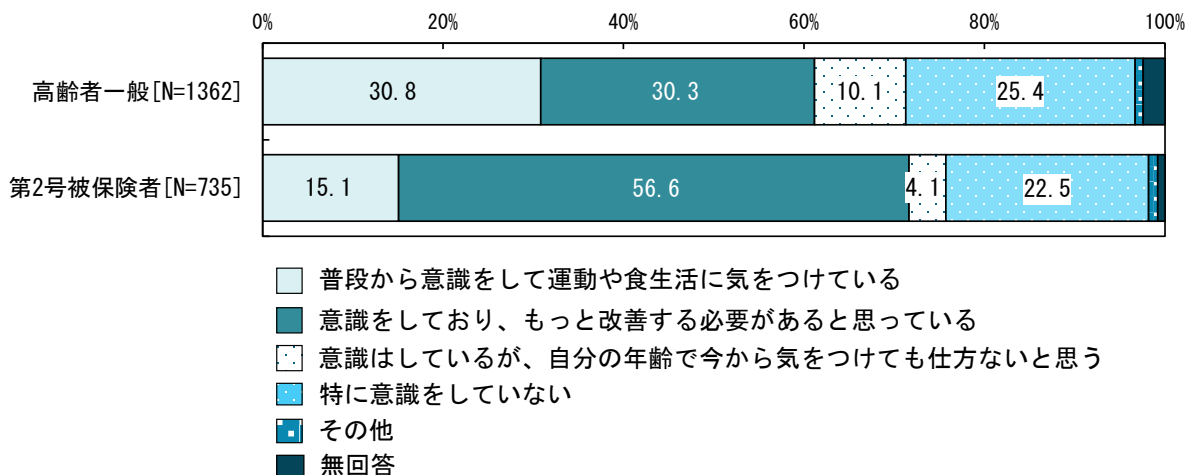
図表 59 運動の状況



##### (4) - ② 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

- 健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が30.8%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が30.3%等となっています。
- 第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が56.6%と半数以上を占め、次いで、「特に意識をしていない」が22.5%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 60 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

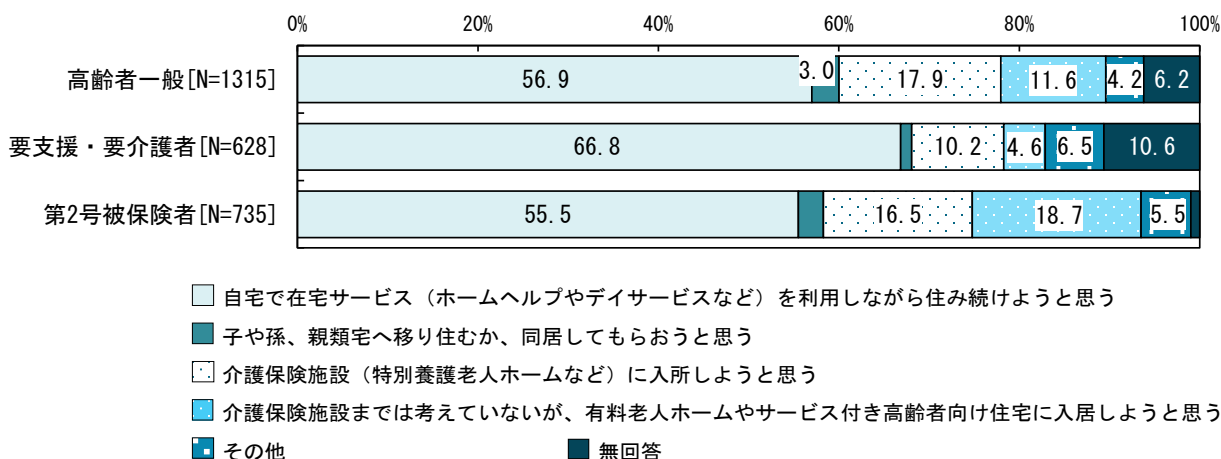


(5) 住まい、住み替えなどについて

(5) - ① 住み替えの希望

○ 将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、要支援・要介護者で特に多くなっています。

図表 61 住み替えの希望

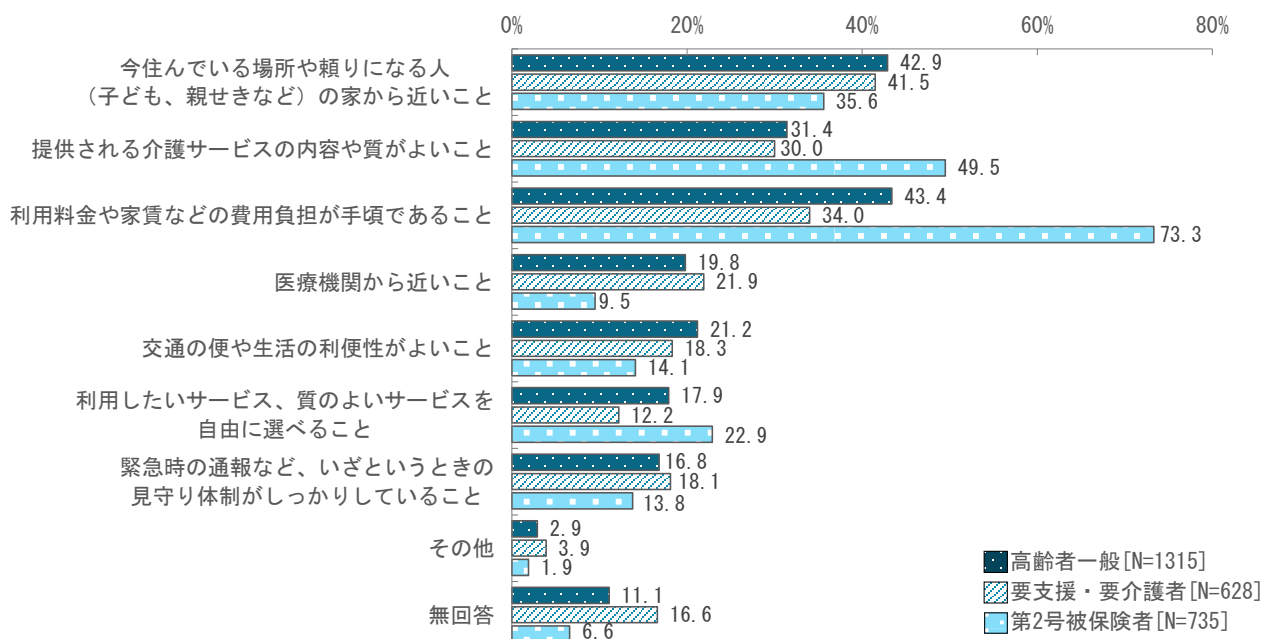


(5) - ② 住み替えで重視すること

○ 住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」や「医療機関から近いこと」が多くなっています。

○ 一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」の割合が多くなっています。

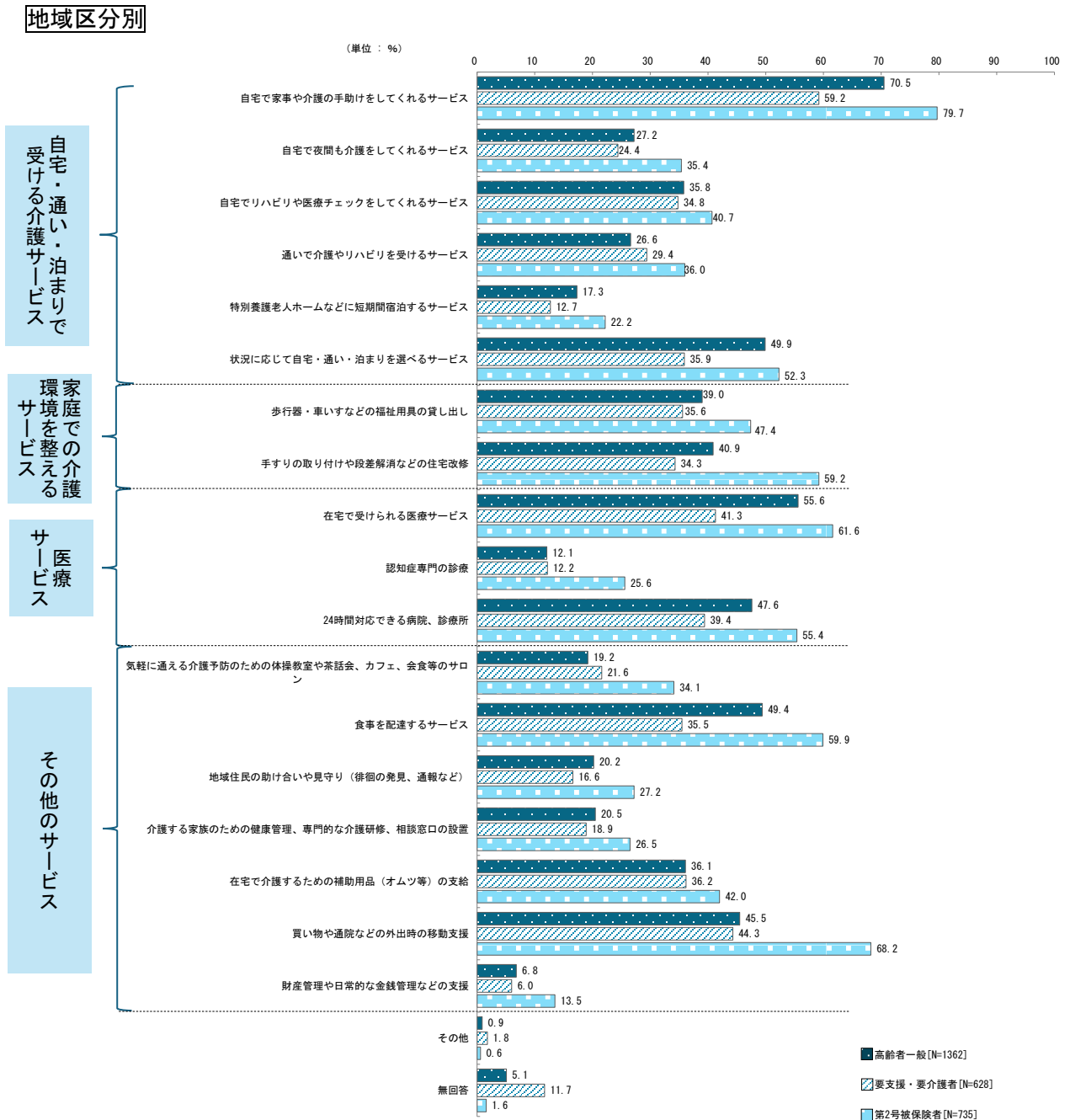
図表 62 住み替えで重視すること（複数回答）



(5) - ③ 在宅生活に必要なサービス

- 在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、全般的な傾向として、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が多くなっています。
- また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

図表 63 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

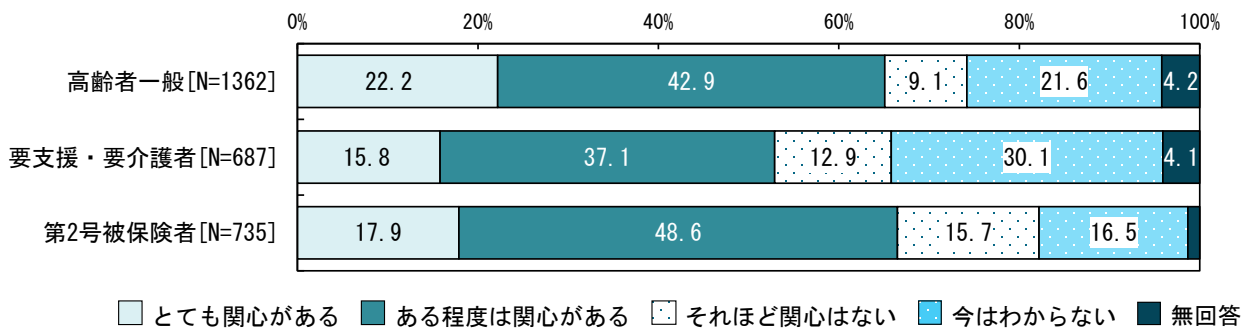


(6) 看取りなどについて

(6) - ① 延命治療等への関心

○ 延命治療等への関心について聞いたところ、「とても関心がある」「ある程度は関心がある」を合わせた関心のある人の割合は高齢者一般が 65.1%、第2号被保険者が 66.5%となっています。一方、要支援・要介護者では 52.9%とやや少なくなっています。

図表 64 延命治療等への関心

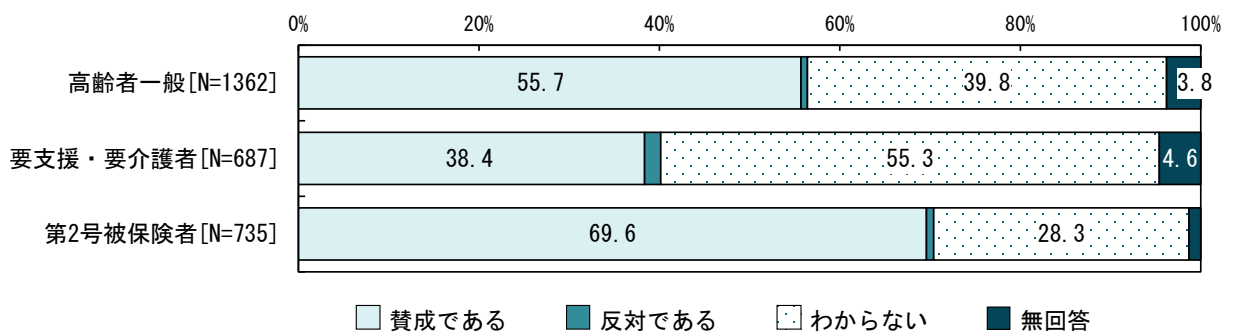


(6) - ② リビング・ウィルに対する意見

○リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5~6割台と多くなっています。一方、要支援・要介護者では3割台と少なくなっています。

※リビング・ウィルとは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことです。

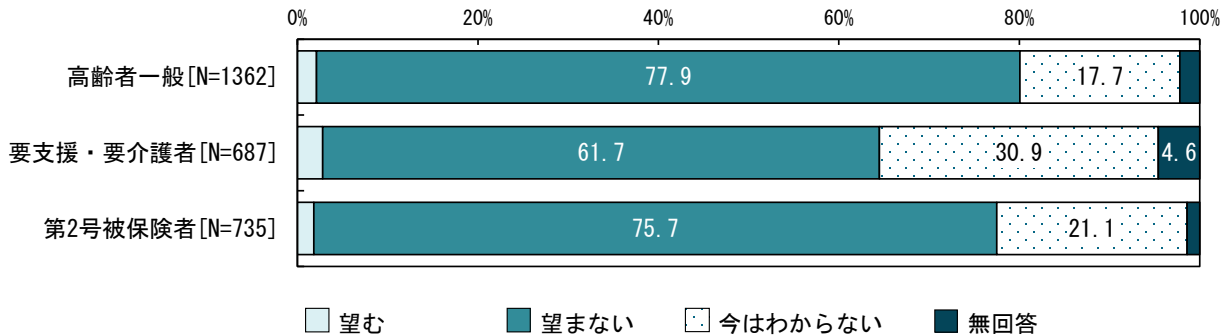
図表 65 リビング・ウィルに対する意見



(6) - ③ 延命治療に対する希望

○ 延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6~7割台でいずれの区分でも多くなっています。要支援・要介護者では、高齢者一般や第2号被保険者に比べ、「今はわからない」という人が多くなっています。

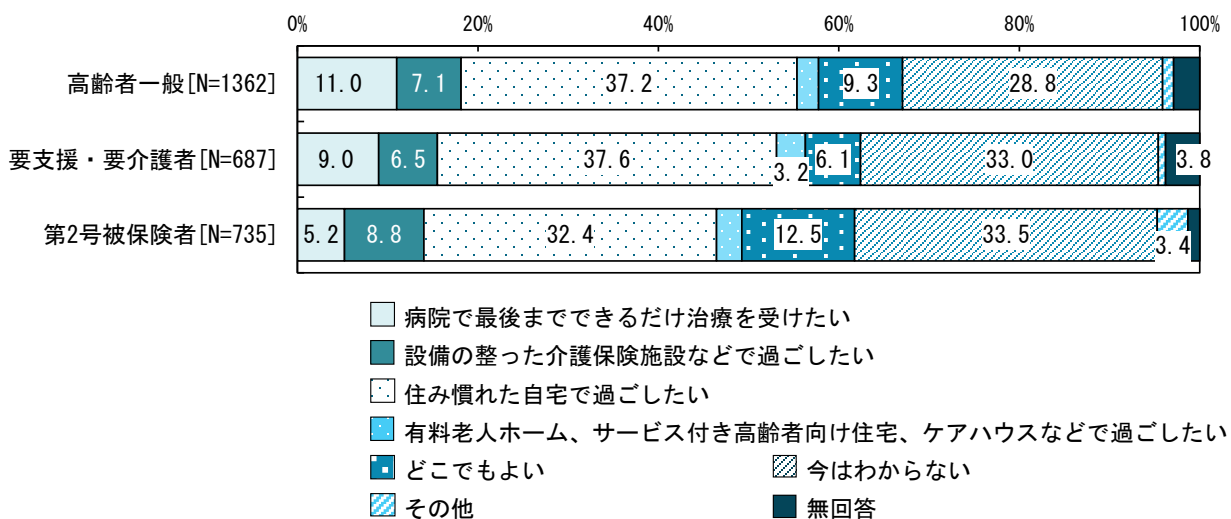
図表 66 延命治療に対する希望



(6) - ④ 最期を迎えたい場所

○ 最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれの区分でも3割台となっています。一方、「今はわからない」という人も同様に3割台となっています。

図表 67 最期を迎えたい場所

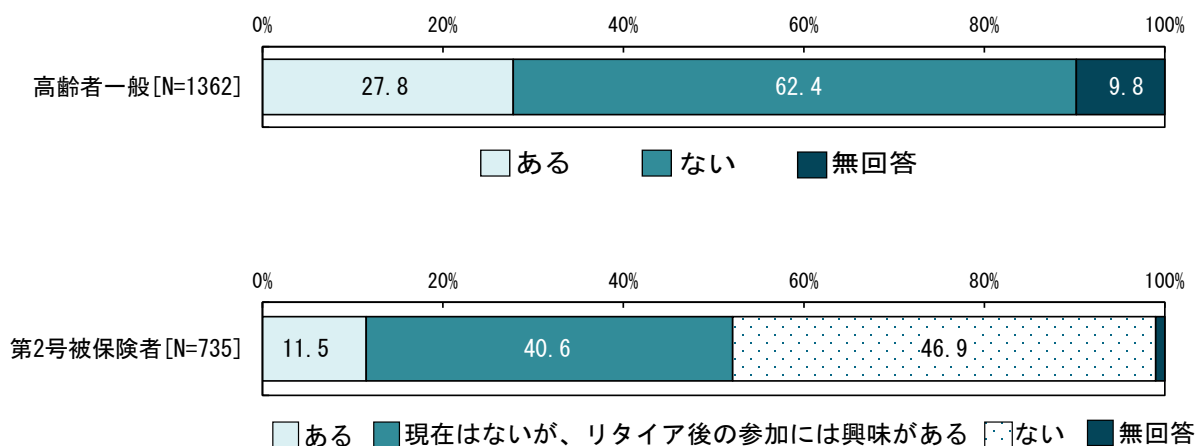


(7) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

(7) - ① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

- 高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「ない」が62.4%、「ある」が27.8%となっています。
- 第2号被保険者では、「ない」が46.9%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が40.6%、「ある」が11.5%となっています。

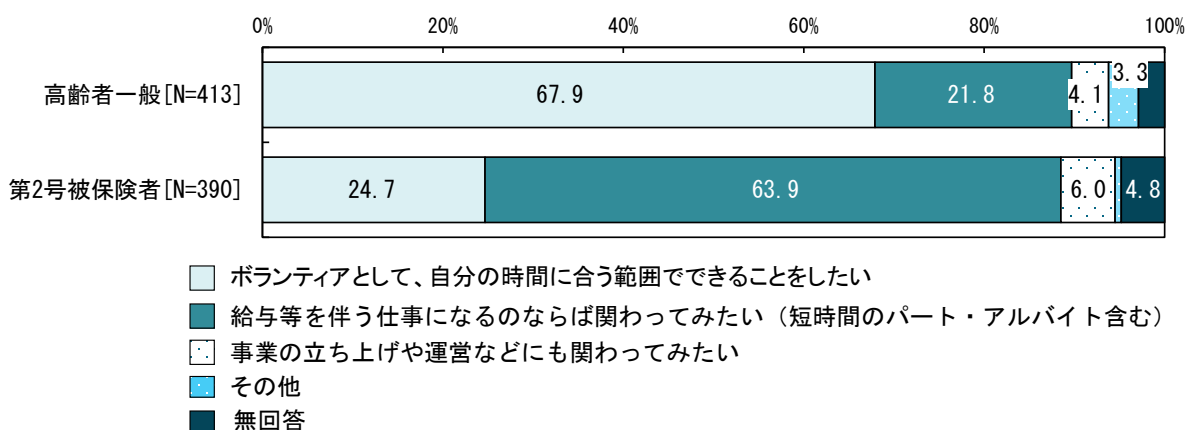
図表 68 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味



(7) - ② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

- 高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が67.9%と多くなっています。
- 一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が63.9%と多くなっています。

図表 69 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

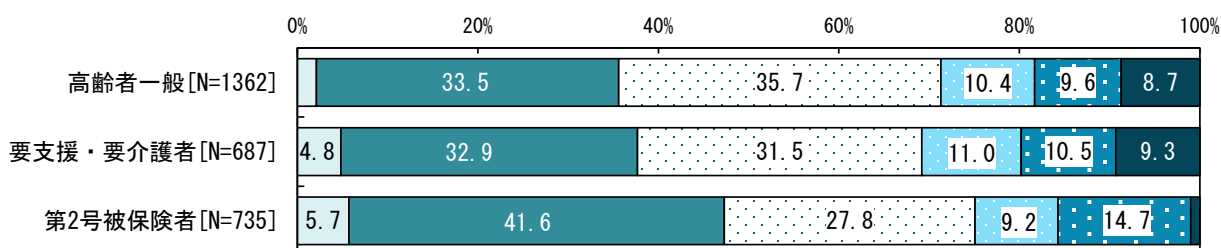


(8) 介護保険制度について

(8) - ① 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

- サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」と「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が近い割合で多くなっています。
- 一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が41.6%と最も多くなっています。

図表 70 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

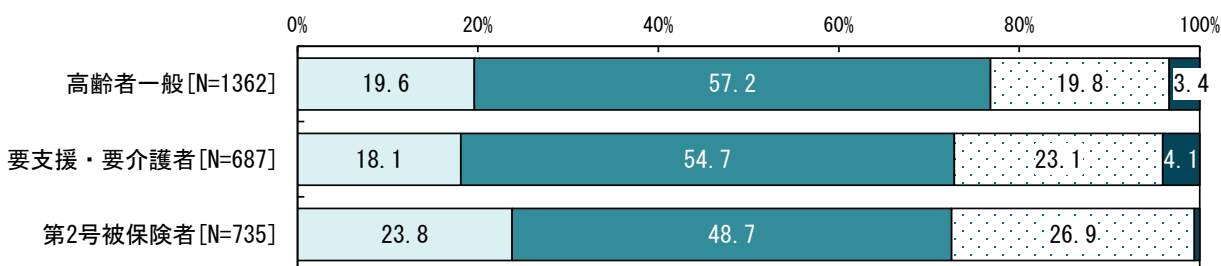


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- ▨ さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

(8) - ② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

- 福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では57.2%、要支援・要介護者では54.7%、第2号被保険者では48.7%と多くなっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知っていても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 71 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知



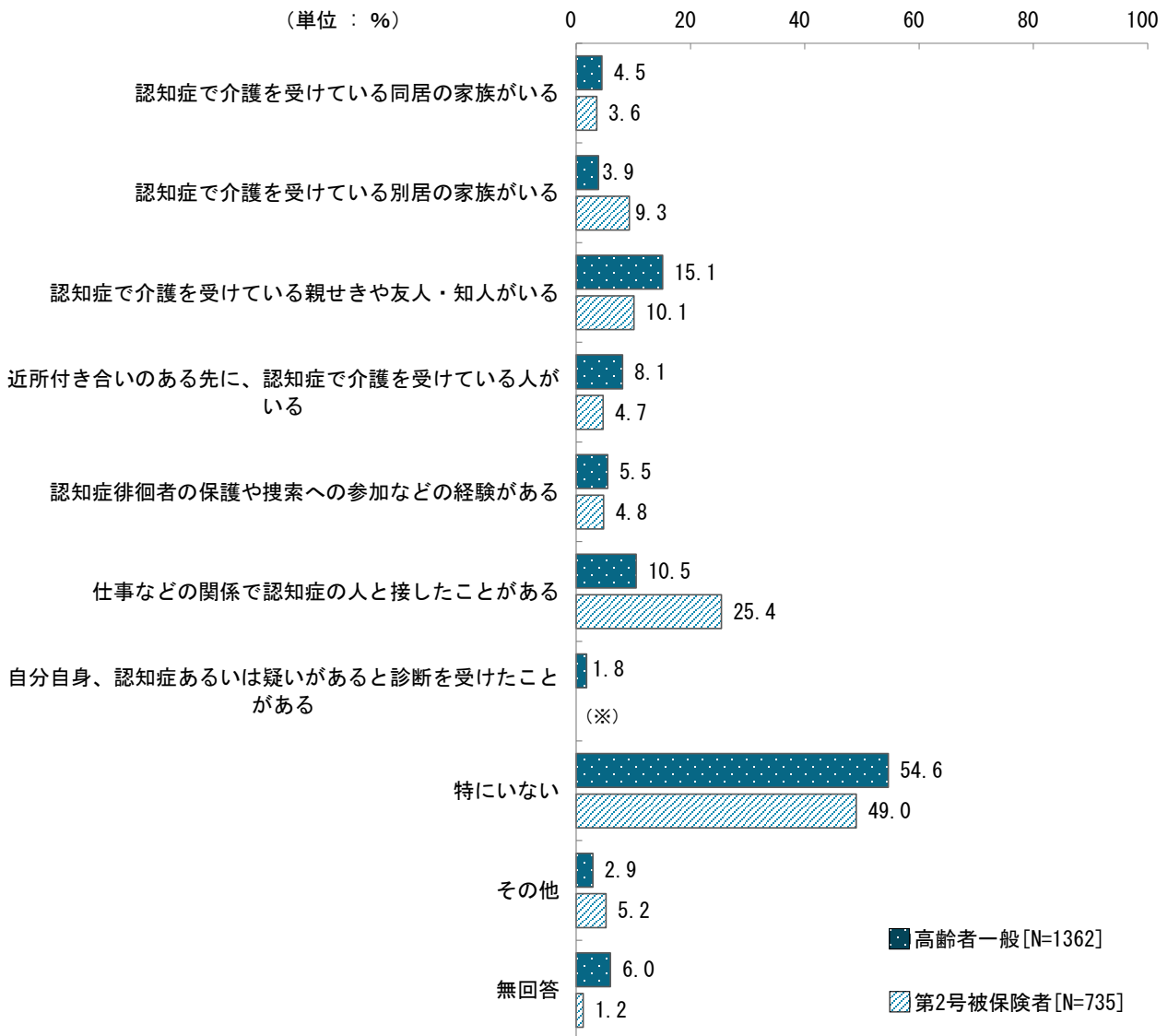
- 内容を知っている
- 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
- ▨ 名前も聞いたことがない
- 無回答

(9) 認知症について

(9) - ① 認知症の人との関わり

○ 認知症の人との関わりについては、「特にない」という人が、高齢者一般では 54.6%、第2号被保険者では 49.0%と多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が 25.4%見られます。

図表 72 認知症の人との関わり（複数回答）

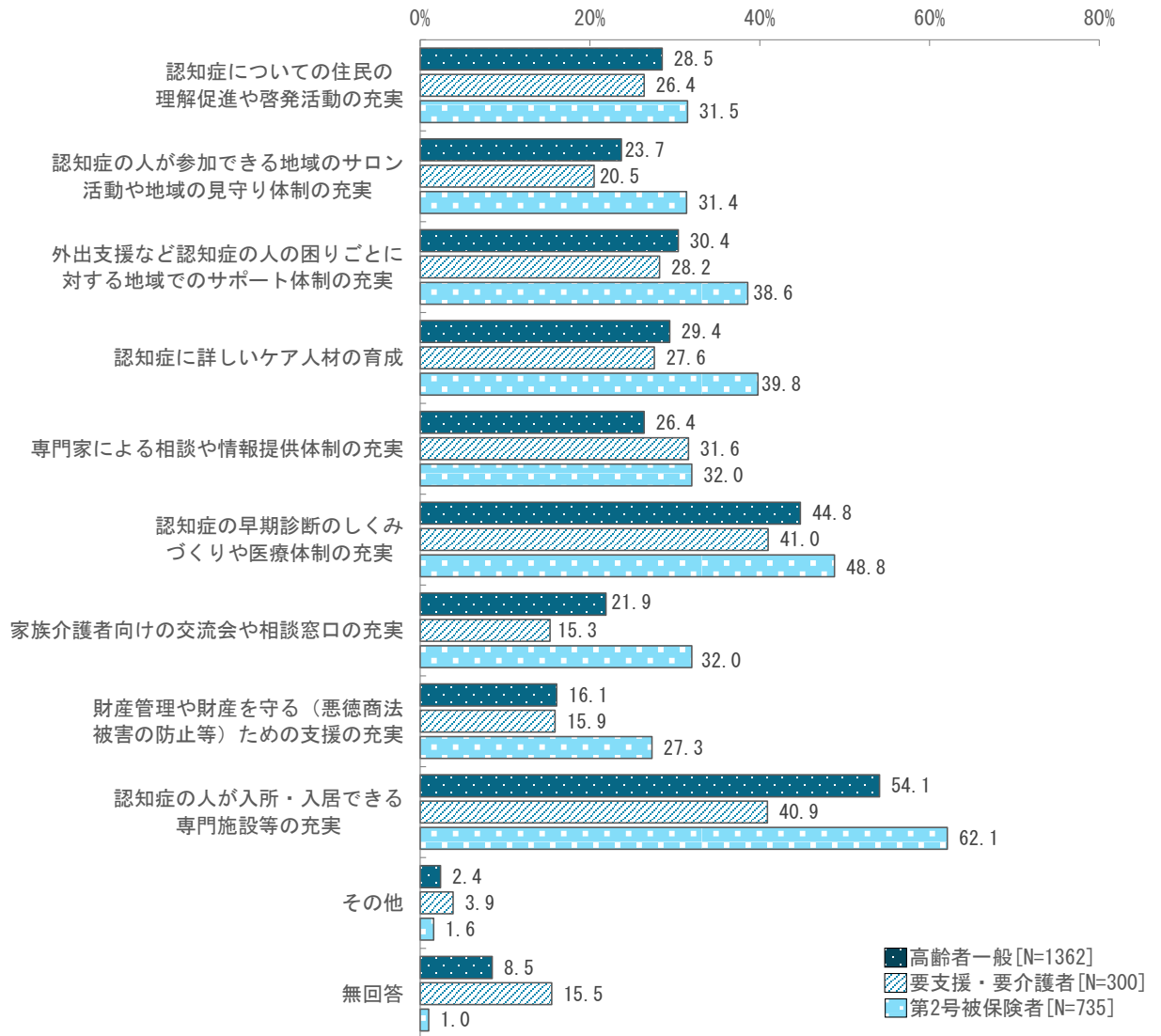


(※) 第2号被保険者対象の調査では、「自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある」との選択肢を設けていないため、本項目の値はなし。

(9) - ② 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

○ 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者では全般的に割合が多い傾向があります。

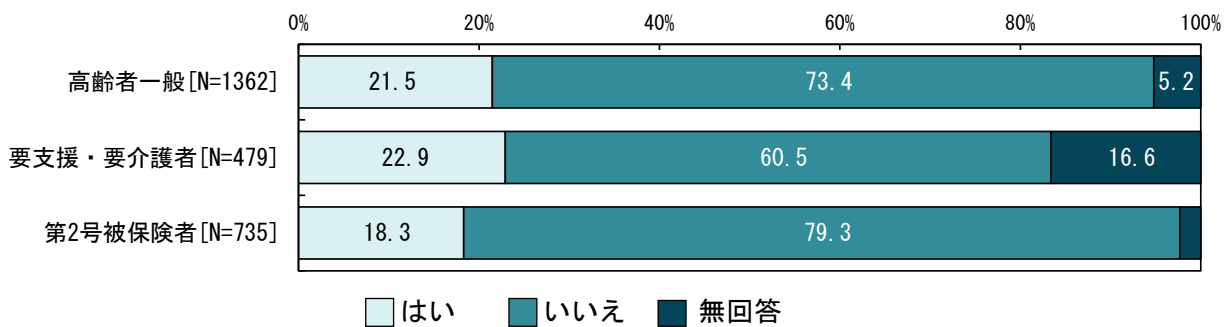
図表 73 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）



(9) - ③ 認知症に関する相談窓口の認知状況

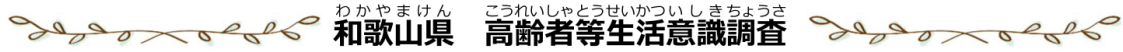
○ 認知症に関する相談窓口の認知状況について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「いいえ」を選択した人が6~7割台と多くなっています。一方、「はい」を選択した人は、いずれの区分でも2割程度と少なくなっています。

図表 74 認知症に関する相談窓口の認知状況



参考資料：アンケート調査票

① 一般高齢者（要支援・要介護認定を受けていない方）



## ちょう 調査 票

■ この調査の対象者は、令和7年8月1日現在、県内にお住まいの65歳以上の方のうち、介護保険で「要支援」または「要介護」と認定されていない方です。

■ この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、ご家族の方などが、ご本人の立場に立ってお答えください。

■ ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月17日（月）までに無記名のままポストに投函してください。（切手は不要です。）

※ 次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○をつけ、そのまま、ポストに投函してください。（切手は不要です。）

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中または認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

### ここからアンケートが始まります

問0 この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。（いずれか1つに○）

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

大正・昭和  年  月生まれ (満  歳)

**問3** あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- |                      |                            |          |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市              | 2. 海南市                     | 3. 橋本市   |
| 4. 有田市               | 5. 御坊市                     |          |
| 6. 田辺市 (旧田辺市)        | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) |          |
| 8. 新宮市 (旧新宮市)        | 9. 新宮市 (旧熊野川町)             |          |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)    |          |
| 12. 岩出市              | 13. 紀美野町                   |          |
| 14. かつらぎ町            | 15. 九度山町                   | 16. 高野町  |
| 17. 湯浅町              | 18. 広川町                    | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町              | 21. 日高町                    | 22. 由良町  |
| 23. 印南町              | 24. みなべ町                   | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町              | 27. 上富田町                   | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町            | 30. 太地町                    | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村              | 33. 串本町                    |          |

**問4** あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)
2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)
4. 2世代家族 (世帯全員が65歳以上)
5. 2世代家族 (64歳以下の家族がいる)
6. 3世代家族
7. 配偶者、親または子以外の高齢者 (65歳以上) と同居
8. その他 ( )

**問5** あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| 1. ほとんどない | 2. ときどきある | 3. 常にそうである |
|-----------|-----------|------------|

**問6** あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

★仕事についておたずねします。

問7 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 農林水産業                | 2. 会社や団体等の勤め人 (常勤)     |
| 3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員           |
| 5. 自営業主、個人事業主           | 6. 短期・不定期のアルバイト等       |
| 7. 内職                   | 8. 収入のある仕事はしていない → 問9へ |
| 9. その他 ( )              |                        |

問8 収入のあるお仕事をされている方にお聞きます。どのくらいの頻度でお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日   | 2. 週に3～5日程度 |
| 3. 週に1～2日程度 | 4. 月に数日程度   |
| 5. 年に数日程度   |             |

問9 問7で「8. 収入のある仕事はしていない」と答えた方にお聞きます。仕事をしたいと思いませんか。(あてはまるもの1つに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. フルタイムで、収入のある仕事をしたいと思う         |
| 2. フルタイムではなく、収入のある仕事をしたいと思う      |
| 3. 短期・不定期のアルバイト等で、収入のある仕事をしたいと思う |
| 4. 収入のある仕事をしたいと思うが、事情により難しい      |
| 5. 仕事をしたいとは思わない                  |
| 6. その他 ( )                       |

★近所づきあい、外出の状況などについておたずねします。

問10 あなたはふだん、最も親しい近所さんとのようなつきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. お互いに訪問しあう | 2. 立ち話をする程度     |
| 3. あいさつをする程度 | 4. ほとんどつきあっていない |

問11 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

※散歩、買い物、外食、通院などを含みます。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日   | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度   | 4. 週に1回程度   |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない   |

問12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自動車 (自ら運転)           | 2. 自動車 (家族等が運転)         |
| 3. バス、電車                | 4. タクシー                 |
| 5. 福祉移送サービス (介護タクシーなど)  | 6. バイク、スクーター            |
| 7. 自転車 (電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩                   |
| 9. 車椅子、電動車椅子            | 10. 医療機関による無料送迎 (通院時のみ) |
| 11. 外出は困難 (寝たきりなど)      | 12. その他 ( )             |

問13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関(※)を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。  
※コミュニティバスを含みます。

片道 約  分

★買い物などの日常の状況、不便を感じていることなどについておたずねします。

問14 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。(よく使う方法すべてに○)

- 自分で店まで買いに行く
- 家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう
- 家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう
- 近くの店などに注文して配達してもらう
- 移動販売車(者)が近くに来たときに買う
- その他 ( )

問15 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 歩いて行ける範囲に、行きたい店がない
- 買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである
- 買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む)
- 重い物が持てないので、一度に少量しか買えない
- 家族などに店まで連れて行ってもらったり、買物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある
- 買物を手伝ってくれる人(家族、友人・知人等)がない
- 配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない)
- 買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである(身体の負担が大きい)
- 特にない
- その他 ( )

**問16** あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 理・美容所まで行くのが困難・外出できない
2. 家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある
3. 訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)
4. 訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が高いなど)
5. 特になし
6. その他 ( )

**問17** あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 利用している
2. 利用していたが、今は利用していない
3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている → **問19**へ
4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない
5. わからない → **問20**へ

**問18** 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きます。次の(1)、(2)をご回答ください。

(1) 現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. つまづきやふらつきを予防するための体操・運動
2. 噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操
3. 認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室
4. 低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス
5. ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動
6. その他 ( )

(2) 現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 週に2回以上   | 2. 週に1回程度 |
| 3. 月に2～3回程度 | 4. 月に1回程度 |
| 5. その他 ( )  |           |

→ **問20** へ

**問19** 問17で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと  
 考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。

体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅の近くに体操教室やサロンがないから
2. 知らない人ばかりいそうだから
3. 健康や体力面に心配があるから
4. 体操教室やサロンの場所や活動などの情報が  
ないから
5. 時間的な余裕がないから
6. 興味・関心がないから
7. その他 ( )

**★通院などの状況についておたずねします。**

**問20** あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. めったにない(年に1回あるかないか) | 2. 年に数回程度   |
| 3. 月に1回程度             | 4. 月に2～3回程度 |
| 5. 週に1回程度             | 6. 週に数回程度   |
| 7. ほぼ毎日               |             |

**問21** あなたは、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの  
 医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. かかりつけの医師  | 2. かかりつけの歯科医師 |
| 3. かかりつけの薬剤師 |               |

**問22** あなたは、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 健康診断や特定健康診査等を受けている | 2. 歯科検診や口腔ケアを受けている |
| 3. 1, 2のいずれも受けていない    |                    |

**★健康についておたずねします。**

**問23** あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人  
 で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
5. その他 ( )

**問24** あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない
6. その他 ( )

**問25** あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防※1やメタボ予防※2など)をどのようにお思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない
5. その他 ( )

※1 **ロコモ予防**：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み

※2 **メタボ予防**：生活習慣病を予防する取り組み

★**普段の暮らしぶりについておたずねします。**

**問26** 以下の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。(いずれか1つに○)

(1) 携帯電話(スマートフォンを含む)を使うことができますか。

1. はい 2. いいえ ---> (2) へ

---> (1)-1 電話をすることができますか。

1. はい 2. いいえ

(1)-2 スマートフォンのアプリ(例：天気予報アプリ、ゲームアプリなど)を使うことができますか。

1. はい 2. いいえ

(2) ATMを使うことができますか。

1. はい 2. いいえ

(3) ビデオやDVD(ブルーレイ)プレーヤーの操作そうさができますか。

1. はい 2. いいえ

(4) 携帯電話けいたいでんわやパソコンでメールができますか。

1. はい 2. いいえ

(5) 外国がいこくのニュースや出来事できごとに関心かんしんがありますか。

1. はい 2. いいえ

(6) 健康けんこうに関する情報けいほうの信ぴょう性しんぱうせいについて判断はんだんできますか。

1. はい 2. いいえ

(7) 美術品びじゅつひん、映画えいが、音楽おんがくを鑑賞かんしょうすることがありますか。

1. はい 2. いいえ

(8) 教育きょういく・教養きょうよう番組ばんぐみを視聴しちゆうしていますか。

1. はい 2. いいえ

(9) 詐欺さぎ、ひったくりあ、空き巣等すなどの被害ひがいにあわないように対策たいさくをしていますか。

1. はい 2. いいえ

(10) 生活せいかつの中でちょっとした工夫くふうをすることがありますか。

1. はい 2. いいえ

(11) 病人びょうにんの看病かんびょうができますか。

1. はい 2. いいえ

(12) 孫まごや家族かぞく、知人ちじんの世話せわをしていますか。

1. はい 2. いいえ

(13) 地域ちいきの祭りまつや行事ぎょうじなどに参加さんかしていますか。

1. はい 2. いいえ

(14) 町内会ちやうないかい・自治会じちかいで活動かつどうしていますか。

1. はい 2. いいえ

(15) 自治会じちかいやグループ活動かつどうの世話役せわやくや役職やくしょくを引き受けることができますか。

1. はい 2. いいえ

(16) 奉仕活動ほうしかつどうやボランティア活動かつどうをしていますか。

1. はい 2. いいえ

★今後の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

**問27** あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)  
 ※入院中の方は、入院前のお住まいでご回答ください。

1. 戸建 (持ち家)
  2. 戸建 (賃貸)
  3. マンションなどの集合住宅 (持ち家)
  4. マンションなどの集合住宅 (賃貸)
  5. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
  6. その他 ( )
- 問29へ

**問28** 前の問で「1. 戸建(持ち家)」、「2. 戸建(賃貸)」、「3. マンションなどの集合住宅(持ち家)」、「4. マンションなどの集合住宅(賃貸)」と答えた方におたずねします。

次の(1)～(2)をご回答ください。

(1) あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で在宅サービス(ホームヘルプやデイサービスなど)を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ( )

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

(2) もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ( )

**問29** 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の自宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他 ( )

**★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。**

**問30** 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. とても関心がある  | 2. ある程度は関心がある |
| 3. それほど関心はない | 4. 今はわからない    |

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のためのみに行うものを指します(問33も同様)。



★介護保険制度などについておたずねします。

問37 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. サービスを受けるための手続き | 2. 受けられるサービスの内容   |
| 3. 気軽に相談できる窓口     | 4. 保険料、利用料や算出の仕組み |
| 5. 介護事業所の評判       | 6. 特にない           |
| 7. その他 (          | )                 |

問38 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. その他 (

問39 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1 「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2 「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等（認知症高齢者等）を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★認知症についておたずねします。

**問40** 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある
8. 特にいない
9. その他 ( )

**問41** 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ( )

**問42** 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

1. はい
2. いいえ



かいとうしゃさま ちゆうせん あんない  
ご回答者様へのプレゼント抽選のご案内

このたびは「高齢者等生活意識調査」にご協力いただき、誠にありがとうございます。ご協力いただいた皆さまへの感謝の気持ちとして、プレゼントをご用意いたしました。ご希望の方は、ご当選時の連絡先として、メールアドレスをご記入ください。

ちゆうせん はっそう  
【抽選・発送について】

1. プレゼントの品は「百花蜜と季節のジャムのセット」
2. 当選者数は**90名**
3. 発送時期は令和7年12月上旬頃を予定
4. 当選の発表は、調査委託先（和歌山社会経済研究所）より電子メールにてお知らせします。その際、プレゼント送付先のご住所・お名前を確認させていただきます。
5. 連絡先の記入がない場合は、抽選対象外となりますのでご注意ください。



「プレゼント」をご希望される方は、ご連絡先として「メールアドレス」をご記載ください。

※ 連絡先は、本調査票から切り離して管理し、抽選および発送の目的に限り使用いたします。

(メールアドレス)

@

※ 迷惑メール対策などで受信制限をされている方は、事前に [info@wsk.or.jp](mailto:info@wsk.or.jp) からのメールを受信できるよう、受信許可（ドメイン指定受信・受信リスト登録等）の設定をお願いします。

令和7年度 和歌山県高齢者等生活意識調査 結果報告書  
(高齢者一般調査)

令和8年3月

発行 和歌山県福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課  
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地